

# 誰でもできる 作曲ソフト3

## 取り扱い説明書

シリアルナンバーは大切に保管してください。

IRT0379

※ソフトインストール時や最新版アップデートの際に必要となります。

本ソフトは、**PDFマニュアル**を含めてインストールされます。

ソフトをインストールすると、パソコン画面上に  
PDF マニュアルのショートカットアイコンが表示されます。

PDF マニュアルには、「**ソフトの画面・各部の説明**」と「**よくあるお問い合わせ**」  
を掲載しておりますので、本書とあわせてご覧ください。

製品ご利用の前に必ずお読みください。  
この取り扱い説明書は大切に保管してください。  
※本書及びシリアルナンバーを再発行することはできません。



# 目次

動作環境・その他	02
----------	----

インストール方法とアンインストール方法	03～06
---------------------	-------

起動方法	07～08
------	-------

「誰でもできる作曲ソフト3」について	09
--------------------	----

## 1から曲を作成して、保存する

1. 拍子を選んで、新規作成画面を表示する	10
2. コードを設定する(設定・変更・削除)	11～12
3. 設定したコードを確定する	13
4. 音符入力の前に	
自動作曲されたメロディーを削除する	14
5. 音符を入力する前に確認すること	15
6. 音符を入力する	16～18
7. 入力した音符を五線譜に反映する	19
8. ページを切り替えて音符を入力する	20
9. 音符入力画面を閉じる	21
10. テンポを設定する	22
11. 曲を視聴する	23
12. 曲に歌詞を設定する	24～27
13. 歌詞付きのWAVEファイルを作成する	28
14. 歌詞付きの曲を視聴する	28
15. 作曲した曲を保存する	29～31

## 自動作曲機能を使って曲を作成する

1. 4小節の曲(例)のメロディーを作る	32
コードを変更した場合	33
サンプルコード進行を使用した場合	34
2. メロディーを固定する	35
3. メロディーの音色を変更する	35～36
4. リズムパターンを変更する	36
5. ベースパターンを変更する	37
6. ドラムパターンを変更する	38
7. 音量を変更する	39
8. 小節をコピーして貼り付ける	40～41

保存した曲を開く	42
----------	----

## その他の機能・操作説明

小節の削除	43
メロディーのコピーと貼り付け	44～45
自動コードを設定する	46
各小節ごとに音色を設定する	47～49
各小節ごとに音量を設定する	50～51
各小節ごとにリズムパターンを設定する	52～53
各小節ごとにベースパターンを設定する	54～55
各小節ごとにドラムパターンを設定する	56～57
曲全体のアルペジオパターンを設定する	58
各小節ごとにアルペジオパターンを設定する	59～60
曲全体のステレオ設定をする	61
各小節ごとにステレオ設定をする	62～63
ドラムパターンを編集する	64～66
パワードラムを設定する	67
パワードラムをデータとして保存する	68～70
パワーベースを設定する	71
パワーベースをデータとして保存する	72～74
クリスタルコードを作成する	75～79
楽器チャンネルを設定する	80～82
コードを作成する	83～85
楽譜を画像として保存する	86
三連符を作成する	87～89

付録：ピアノコード一覧	90～92
-------------	-------

お問い合わせ窓口	94～裏表紙
----------	--------

## 動作環境・その他

■対応OS: Windows XP / Vista / 7 / 8 / 8.1 / 10

※Mac OSには対応していません。

※マイクロソフトのサポート期間が終了したOSでの動作は保証いたしません。また、弊社サポートも対象外です。

■CPU: Intel プロセッサ 1GHz以上 (または同等の互換プロセッサ)

■メモリ: 2GB以上

■モニター: 1280×1024以上の解像度で色深度32bit True Color以上の表示をサポートしている環境

■CD-ROM: 倍速以上

■ハードディスク: 1GB以上の空き容量(インストール時)

■対応ファイル形式: 保存形式: MIDI / WAVE 画像保存: BMP

■その他: インターネット接続環境必須

※Windows対応のオーディオ・インターフェースまたはサウンド・カードが必須です。

※アップデートや最新情報の確認を行う際にはインターネット接続環境が必要です。

### 【OSについて】

※上記OSが正常に機能し、OSの最低動作環境を満たしていることが前提です。

※日本語版32bitOSのみの対応です。各種ServerOSには対応していません。

Windows 7 / 8 / 8.1 / 10 64bitでは、WOW64(32bit互換モード)で動作します。

※Windows 8 / 8.1 / 10では、デスクトップモードのみ対応です。

※Windows 10での動作確認はテクニカルプレビュー版で確認済みです。

※最新のサービスパック(SP)及び各種パッチが適用されている環境が前提です。

※管理者権限を持ったユーザーでお使いください。

※マイクロソフトのサポート期間が終了したOSでの動作は保証いたしません。

### 【ご注意】

※誰でもできる作曲ソフトを除く激安革命シリーズや他のソフトとの互換性はありません。

※パソコン環境によっては、パソコンの動作に遅延等が見られる場合もありますのでご注意ください。

※歌詞の入力はひらがな文字のみとなります。カタカナ、漢字、アルファベット等は使用できません。

※MIDI / WAVE / BMP以外の形式で保存はできません。

※全てのファイルの入力、出力を保証するものではありません。

※著作権を遵守してご利用ください。

※メロディーを作成するには先にコードの作成が必須となります。メロディーだけを作成することはできません。

※1小節に複数のコードを設定することはできません。

※小節ごとに異なるコード数を入れることはできません。

### 【サポートについて】

※弊社ではソフトの動作関係のみのサポートとさせていただきます。また、製品の仕様やパッケージ、ユーザーサポートなどすべてのサービス等は予告無く変更、または終了することがあります。予めご了承ください。

※パソコン本体や各種ハードウェア、また各種ソフトウェアについてのお問い合わせやサポートにつきましては、各メーカーに直接お問い合わせください。

### 【その他】

※本ソフトを著作権者の許可無く賃貸業等の営利目的で使用することを禁止します。改造、リバースエンジニアリングすることを禁止します。

※本ソフトを複数のパソコン上で使用するには台数分のソフトを必要とします。

※本ソフトにはネットワーク上でデータを共有する機能はありません。

また、ネットワークを経由してソフトを使用することはできません。

※本ソフトを運用された結果の影響につきましては、当社は一切の責任を負いかねます。

また、本ソフトに瑕疵が認められる場合以外の返品はお受け致しかねますので予めご了承ください。

※著作権者の許諾無しに、画像・イラスト・文章等の内容全て、もしくは一部を無断で改変・頒布・送信・転用・転載等は法律で禁止されております。

### 【商標について】

※Microsoft、Windows、Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Windows 10は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。

※Intelはアメリカ合衆国および他の国におけるIntel Corporationの登録商標または商標です。

※Mac OSは米国および他国のApple Inc.の登録商標または商標です。

※その他記載されている会社名・団体名及び商品名などは、登録商標または商標です。

※著作権者の許諾無しに、画像・イラスト・文章等の内容全て、もしくは一部を無断で改変・頒布・送信・転用・転載等は法律で禁止されております。

※本製品は、株式会社アイアールティーのオリジナル製品です。

# インストール方法とアンインストール方法

## インストール方法

お使いのパソコンに『誰でもできる作曲ソフト3』をインストールします。

本ソフトをインストールする前に、次の項目をご確認ください。

### ○ハードディスクの空き容量

2GB 以上の空き容量(インストール時) ※別途データを保存するための空き容量が必要です。

### ○管理者権限について

インストールするパソコンの管理者権限を持っているユーザーがインストールを行ってください。

### ○アプリケーションソフトの停止

インストールする前にウイルス対策ソフトなどの常駐ソフトや他のアプリケーションを停止してください。

※Windows OS やお使いのパソコンそのものが不安定な場合も、正常にインストールが行われない場合があります。

## 1 本ソフトのCD-ROMをCD-ROMドライブに入れてください。

CDが認識されましたら、自動でセットアップが始まります。  
右のような画面が表示されましたら、**次へ** ボタンをクリックしてください。  
(自動再生画面が表示された場合、6 ページをご参照ください。)

パソコンの設定によっては自動でセットアップが始まらない場合があります。

その場合は、[コンピューター]※→[CDまたはDVDドライブ]→[SETUP.EXE]をダブルクリックしてください。

※Windows 7、8、8.1の場合は[コンピューター]または「PC」等

Windows Vistaの場合は[コンピュータ]

Windows XPの場合は[マイコンピュータ]



## 2 使用許諾契約の内容を確認してください。

使用許諾契約書の内容を確認し、  
**使用許諾契約の条項に同意します**をクリックして選択した後、**次へ** ボタンをクリックしてください。





# インストール方法とアンインストール方法

## 3 インストール先のフォルダーを確認してください。

この画面からインストール先を選択できます。

インストール先を変更しない場合は **次へ** ボタンをクリック、  
インストール先を変更する場合は **変更** ボタンをクリック  
してください。

※通常は、インストール先を変更しなくても結構です。

※ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、  
6ページをご参照ください。



## 4 設定の内容を確認してください。

確認用の画面が表示されます。

よろしければ **インストール** ボタンをクリックしてください。

インストールが始まります。



## 5 インストール完了！

インストールが正常に終了すると右のような画面が表示  
されますので **完了** ボタンをクリックしてください。



# インストール方法とアンインストール方法

## アンインストール方法

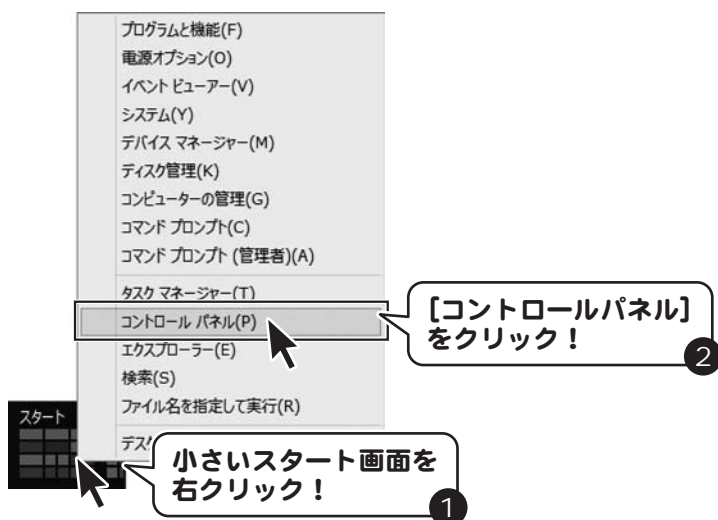
お使いのパソコンから『誰でもできる作曲ソフト3』をアンインストール（削除）します。

本ソフトを完全に終了して、タスクバーの左下あたりにマウスカーソルを合わせます。



タスクバーの左下に  
マウスカーソルをあわせる！


小さいスタート画面が表示されますので、右クリックをして、表示されるメニューから




【コントロールパネル】  
をクリック！

小さいスタート画面を  
右クリック！

「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」で一覧表示されるプログラムの中から「誰でもできる作曲ソフト3」を選択して「アンインストール」をクリックすると、確認メッセージが表示されますので、**はい** ボタンをクリックするとアンインストールが実行されます。

※Windows 7の場合、 ボタン→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」を選択してアンインストールを行ってください。

※Windows Vistaの場合、 ボタン→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストールと変更」を選択してアンインストールを行ってください。

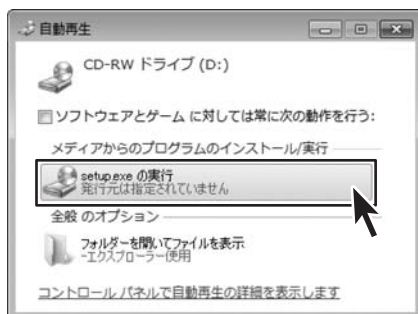
※Windows XPの場合、「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」を選択してアンインストールを行ってください。

# インストール方法とアンインストール方法

インストール中、またはアンインストール中に下のような画面が表示された場合  
次の手順で作業を続けてください。



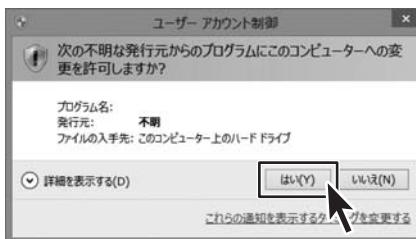
Windows 8、8.1で[自動再生]画面が表示された場合  
[setup.exeの実行]をクリックしてください。



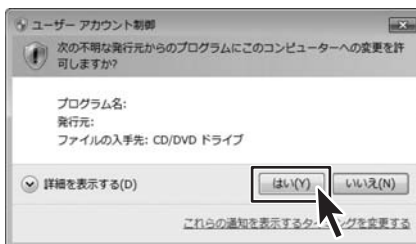
Windows 7で[自動再生]画面が表示された場合  
[setup.exeの実行]をクリックしてください。



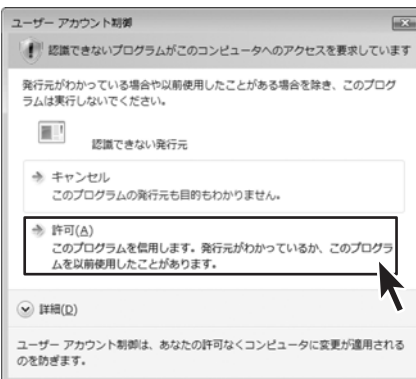
Windows Vistaで[自動再生]画面が  
表示された場合  
[setup.exeの実行]をクリックしてください。



Windows 8、8.1で[ユーザーアカウント制御]画面が  
表示された場合  
はい ボタンをクリックしてください。



Windows 7で[ユーザーアカウント制御]画面が  
表示された場合  
はい ボタンをクリックしてください。



Windows Vistaで[ユーザーアカウント制御]画面が  
表示された場合  
[許可]をクリックしてください。

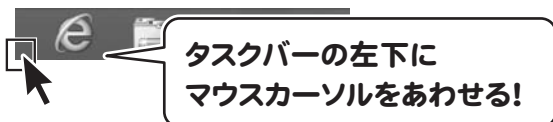
# 起動方法

より良い環境でソフトを使用していただくために、**IRTホームページ** (<http://irtnet.jp/>) をご確認ください、アップデートを行うことをおすすめいたします。アップデートはソフト上で発生している問題等の修正や、より使いやすく改良が行われている場合があります。

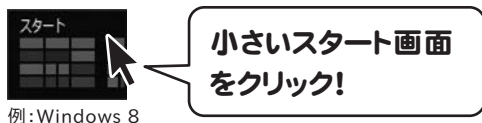
## スタート画面 (Windows 8、8.1) からの起動





タスクバーの左下あたりにマウスカーソルをあわせます。



小さいスタート画面が表示されますので、クリックをします。



スタート画面が表示されますので、スタート画面上で右クリックして、 (すべてのアプリ) (Windows 8.1の場合は  ボタン) をクリックして「IRT」→「誰でもできる作曲ソフト3」をクリックしますと、本ソフトが起動します。

本ソフトは、**PDFマニュアル (画面の説明/よくあるお問い合わせ)** を含めてインストールされます。Windows 8、8.1 以外のOSの場合、PDFマニュアルをご覧いただくには、Adobe Readerが必要となります。アドビシステムズ社より無償配布されているAdobe Readerをダウンロードしてください。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページをご覧ください。

# 起動方法

## スタートメニュー (Windows XP、Windows Vista、Windows 7) からの起動



デスクトップ左下の



ボタン (Windows Vistaの場合は



ボタン、Windows XPの場合は[スタート]ボタン)をクリックして

「すべてのプログラム」→「IRT」→「誰でもできる作曲ソフト3」→「誰でもできる作曲ソフト3」をクリックしますと、本ソフトが起動します。

## デスクトップショートカットからの起動

本ソフトをインストールすると、デスクトップ上に「誰でもできる作曲ソフト3」のショートカットアイコンが作成されます。



誰でもできる作曲ソフト3

誰でもできる作曲ソフト3  
デスクトップショートカットアイコン



誰でもできる作曲ソフト3\_PDFマニュアル

誰でもできる作曲ソフト3\_PDFマニュアル  
デスクトップショートカットアイコン

※PDFマニュアルには、  
画面・各部の説明、よくある質問を掲載しています。

# 誰でもできる作曲ソフト3の概要

『誰でもできる作曲ソフト3』は、コードを入力するだけでオリジナル曲を作成できるソフトです。

コードを入力して楽譜を作成し、複数のメロディー、コード、ベース、アルペジオの音色と多様なリズム、ベース、ドラムのパターンから作曲します。  
また、作成した曲に歌詞を付けてソフトに歌わせることもできます。

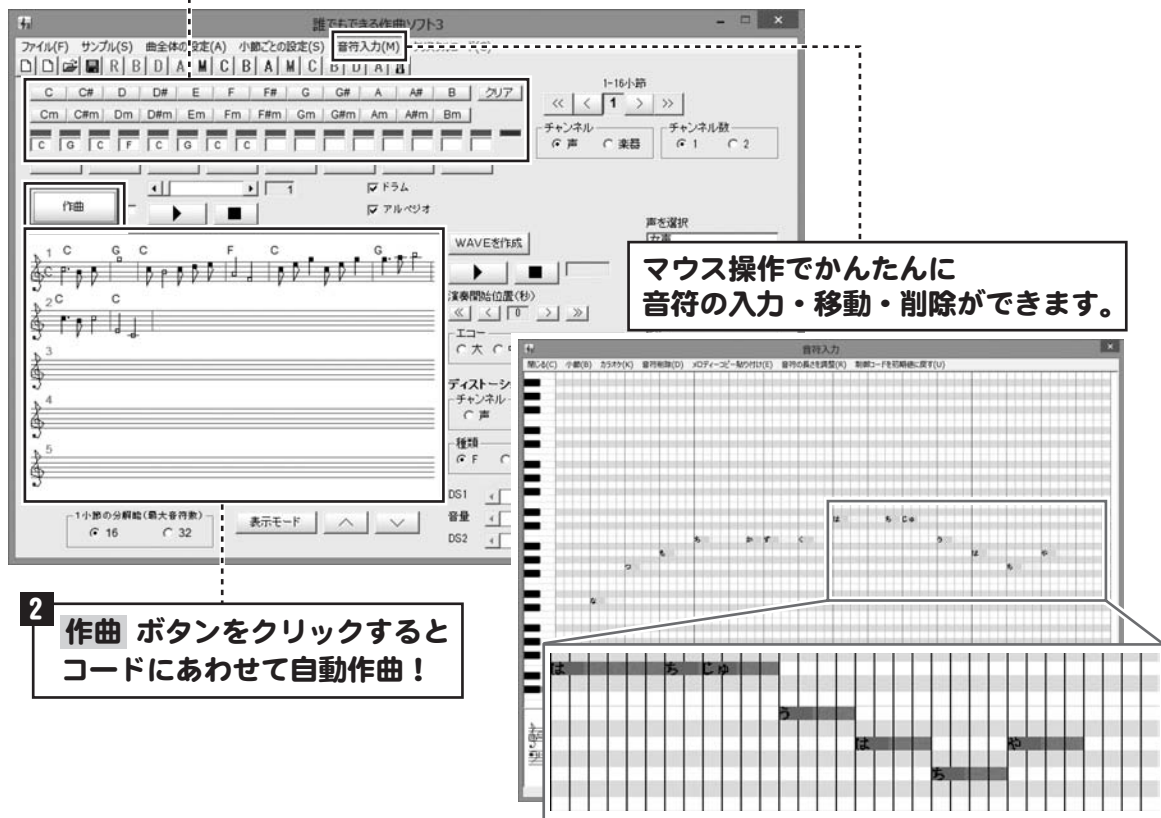
保存はMIDI形式や歌付きのWAVE形式として保存、作成した楽譜は画像ファイルで保存でき、別ソフトに読み込んで印刷することもできます。

「1から曲を作成・保存する」（10～31ページ）は、コードの設定、音符の入力など基本的な操作の流れになります。

「自動作曲機能を使って曲を作成する」（32～41ページ）では、自動作曲機能を使って曲を作り、曲全体のリズム、ベース、ドラムなどの種類を設定したり、音色や音量の設定、小節のコピーして貼り付ける操作をご案内しています。

画面説明は、PDFマニュアルに掲載していますので、本書とあわせてご覧ください。

## 1 お好きなコードを入力！



マウス操作でかんたんに  
音符の入力・移動・削除ができます。

作曲 ボタンをクリックすると  
コードにあわせて自動作曲！

# 1から曲を作成・保存する

## 1から曲を作成・保存する

「誰でもできる作曲ソフト3」で、1から曲を作成します。  
ここでは、「茶摘み」の楽譜の前半4小節の曲を作る説明をします。



### 1 拍子を選んで、新規作成画面を表示します

「誰でもできる作曲ソフト3」起動します。  
※本ソフトは、起動時に曲のサンプルデータが  
入力されています。

[ファイル]メニューから[新規作成]をクリックします。  
表示されるメニューから、作成する曲の拍子  
を選択します。  
(ここでは、[4拍子の曲を作る]を選択します)

確認画面が表示されますので、内容を確認して、  
はい ボタンをクリックすると、新規の画面が  
表示されます。

memo

#### 3拍子と4拍子

##### 4拍子の例

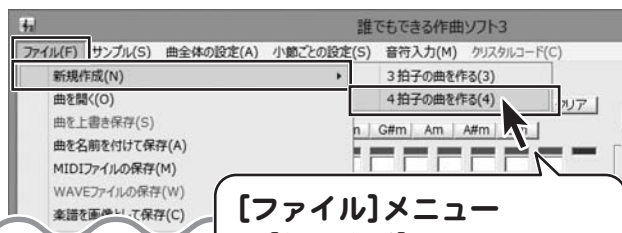


例えばこの場合、「1小節の拍を  
4分音符とする4拍子」となります。

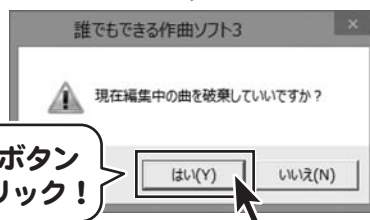
##### 3拍子の例



例えばこの場合、「1小節の拍を  
4分音符とする3拍子」になります。



はい ボタン  
をクリック!





# 1から曲を作成・保存する


## 2 コードを設定します

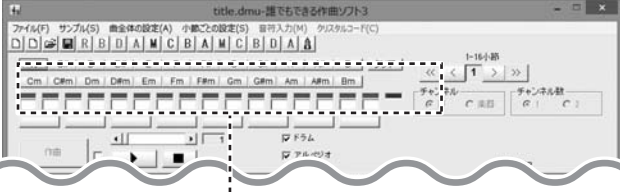
曲を作成するには、まずコードを設定する必要があります。(コードを設定しないと音符を入力できません)  
 コードがあまり詳しくない方は、巻末にピアノコード一覧の参考資料がありますのでご覧ください。  
 コードは、メロディーをつけた後でも変更できます。「自動コード」機能を使ってコードを再設定することもできます。(46ページ)

まずは、曲のコードを設定します。

サンプル曲「茶摘み」のコード例として、「G」→「G」→「G」→「A」の順番でコードボタンをクリックします。  
 コード表示ボックスには、クリックした順にコードが設定されます。

コード表示ボックスのコードは、クリックするごとに文字の色が黒→青→赤と変わります。  
 下記の表を参考にコードを設定してください。

例：  

 黒い文字の状態(コード:A)  
**コードをクリック!**  
 青い文字に変わります。(コード:A7)



①「G」→「G」→「G」→「A」の順にコードボタンをクリックします

②コードボタンをクリックした順番に左端のボックス(1小節目)から設定されます

※コードは偶数個で設定してください。

### memo 文字の色でコードが変わります

コードボタンをクリックして設定したコードは、はじめは文字の色が黒になっています。  
 設定したコードの文字の上をクリックすると、文字の色が黒→青→赤と変わります。  
 色によって、コードの種類が異なりますので下記の表を参考にしてください。

コードボタン

文字色	C	C#	D	D#	E	F	F#	G	G#	A	A#	B
黒	C	C#	D	D#	E	F	F#	G	G#	A	A#	B
青	C7	C#7	D7	D#7	E7	F7	F#7	G7	G#7	A7	A#7	B7
赤	CM7	C#M7	DM7	D#M7	EM7	FM7	F#M7	GM7	G#M7	AM7	A#M7	BM7

	Cm	C#m	Dm	D#m	Em	Fm	F#m	Gm	G#m	Am	A#m	Bm
黒	Cm	C#m	Dm	D#m	Em	Fm	F#m	Gm	G#m	Am	A#m	Bm
青	Cm7	C#m7	Dm7	D#m7	Em7	Fm7	F#m7	Gm7	G#m7	Am7	A#m7	Bm7
赤	Cm M7	C#m M7	Dm M7	D#m M7	Em M7	Fm M7	F#m M7	Gm M7	G#m M7	Am M7	A#m M7	Bm M7

C～B(上段)  
 黒:メジャー  
 青:セブンス  
 赤:メジャーセブンス

Cm～Bm(下段)  
 黒:マイナー  
 青:マイナーセブンス  
 赤:マイナーメジャー7

# 1から曲を作成・保存する

## 入力したコードを変更するには

コードの上にあるボックスが緑色になっていると、コードボタンをクリックして入力し直すことができます。

緑色にするには、変更するコードの上の茶色のボックスをクリックします。

緑色になりましたら、変更するコードボタンをクリックすると、そのコードが入力されます。

コードを変更できました

コード変更が終わりましたら、右端のボックスをクリックして緑色にします。  
緑色の位置が一番右端にあるときは、コードボタンをクリックすると、曲の終了位置にコードが追加され、曲が長くなっていきます。

## 入力したコードを削除するには

クリア ボタンをクリックします。  
設定されている後ろのコードから順に削除されます。

The diagram illustrates the process of changing and deleting a chord in the software. It shows a sequence of four screenshots of the chord interface, with arrows indicating the flow of the process.

**Step 1: Changing a Chord**

- The first screenshot shows the chord interface with a tea-colored box (G) selected. A callout says: **茶色のボックスをクリック!** (Click the tea-colored box!).
- The second screenshot shows the box turned green. A callout says: **緑色になります。** (It will turn green).
- The third screenshot shows the user clicking the Em chord button. A callout says: **変更するコードのボタンをクリック!** (Click the button for the code to change!).
- The fourth screenshot shows the Em chord entered. A callout says: **コードを変更できました** (You can change the code).

**Step 2: Deleting a Chord**

- The fifth screenshot shows the user clicking the 'クリア' (Clear) button. A callout says: **右端のボタンをクリックして緑色にする!** (Click the button on the right to turn it green!).
- The sixth screenshot shows the 'クリア' button being clicked again. A callout says: **クリア ボタンをクリック!** (Click the Clear button!).



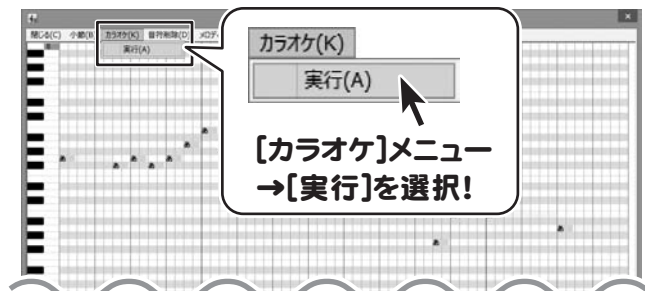
# 1から曲を作成・保存する

## 4 音符入力の前に、自動作曲されたメロディーを削除します

[音符入力]メニューをクリックして、  
音符入力画面を表示します。

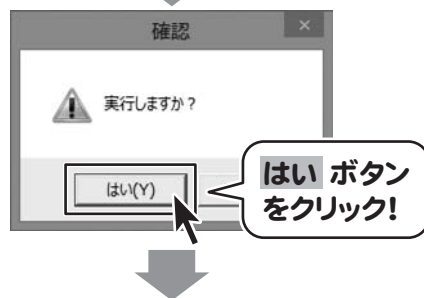
音符入力画面が表示されましたら、**3** で  
自動作曲されたサンプルメロディーの音符を  
すべて削除します。

[カラオケ]メニューから[実行]を選択します。



確認画面が表示されますので、内容を確認して  
**はい** ボタンをクリックします。

入力されていた音符がすべて削除されます。



入力されていた音符が  
すべて削除されました



# 1から曲を作成・保存する

## 5 音符を入力する前に確認します

音符入力画面では、画面に4小節ずつ(※MEMO)表示します。

音符を入力する前に、以下の2点を確認します。

- 1～2小節の音符が編集できるように、1～2小節が選択されているか
- 1～2小節の欄の下に青いバーが表示されていれば、選択されています。
- 入力モードが[編集]になっているか

memo



### 1小節の分解能(最大音符数)

1小節の分解能(最大音符数)

16

32

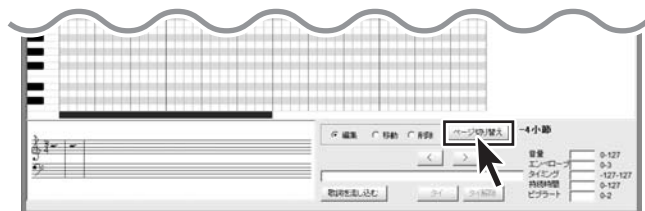
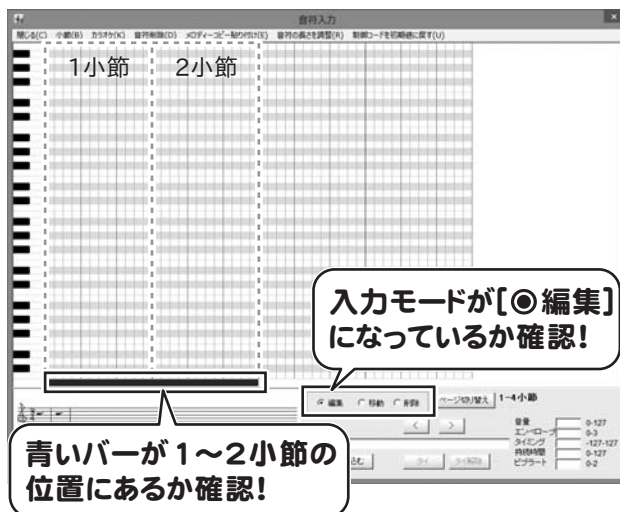
「1小節の分解能(最大音符数)」はメイン画面で設定します。

1小節に2つのコードを付ける曲の場合は、「32」を選択します。(右上のサンプル画面は「16」)

「1小節の分解能(最大音符数)」を「16」に設定している場合は、音符入力画面では4小節ずつ表示します。「32」に設定していると2小節ずつ表示します。

### 青いバーの位置を移動するには

ページ切り替え ボタンをクリックすると、青いバーが移動して、編集するページを設定できます。



# 1から曲を作成・保存する

## 6 音符を入力します

サンプル曲「茶摘み」の1～2小節の音符を5オクターブの位置に入力します。

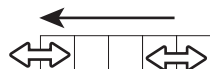
マウスをクリックしたまま左から右にドラッグして、音符を入力します。



音符の長さの末尾にマウスポインターを合わせてドラッグすると、音符の長さを変更できます。  
右にドラッグして音符を伸ばします。  
左にドラッグして音を短くします。



一番左までドラッグすると音符を削除できます。



音符の長さの設定は、17ページのMEMO「音符と休符」を参考にしてください。

サンプル曲「茶摘み」



真ん中の赤いラインまで、上記のように音符を入力します。

拡大

B	シ
A#	ラ# (シ <sup>♭</sup> )
A	ラ
G#	ソ# (ラ <sup>♭</sup> )
G	ソ
F#	ファ# (ソ <sup>♭</sup> )
F	ファ
E	ミ
D#	レ# (ミ <sup>♭</sup> )
D	レ
C#	ド# (レ <sup>♭</sup> )
C	ド

コード 音階

※五線譜には<sup>♭</sup> (フラット) は表記されず、<sup>#</sup> (シャープ) の音符で表記されます。

# 1から曲を作成・保存する



## 音符と休符

音符入力画面に下記のように入力すると、五線譜に下記の音符、休符が入力されます。

### 最大音符数「16」の場合

	♪ 16分音符
	♪ 8分音符
	♪ 付点8分音符
	♪ 4分音符
	♪ 付点4分音符
	♪ 2分音符
	♪ 付点2分音符
	♪ 全音符

空白にすると、休符になります。

	♪ 16分休符
	♪ 8分休符
	♪ 付点8分休符
	♪ 4分休符
	♪ 付点4分休符
	♪ 2分休符
	♪ 付点2分休符
	♪ 全休符

### 最大音符数「32」の場合

	♪ 32分音符
	♪ 16分音符
	♪ 8分音符
	♪ 付点8分音符
	♪ 4分音符
	♪ 付点4分音符
	♪ 2分音符

空白にすると、休符になります。

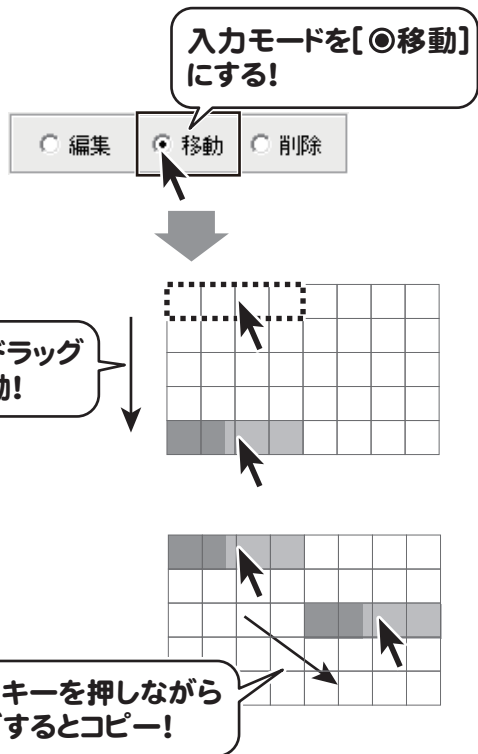
	♪ 32分休符
	♪ 16分休符
	♪ 8分休符
	♪ 付点8分休符
	♪ 4分休符
	♪ 付点4分休符
	♪ 2分休符



# 1から曲を作成・保存する

## 音符を移動する時

入力した音符の位置を移動する場合は、入力モードを[移動]にして、音符をドラッグすると移動します。

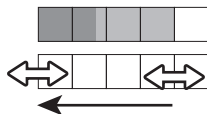


「Ctrl」キーを押しながら音符をドラッグすると複製して配置できます。

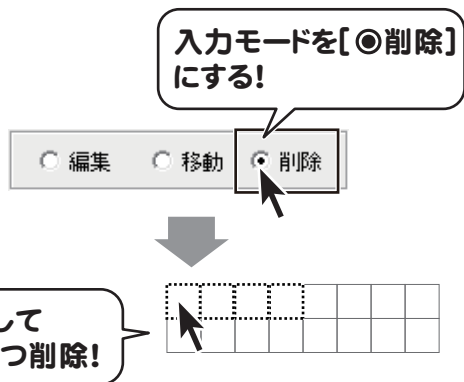
## 音符を削除する時

入力モードを[削除]にして、音符のマスをクリックすると1マスずつ音符が削除されます。

入力モードが[編集]の時は、以下のような操作で削除することができます。



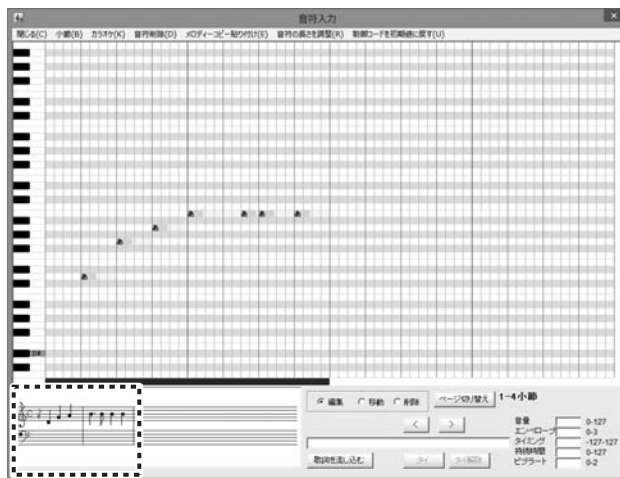
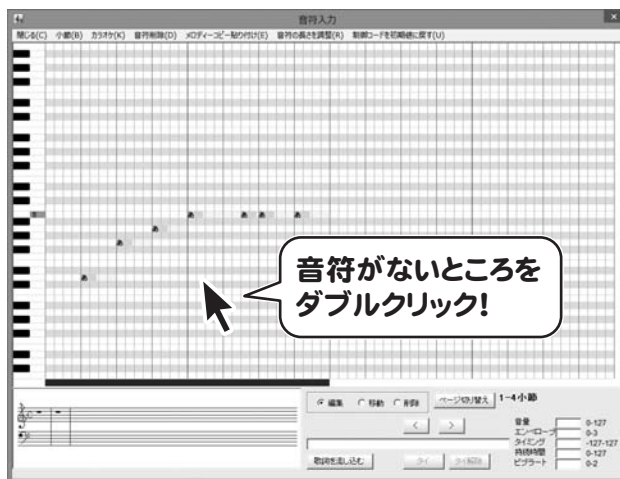
一番左までドラッグすると音符を削除できます。



# 1から曲を作成・保存する

## 7 入力した音符を五線譜に反映します

音符表示・入力エリア内で、音符が入力されていない部分をダブルクリックすると、入力した音符を、下の五線譜に反映させて確認することができます。  
また、ダブルクリックすると編集した内容が更新されます。



入力した音符が五線譜に反映されました

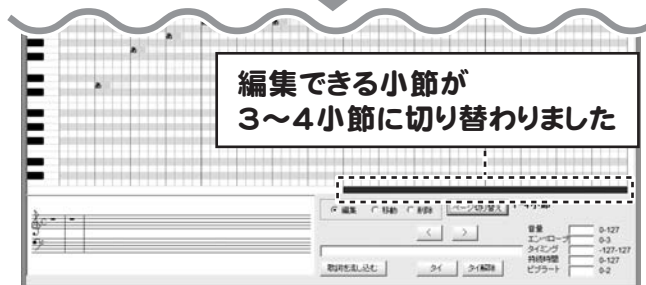
# 1から曲を作成・保存する

## 8 ページを切り替えて音符を入力します

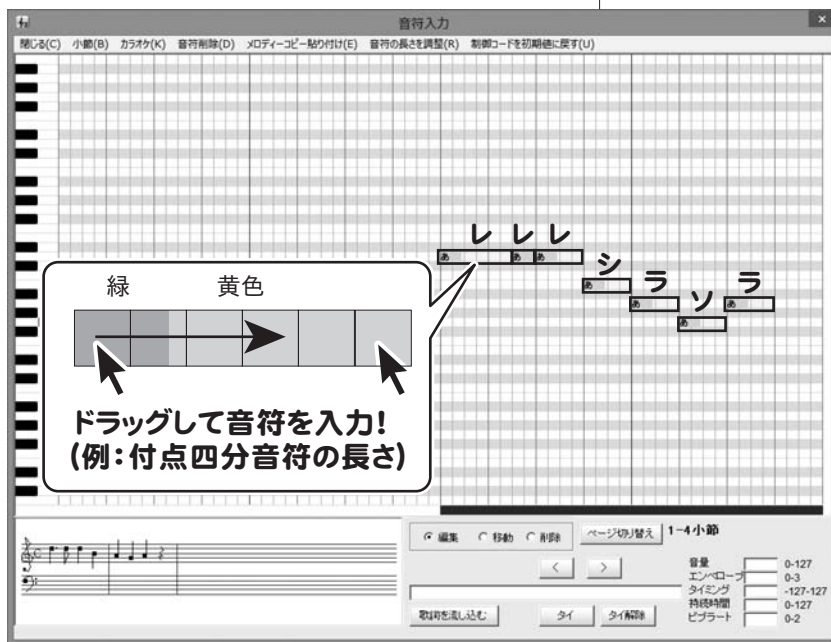
1～2小節の音符の入力が終わりましたら、  
3～4小節の音符の入力をします。

**ページ切り替え** ボタンをクリックして  
編集できる小節を1～2小節から3～4小節に  
切り替えます。

切り替わりましたら、  
16～19ページと同様に、3～4小節の音符を  
順番に入力していきます。



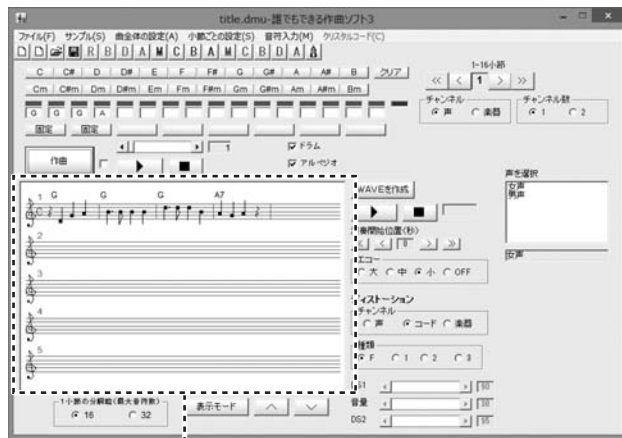
サンプル曲「茶摘み」(3～4小節)



# 1から曲を作成・保存する

## 9 音符入力画面を閉じます

すべての音符入力が終わりましたら、[閉じる]をクリックして、音符入力画面を閉じます。  
入力した音符がメイン画面の楽譜に反映されます。



音符が楽譜に反映されました

# 1から曲を作成・保存する

## 10 テンポを設定します

[曲全体の設定]メニュー → [テンポ]をクリックします。

テンポ画面が表示されます。

初期設定では、[120]に設定されています。  
調節バーのつまみを移動して  
50(遅い)～350(早い)の範囲で曲のテンポを設定することができます。  
ここでは、楽譜と同じ[110]に設定します。

テンポを設定したら、[閉じる]をクリックして  
メイン画面に戻ります。

**作曲** ボタンをクリックして、コード、音符、テンポの設定を一旦確定します。  
確定することで、MIDIファイルの曲が作られ、  
試聴することができます。(次ページへ)



[閉じる]をクリック!




調節バーのつまみを移動して設定!



# 1から曲を作成・保存する

## 11 曲を試聴します

ここまで作成した内容を試聴をしてみます。

 ボタンをクリックすると、  
入力した音符とコードが、設定したテンポ(速さ)  
で再生されます。

※MIDIファイルは、  
コンパクトなファイルで、楽器音専用です。



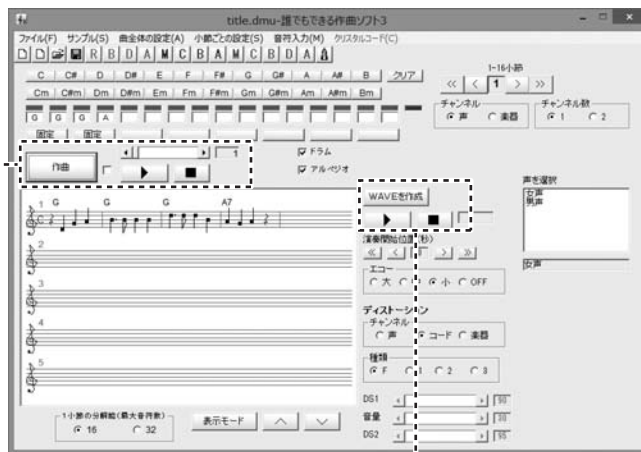
memo



### MIDIファイルとWAVEファイル

本ソフトは、「MIDIファイル」と「WAVEファイル」を作ります。  
「MIDIファイル」は、コンパクトなファイルで、楽器音専用です。  
「WAVEファイル」は、声と楽器音を同時に出すことができ、大きなファイルになります。

### MIDIファイルを作成・再生します



### WAVEファイルを作成・再生します

歌声を含む「WAVEファイル」は、「MIDIファイル」を元に作られますので、歌声を再生するためには、  
最初に「MIDIファイル」を作る必要があります。  
「MIDIファイル」は自動的に作られる場合と、**作曲** ボタンをクリックすると作られる場合があります。  
メロディーと歌詞を変更した場合は「MIDIファイル」は自動的に作られ、  
「音量」「音色」「テンポ」などを変えた場合は **作曲** ボタンをクリックすると「MIDIファイル」が作られます。

# 1から曲を作成・保存する

## 12 曲に歌詞を設定します

音符入力画面を表示して、曲に歌詞を設定します。

[音符入力]メニューをクリックして、  
音符入力画面を表示します。

歌詞の入力は、1～2小節、3～4小節の順番  
で入力していきます。  
まずは、1～2小節の音符に歌詞を入力します。

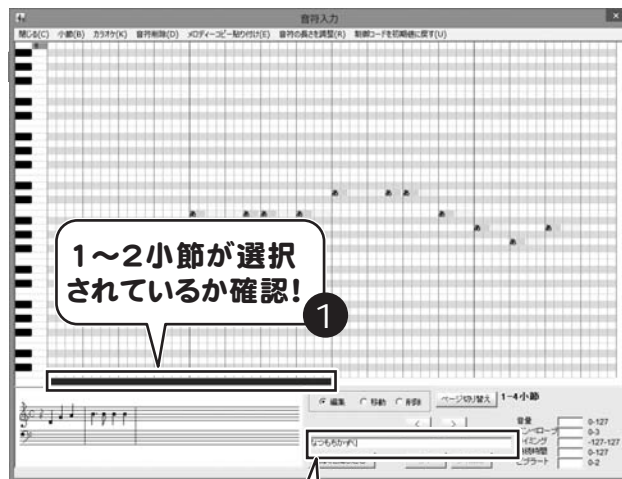
歌詞を入力する前に、以下の点を確認します。

- 1～2小節の音符が編集できるように、  
1～2小節が選択されているか  
1～2小節の欄の下に青いバーが表示されて  
いれば、選択されています。

次に、歌詞の入力欄に歌詞を入力します。  
ここでは、“なつもちかずく”と入力します。

※「づ」など、音符に入力できない文字があります。  
入力可能な文字については、27ページをご覧ください。

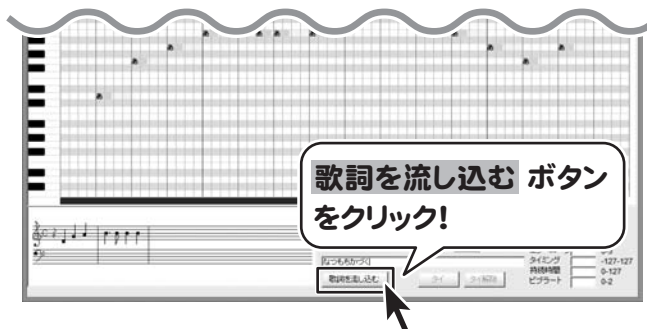
※歌詞は空白を入れずに、すべてひらがなで  
入力してください。



歌詞の入力欄に“なつもちかずく”と入力します。

なつもちかずく

歌詞の入力が終わりましたら、  
歌詞を流し込む ボタンをクリックします。





# 1から曲を作成・保存する

音符表示入力エリアの音符上の文字が、  
入力した歌詞に変更されます。

memo



## 音符の文字を変更する

音符に入力した文字を変更するには、2つ方法があります。

①入力欄に文字を入力しなして、**歌詞を流し込む**  
ボタンをクリックする。

②音符をダブルクリックして、直接入力します。

あ



**ダブルクリック!**

緑色から水色に変わります。直接入力できます。

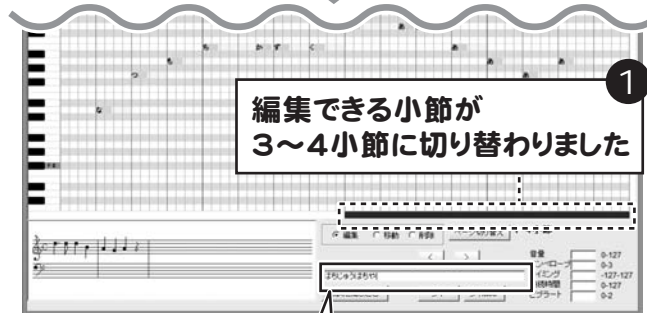
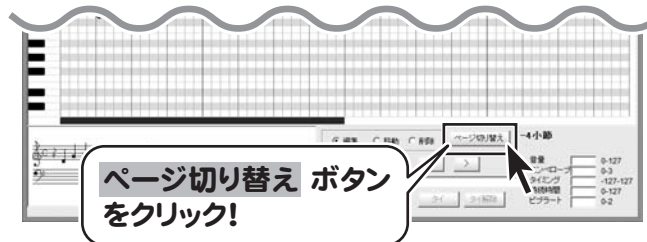
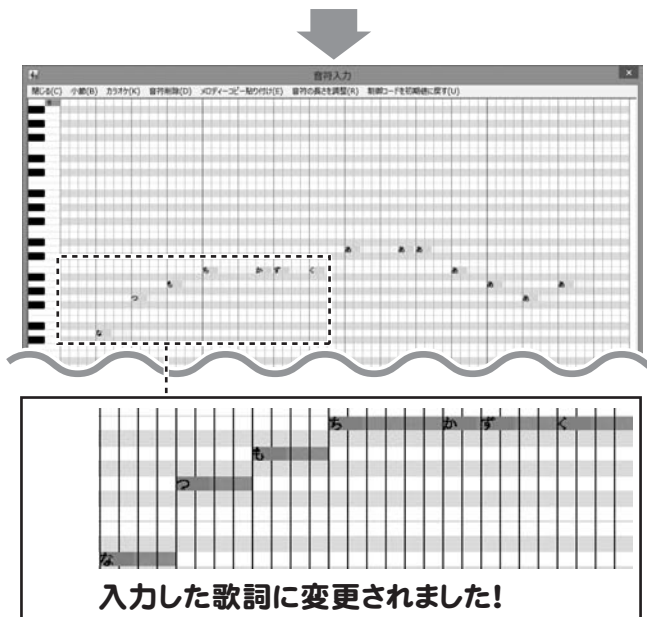
**←音符の上で直接入力!**

1～2小節の音符の入力が終わりましたら、  
3～4小節も同様に歌詞を入力します。

**ページ切り替え** ボタンをクリックして  
編集できる小節を1～2小節から3～4小節に  
切り替えます。

ページが切り替わりましたら、  
歌詞の入力欄に歌詞を入力します。  
ここでは、”はちじゅうはちや”と入力します。

※歌詞は空白を入れずに、すべてひらがなで  
入力してください。

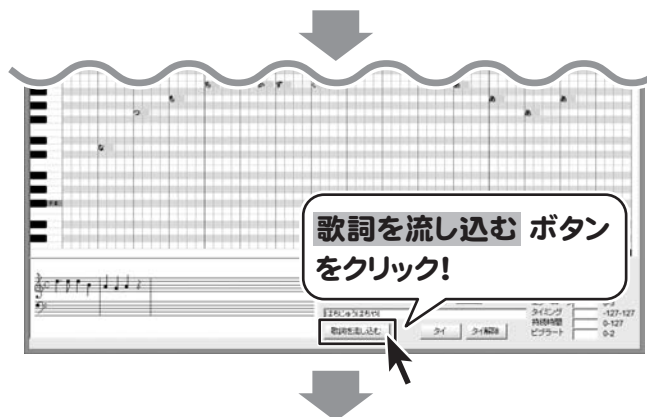


歌詞の入力欄に”はちじゅうはちや”と入力します。

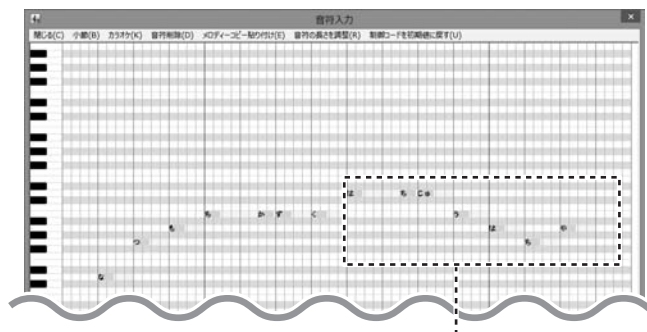
はちじゅうはちや

## 1から曲を作成・保存する

歌詞の入力が終わりましたら、  
歌詞を流し込む ボタンをクリックします。

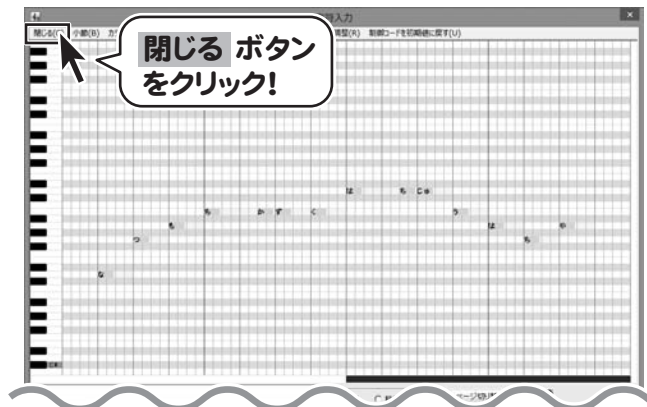


音符表示入力エリアの音符上の文字が、  
入力した歌詞に変更されます。

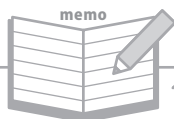


入力した歌詞に変更されました!

歌詞の入力作業が終わりましたら、  
[閉じる]をクリックして、メイン画面に戻ります。



# 1から曲を作成・保存する



## 歌詞に入力可能な文字一覧

歌詞として使用できるのは下記の文字です。(カタカナ、漢字、アルファベットは使えません)

下記の文字に「っ」をつけると、短く発音します。

「あ」と入力すると、長い音符では「あー」と再生されます。

「あっ」と入力すると「あっ」と再生されます。

あ	い	う	え	お	が	ぎ	ぐ	げ	ご
か	き	く	け	こ	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
さ	し	す	せ	そ	だ	でい	どう	で	ど
た	ち	つ	て	と	ば	び	ぶ	べ	ぼ
な	に	ぬ	ね	の	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
は	ひ	ふ	へ	ほ	きゃ		きゅ	きえ	きよ
ま	み	む	め	も	しゃ		しゅ	しえ	しよ
や		ゆ	いえ	よ	ちゃ		ちゅ	ちえ	ちよ
ら	り	る	れ	ろ	にゃ		にゅ	にえ	によ
わ	うい		うえ	うお	ひゃ		ひゅ	ひえ	ひよ
ん					みゃ		みゅ	みえ	みよ
					りゃ		りゅ	りえ	りよ
					ぎゃ		ぎゅ	ぎえ	ぎよ
					じゃ		じゅ	じえ	じよ
					びゃ		びゅ	びえ	びよ
					ぴゃ		ぴゅ	ぴえ	ぴよ
					てい		とう		
					ふあ	ふい		ふえ	ふお

# 1から曲を作成・保存する

## 13 歌詞つきのWAVEファイルを作成します

メイン画面に戻ったら、入力した歌詞を含めたWAVEファイルを作成します。

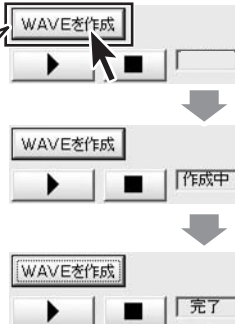
収録されている声の中から、声を選択します。

**WAVEを作成** ボタンをクリックして、WAVEファイルを作成します。



**WAVEを作成**  
ボタンをクリック!

WAVEファイルの作成には  
少し時間がかかります。  
表示が[作成中]→[完了]  
変わったら作成完了!



## 14 歌詞つきの曲を試聴します

作成したWAVEファイルを試聴をしてみます。



ボタンをクリックすると、  
曲と入力した歌詞が再生されます。



# 1から曲を作成・保存する

## 15 作曲した曲を保存します

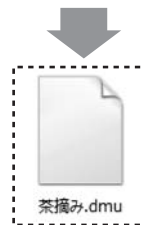
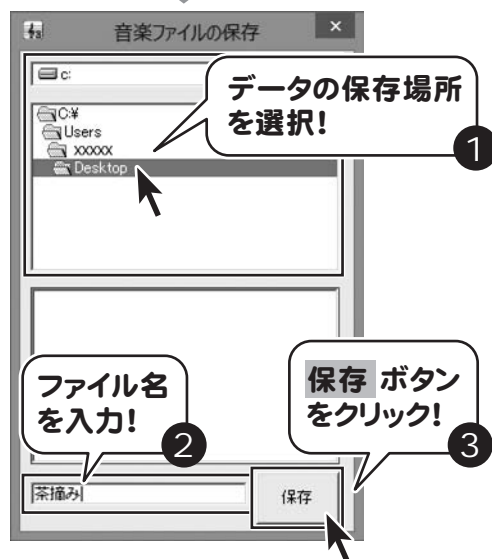
作曲した曲のデータを保存します。

[ファイル]メニュー→[曲を名前を付けて保存]を選択します。

音楽ファイルの保存画面が表示されますので、データを保存する場所を選択して、データ名を入力します。

保存の各設定が終わりましたら、**保存** ボタンをクリックしてください。

ファイルの拡張子は「.dmu」になります。



選択した保存場所にファイルが保存されました

# 1から曲を作成・保存する

## 作成した曲をMIDIファイルで保存する場合

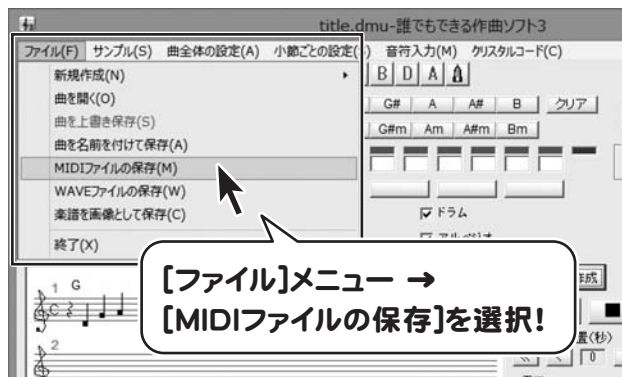
作曲した曲のMIDIデータを保存します。

[ファイル]メニュー→[MIDIファイルの保存]を選択します。

音楽ファイルの保存画面が表示されますので、データを保存する場所を選択して、データ名を入力します。

保存の各設定が終わりましたら、**保存** ボタンをクリックしてください。

ファイルの拡張子は「.mid」になります。



選択した保存場所にファイルが保存されました

# 1から曲を作成・保存する

## 作成した曲をWAVEファイルで保存する場合

作曲した曲のWAVEファイルを保存します。

[ファイル]メニュー→[WAVEファイルの保存]を選択します。

※メニューが灰色の文字で選択できない場合は「WAVEファイルの作成」を行ってください。  
(詳細は28ページをご覧ください)

WAVEを保存画面が表示されますので、  
ファイルを保存する場所を選択して、  
ファイル名を入力します。

保存の各設定が終わりましたら、  
**保存** ボタンをクリックしてください。

ファイルの拡張子は「.wav」になります。

※WAVEファイルは、歌声付きで再生されます。



選択した保存場所にファイルが保存されました



# 自動作曲機能を使って曲を作成する

## 自動作曲機能を使って曲を作成する

「誰でもできる作曲ソフト3」を使って、自動で4小節の曲を作る説明をします。

### 1 4小節の曲のメロディーを作ります

「誰でもできる作曲ソフト3」起動時、4拍子のサンプル曲が入力されています。

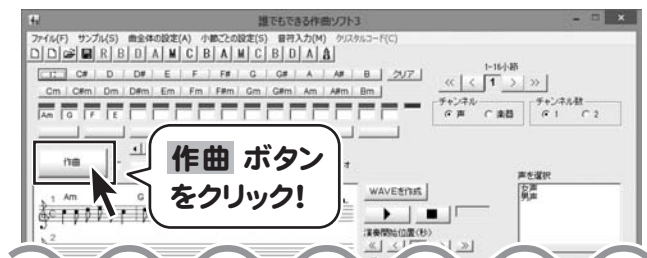
**作曲** ボタンをクリックすると、4小節の曲のメロディーが書き換えられます。メロディーが書き換えられましたら、



ボタンをクリックして、メロディーを確認します。

**作曲** ボタンをクリックする度に、メロディーが書き換えられますので、気に入るメロディーが入力、表示されるまで、同じ操作を繰り返します。

※気に入ったメロディーの部分は固定して書き換えられないようにする方法→35ページ



# 自動作曲機能を使って曲を作成する


## コードを変更して自動作曲する

自動で入力されているコードを変更します。

※コードの入力・変更方法は、10～11ページをご覧ください。

※3拍子に変更する場合は、[ファイル]メニューから[新規作成]→[3拍子の曲を作る]を選択して、新規作成画面を表示してください。

コードの設定が終了しましたら、**作曲** ボタンをクリックします。  
設定したコードで、4小節の曲のメロディーが書き換えられます。  
メロディーが書き換えられましたら、

 ボタンをクリックして、メロディーを確認します。

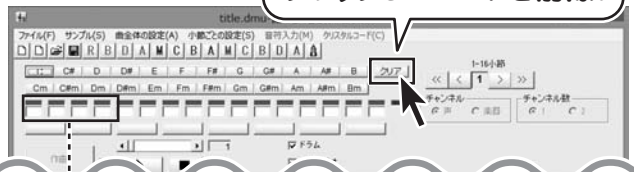
**クリア** ボタンでコードを削除し、入力し直した場合は、メロディーが固定されます。

 ←「固定」と表示されます。

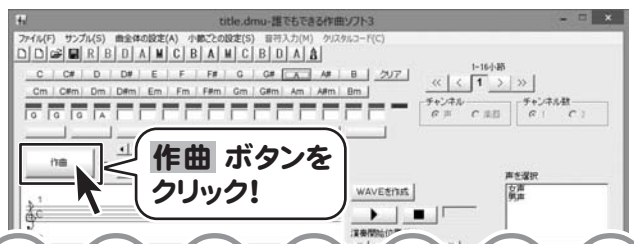
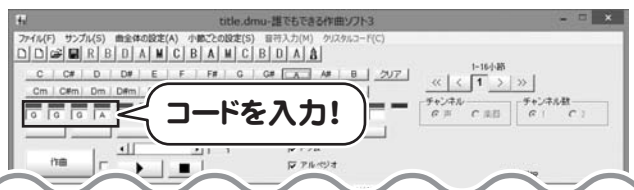
この場合、**作曲** ボタンをクリックしても、曲は変更されなくなるので、**固定** ボタンをクリックして固定を解除します。  
解除されると、**作曲** ボタンをクリックしてメロディーを書き換えることができます。

 →   
クリックして固定を解除

**クリア** ボタンをクリックしてコードを削除!



クリックすることにより右側から削除されます



設定したコードでメロディーが変更されました

# 自動作曲機能を使って曲を作成する

## サンプルコード進行を使用して自動作曲する

自動で入力されているコードを、サンプルコード進行に置き換えて自動作曲します。


※拍子を変更する場合は、[ファイル]メニューの[新規作成]で拍子を選択して、新規作成画面を表示してから進めてください。

[サンプル]メニューをクリックして、「サンプル曲とサンプルコード進行」画面を表示します。

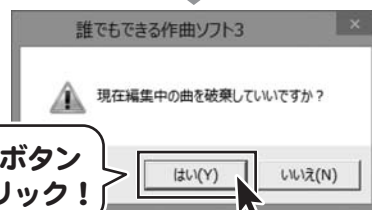
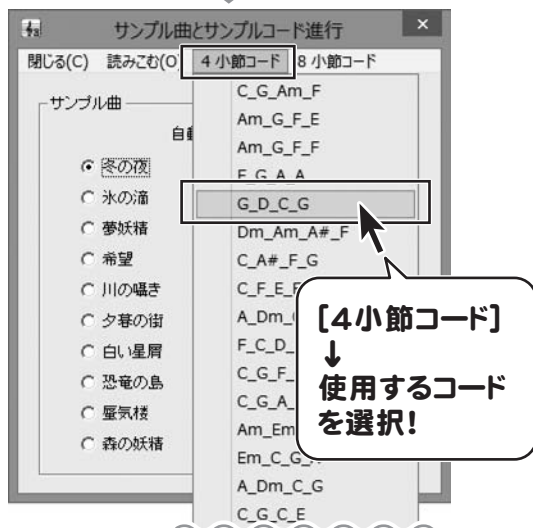
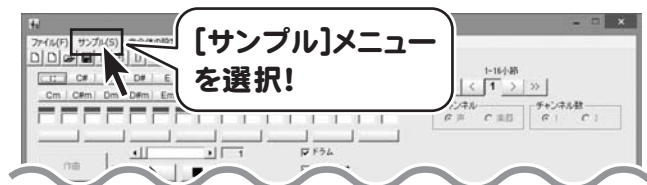
画面上部の[4小節コード]をクリックして、表示されるメニューからコードを選択します。ここでは[G\_D\_C\_G]を選択します。

確認画面が表示された場合は、内容を確認して、**はい** ボタンをクリックします。メイン画面に戻り、コード入力位置表示ボックスに選択したコードが表示されます。

32ページと同様に、**作曲** ボタンをクリックすると、4小節の曲のメロディーが書き換えられます。メロディーが書き換えられましたら、

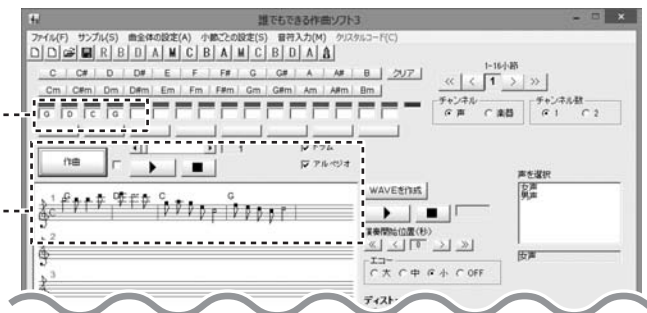
 ボタンをクリックして、メロディーを確認します。

**作曲** ボタンをクリックする度に、メロディーが書き換えられますので、気に入るメロディーが表示されるまで、同じ操作を繰り返します。



選択したコードが入力されました

**作曲** ボタンをクリックごとにメロディーが置き換わります



# 自動作曲機能を使って曲を作成する

## 2 メロディーを固定します

メロディーが決まりましたら、コード表示エリアの **固定** ボタンをクリックして、[固定]の文字を表示させ、メロディーを変更しないように固定します。

※最初の2小節はそのまま、後の2小節だけメロディーを変更したい場合は、最初の2小節だけ[固定]に設定し、**作曲** ボタンをクリックすると、後の2小節のメロディーが変わります。

[固定]に設定すると、**作曲** ボタンをクリックしても、メロディーが変更されなくなります。



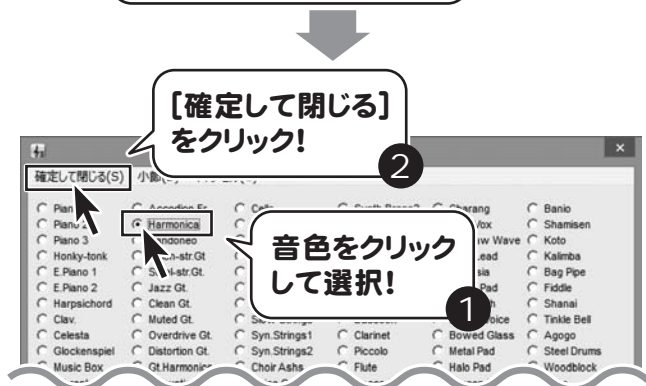
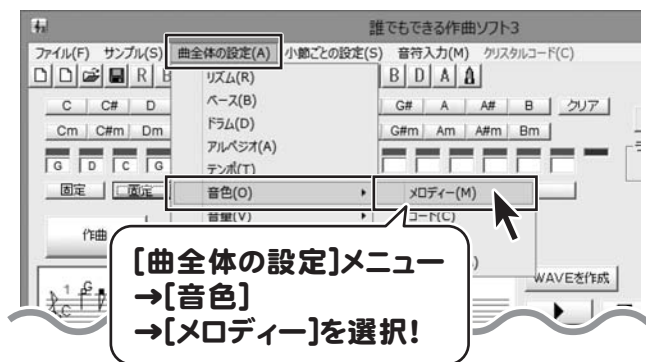
## 3 メロディーの音色を変更します

メロディーが決まりましたら、メロディーの音色を変更してみます。

[曲全体の設定]メニュー → [音色] → [メロディー] をクリックします。  
メロディーの音色画面が表示されます。

初期設定では、[Piano 2]が選択されています。  
ここでは、[Harmonica]を選択します。

変更する音色の○をクリックして選択、  
[確定して閉じる]をクリックして画面を閉じて、  
メイン画面に戻ります。



# 自動作曲機能を使って曲を作成する

メイン画面に戻ったら、  
作曲 ボタンをクリックします。  
選択した音色でメロディーが再生されますので  
ボタンをクリックして音色を試聴します。



## 4 リズムパターンを変更します

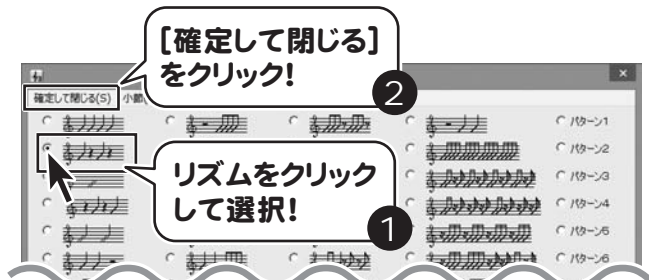
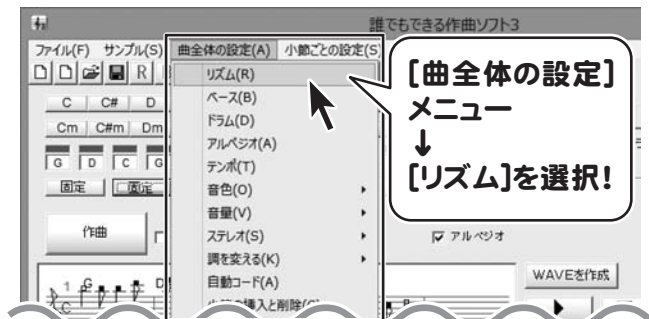
次に、曲のリズムを変更してみます。

[曲全体の設定]メニュー → [リズム]をクリック  
します。  
リズムパターン画面が表示されます。

ここでは、[左から1列目の上から2番目のリズム]  
を選択します。

変更するリズムの○をクリックして選択、  
[確定して閉じる]をクリックして画面を閉じて、  
メイン画面に戻ります。

メイン画面に戻ったら、  
作曲 ボタンをクリックします。  
曲が選択したリズムで再生されますので、  
ボタンをクリックしてリズムを試聴  
します。





# 自動作曲機能を使って曲を作成する

## 5 ベースパターンを変更します

次に、曲のベースパターンを変更してみます。


[曲全体の設定]メニュー → [ベース]をクリックします。

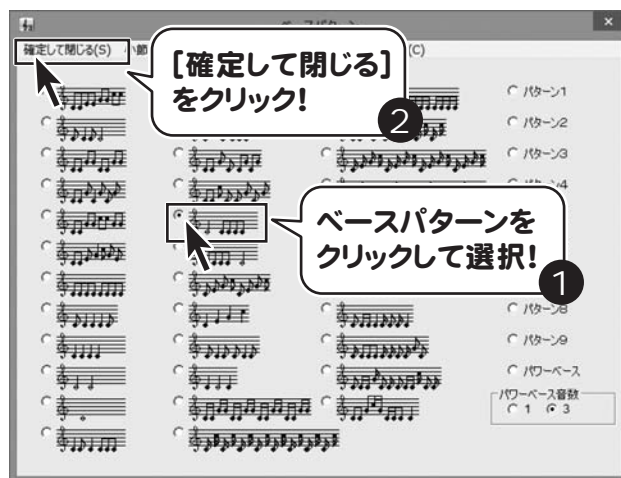
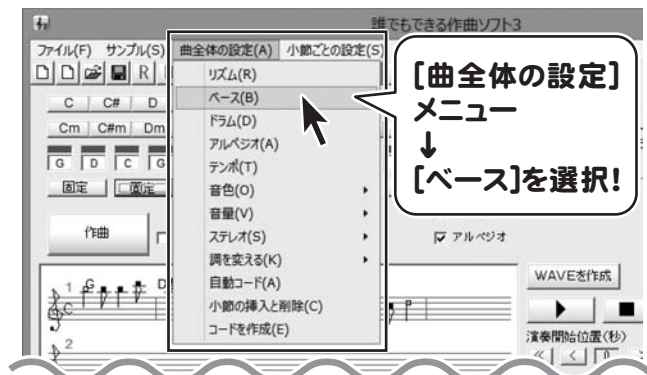
ベースパターン画面が表示されます。

ここでは、[左から2列目の上から5番目のベースパターン]を選択します。

変更するベースパターンの○をクリックして選択、[確定して閉じる]をクリックして、画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

メイン画面に戻ったら、**作曲** ボタンをクリックします。

 ボタンをクリックして試聴します。  
曲が選択したベースパターンで再生されます。



# 自動作曲機能を使って曲を作成する

## 6 ドラムパターンを変更します

次に、曲のドラムパターンを変更してみます。


[曲全体の設定]メニュー → [ドラム]をクリックします。

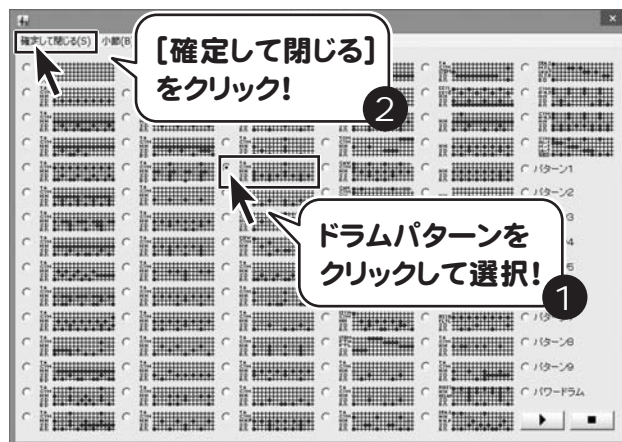
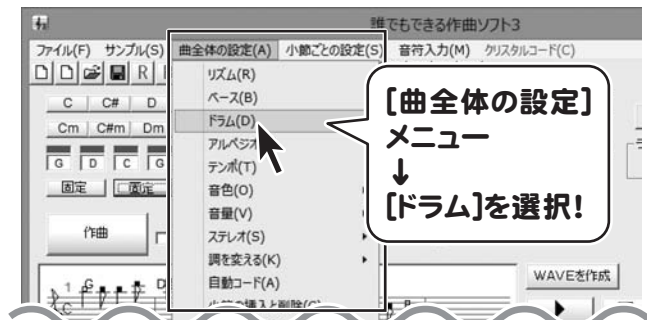
ドラムパターン画面が表示されます。

ここでは、[左から3列目の上から5番目のドラムパターン]を選択します。

変更するドラムパターンの○をクリックして選択、[確定して閉じる]をクリックして、画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

メイン画面に戻ったら、**作曲** ボタンをクリックします。

 ボタンをクリックして試聴します。  
曲が選択したドラムパターンで再生されます。





# 自動作曲機能を使って曲を作成する

## 7 音量を変更します

次に、曲の音量を変更してみます。

音量は、「メロディー」「ベース」「コード」「ドラム」「アルペジオ」の5つの項目別に設定することができます。

どの項目の音量調節も同様の手順になります。ここでは、「メロディー」の音量を変更する説明をします。

[曲全体の設定]メニュー → [音量] → [メロディー] をクリックします。


メロディーの音量画面が表示されます。

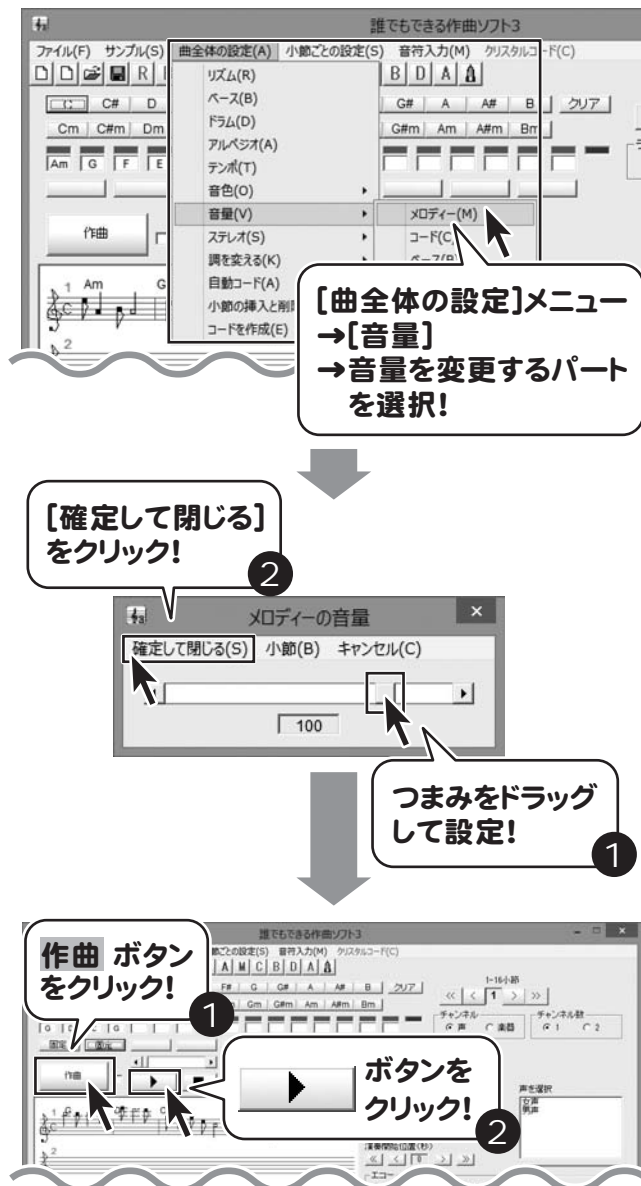
初期設定では、最大音量の[127]に設定されています。

調節バーのつまみを移動して、0(小さい)～127(大きい)の値でメロディーの音量を変更することができます。ここでは、[100]に設定します。

[確定して閉じる]をクリックして、メロディーの音量画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

メイン画面に戻ったら、**作曲** ボタンをクリックします。

 ボタンをクリックして試聴します。設定した音量で曲が再生されます。



# 自動作曲機能を使って曲を作成する

## 8 小節をコピーして貼り付けます

ここまでで作成した4小節の曲をコピーして8小節の曲に編集する方法を説明します。

小節の挿入とコピーを行います。

[曲全体の設定]メニュー → [小節の挿入と削除]  
をクリックします。

小節の挿入と削除画面が表示されます。

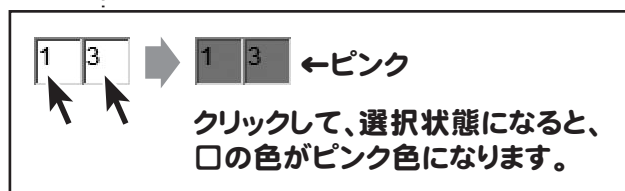
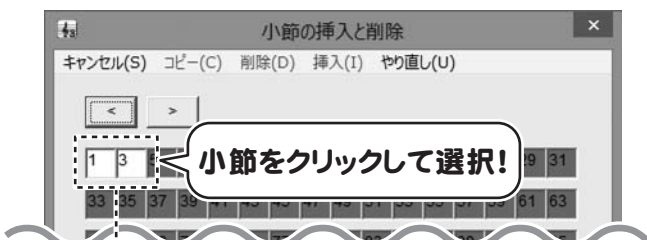
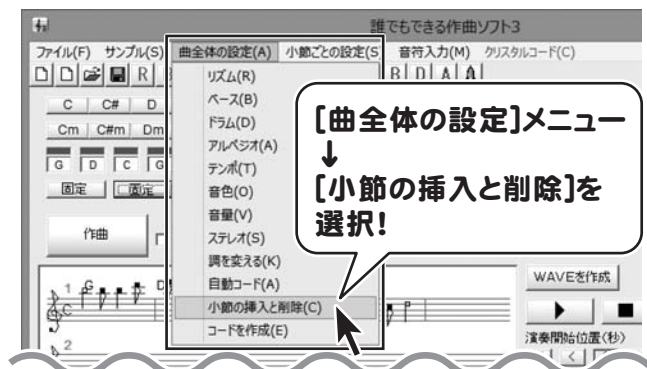
小節の1～255までの数字が書かれています。  
曲が入力されている小節は「白色」、  
使用されていない小節は「灰色」で表示されます。  
◀ ▶ ボタンをクリックすると、小節ページを  
切り替えます。

ここまでで作成してきた曲は4小節の曲なので、  
1 (1, 2小節) と 3 (3, 4小節) の小節が  
「白色」で表示されています。

ここでは、4小節分コピーをするので、  
「1」(1, 2小節) と 「3」(3, 4小節) をクリックして  
選択します。  
選択されると□の色が「ピンク色」に変わります。  
※「1」(1, 2小節) だけをコピーするときは、「1」を  
2回クリックします。

□が選択状態になると、画面上部の[コピー]が  
クリックできるようになりますので、  
[コピー]をクリックします。

※「1小節の分解能」が「16」に設定してある場合は、  
2小節ごとに選択してコピーできます。  
「1小節の分解能」が「32」に設定してある場合は、  
1小節ごとに選択してコピーできます。



# 自動作曲機能を使って曲を作成する


小節のコピーが完了しますと、挿入が可能な小節「5」が白色で表示されます。

「5」をクリックして、選択状態になると、「黄色」に表示されます。

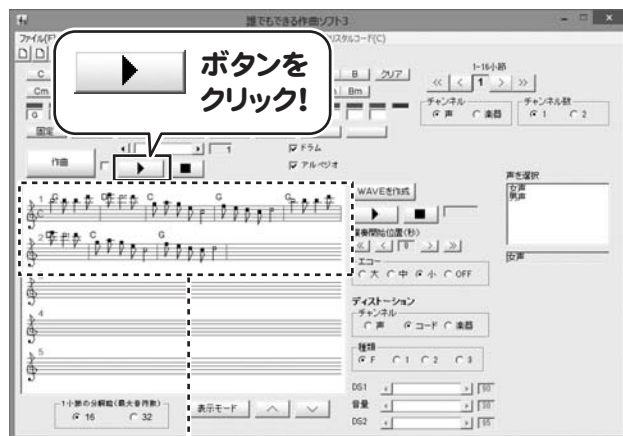
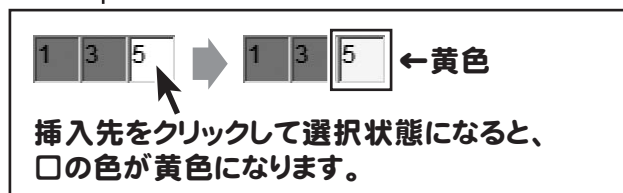
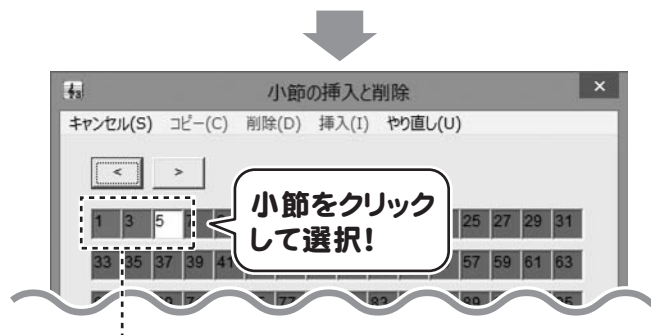
□が選択状態になると、画面上部の[挿入]がクリックできるようになりますので、[挿入]をクリックします。

小節の挿入と削除画面が閉じて、メイン画面に戻ります。

メイン画面に戻ったら、楽譜表示エリアに4小節分の楽譜がコピーされて8小節の曲に編集されているのを確認し、

 ボタンをクリックして、コピー、挿入した曲を確認します。

**作業が終わりましたら、データの保存を行ってください。(29ページ参照)**



**8小節の曲になりました**

# 保存した曲を開く

## 作成、保存した曲のデータを開く

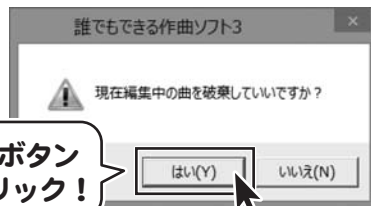
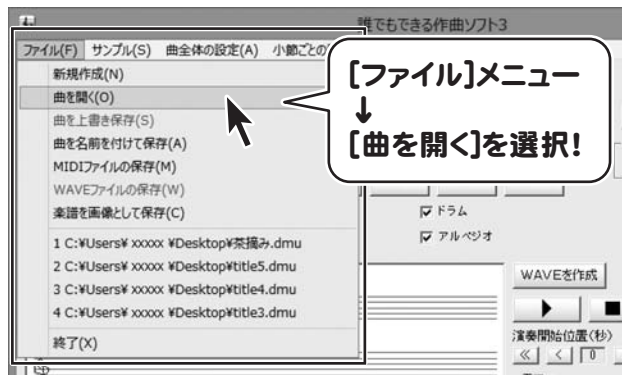
本ソフトで作曲した曲のファイル(拡張子 .dmu)を開きます。

[MIDIファイルの保存][WAVEファイルの保存]で保存したファイルは開いて編集することはできません。

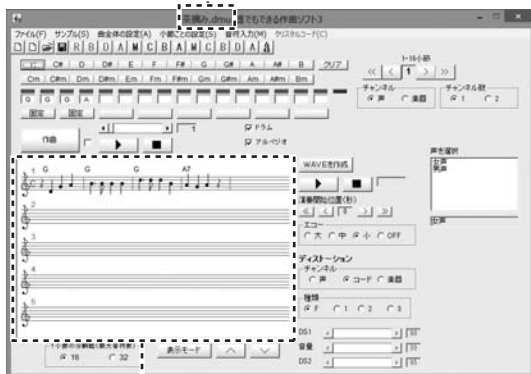
[ファイル]メニュー → [曲を開く]を選択します。

確認画面が表示されますので、内容を確認して、**はい** ボタンをクリックします。

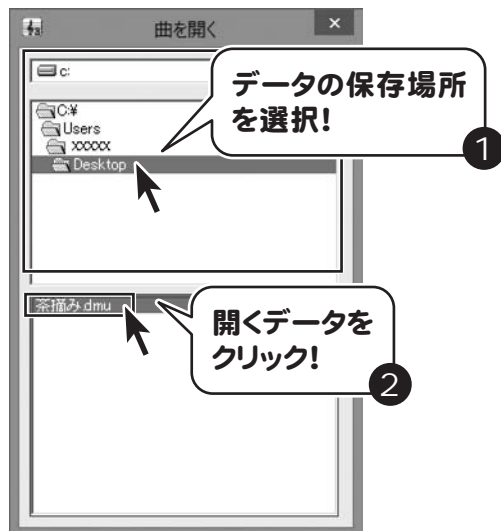
「曲を開く」画面が表示されますので、データが保存されている場所を選択して、開くデータをクリックしますと、メイン画面に曲のデータが表示されます。



### ファイル名表示



データが開きました



## その他の機能・操作説明

### 小節の削除

小節の挿入と削除機能を使用すると、曲に前奏をつける作業や、曲を繰り返す作業がかんたんにできます。  
小節の挿入、コピーの操作方法は、40～41ページをご覧ください。

小節の削除を行います。

ここでは8小節の曲を例に説明します。

[曲全体の設定]メニュー → [小節の挿入と削除]  
をクリックします。

小節の挿入と削除画面が表示されます。

曲が入力されている小節は「白色」、  
使用されていない小節は「灰色」で表示されます。

1 (1, 2小節)、3 (3, 4小節)、5 (5, 6小節)、  
7 (7, 8小節)の小節が「白色」で表示されて  
います。

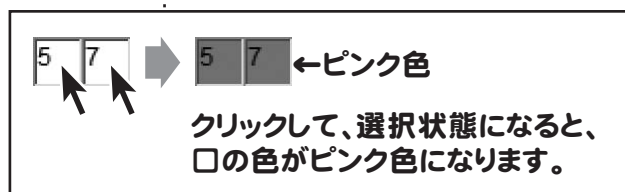
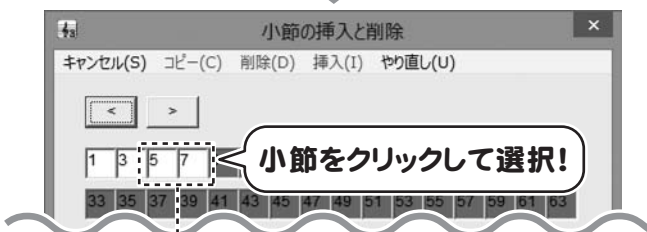
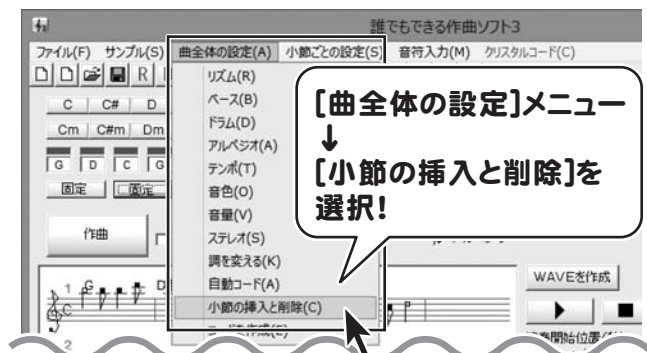
ここでは、5 (5, 6小節)、7 (7, 8小節)の2小節分  
を削除するので、  
削除するはじめの小節の5 (5, 6小節)、  
削除する終わりの小節の7 (7, 8小節)を  
クリックして選択します。  
選択されると□の色が「ピンク色」に変わります。

※1つの小節を削除する場合は、削除する小節の  
はじまりと終わりを設定するので、削除する  
小節を2回クリックしてください。

※削除する小節の選択に失敗した場合は、  
[やり直し]をクリックして、再度削除の操作を  
行ってください。

□が選択状態になると、画面上部の[削除]が  
クリックできるようになりますので、[削除]を  
クリックします。

小節の削除が実行され、小節の挿入と削除画面  
が閉じて、メイン画面に戻ります。



## その他の機能・操作説明

### メロディーのコピーと貼り付け

音符入力画面から、1小節ごとにメロディーをコピー、貼り付けすることができます。

メロディーのコピー、貼り付けを行います。  
ここでは10～29ページで作成した  
「茶摘み」4小節を例に説明します。

まずは、音符入力画面を表示します。

[音符入力]メニューをクリックします。

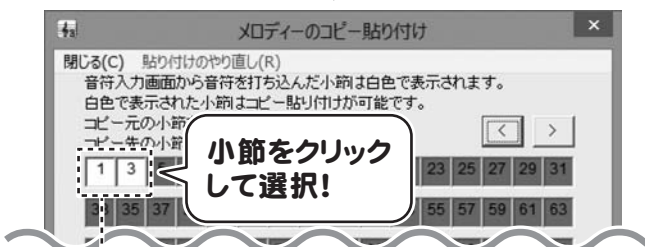
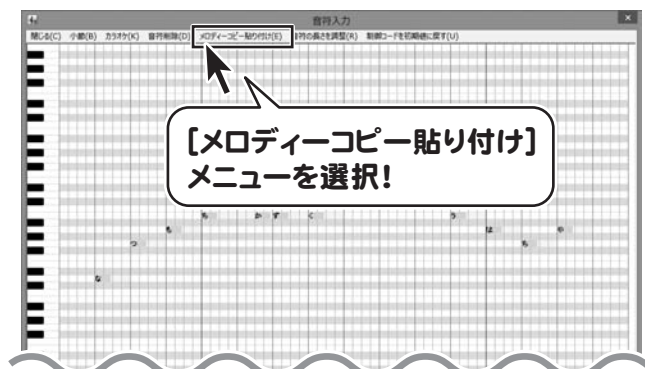
音符入力画面が表示されましたら、  
[メロディーコピー貼り付け]メニューを  
クリックして、  
メロディーのコピー貼り付け画面を表示します。

曲が入力されている小節は「白色」、使用されて  
いない小節は「灰色」で表示されます。

1 (1、2小節)、3 (3、4小節) の小節が  
「白色」で表示されています。

ここでは、1 (1、2小節) をコピーして、  
3 (3、4小節) に貼り付けします。  
1 (1、2小節) をクリックして選択します。  
選択されると口の色が「ピンク色」に変わります。

※灰色で表示されている小節を白色に変更する  
には、事前にコードを入力して曲を長さ  
を設定しておく必要があります。



1 → 1 ←ピンク色

クリック!

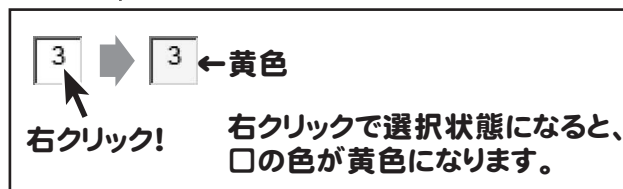
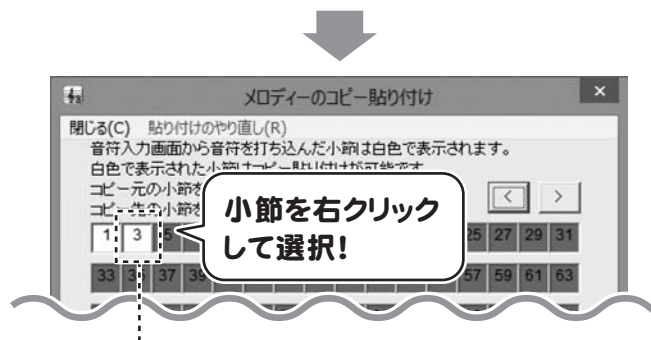
クリックして、選択状態になると、  
口の色がピンク色になります。



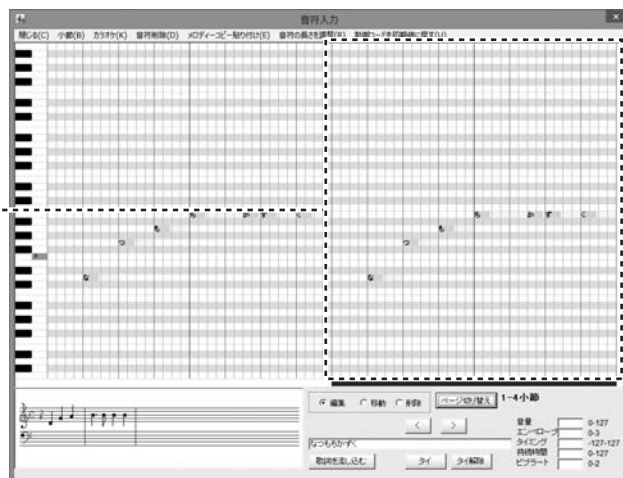
## その他の機能・操作説明

次にコピーした小節を貼り付ける小節  
3(3,4小節)を右クリックしますと、  
□の色が「黄色」に変わり、  
コピーした1(1,2小節)のメロディーが  
3(3,4小節)に貼り付けられます。

コピー、貼り付けが終了しましたら、  
[閉じる]をクリックして、  
メロディーのコピー貼り付け画面を閉じます。



1(1,2小節)が3(3,4小節)に  
コピー、貼り付けされました





## その他の機能・操作説明

### 自動コードを設定する

メロディーに合ったコード(和音)を自動でつけることができます。

作成したメロディーに自動でコードを設定します。  
ここでは10～29ページで作成した  
「茶摘み」4小節を例に説明します。

[曲全体の設定]メニュー → [自動コード]  
をクリックします。  
自動コード画面が表示されます。

曲が入力されている小節は「白色」、使用されて  
いない小節は「灰色」で表示されます。  
1～4の小節が「白色」で表示されています。

○をクリックして曲の調を選択して、  
[確定して閉じる]をクリックします。

自動でコードが設定され、自動コード画面が  
閉じて、メイン画面に戻ります。

memo

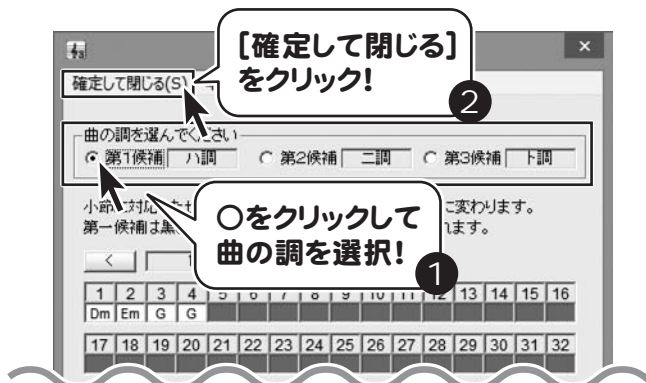
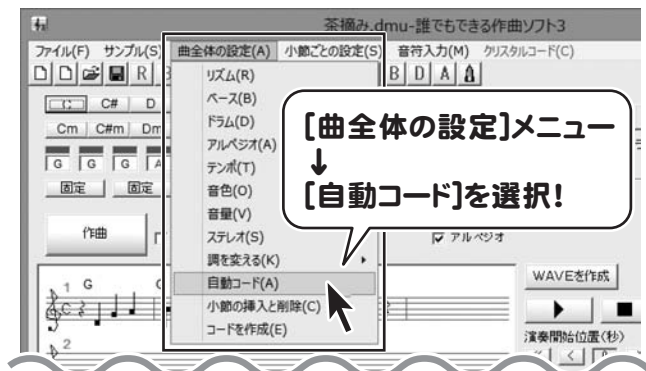
#### 選択した調の第2第3候補 のコードを設定する

選択した調のコードで、違和感があった場合、  
コードのセルを1回クリックすると、  
第2候補(青文字)、もう1回クリックすると  
第3候補(赤文字)に変わります。  
試聴しながら、合うコードを探してみてください。

例: 

1	1	1
Dm	G	Am

  
↑ クリック ↑ クリック ↑  
黒 (第1候補) 青 (第2候補) 赤 (第3候補)



自動コードで設定したコードになりました

## その他の機能・操作説明

### 各小節ごとに音色を設定する

1小節ごと、または2小節ごとに音色を設定します。曲全体の音色を設定する方法は35ページをご覧ください。

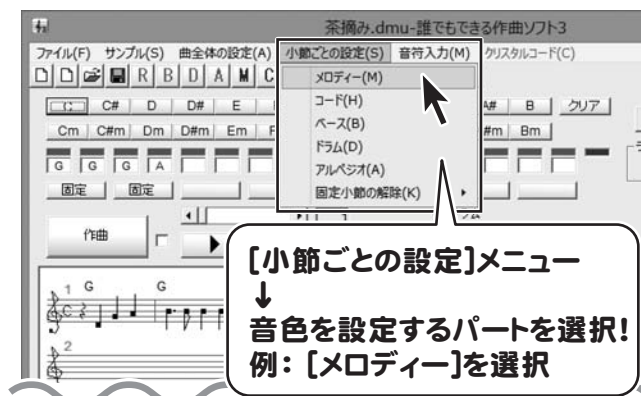
#### [小節ごとの設定]メニューから設定する

ここでは10～29ページで作成した「茶摘み」4小節を例に説明します。

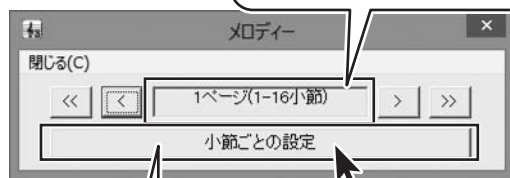
まずは、[小節ごとの設定]メニューから音色を設定するパートを選択します。  
[メロディ] [コード] [ベース] [アルペジオ]の中から、例として[メロディー]を選択します。

メロディー画面が表示されましたら、音色を設定する小節のページを指定します。  
< > で1ページずつ、<< >> で10ページずつページが送られます。

ここでは、1小節目の音色を設定しますので、[1ページ]にして、[小節ごとの設定]ボタンをクリックします。



音色を設定する小節を含むページを指定!



[小節ごとの設定]ボタンをクリック!

「メロディー1ページ」画面が表示されましたら、音色を設定する小節をクリックします。  
ここでは、1小節目の音色を設定しますので、[1]をクリックして、選択します。

※複数の小節を選択して設定することができます。  
48ページのMEMOをご覧ください。



## その他の機能・操作説明

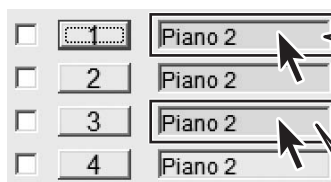
memo



### 複数の小節を選択して音色を変更する場合

音色を変更する最初の小節の音色名をクリックし、次に最後の小節の音色名をクリックします。  
クリックした範囲の音色名の枠内が水色で表示されます。

水色で表示されている範囲内の[小節]ボタンをクリックします。



1  
音色を変更する  
はじめの音色を選択!  
(水色になります)

2  
音色を変更する  
終わりの音色を選択!

3  
音色を変更する範囲内の  
[小節]ボタンをクリック!



クリックした範囲の  
音色の枠内が  
水色になります。

小節番号のボタンをクリックすると、  
メロディーの音色画面が表示されます。

初期設定では、[Piano 2]が選択されています。  
ここでは、[Harmonica]を選択します。

変更する音色の○をクリックして選択、  
[確定して閉じる]をクリックして画面を閉じて、  
メロディー1ページ画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、  
作曲 ボタンをクリックして、



ボタンをクリックします。

2  
[確定して閉じる]をクリック!



1  
音色をクリック  
して選択!

選択した小節の音色を変更できました



# その他の機能・操作説明

## [曲全体の設定]メニューから設定する

[曲全体の設定]メニューから、小節範囲を指定して音色を設定することができます。

[小節ごとの設定]メニューから[音色]を選択します。  
[メロディ] [コード] [ベース] [アルペジオ]から  
音色を設定するパートを選択します。  
例として、[メロディー]を選択します。

「メロディーの音色」画面が表示されましたら、  
[小節]メニューをクリックします。

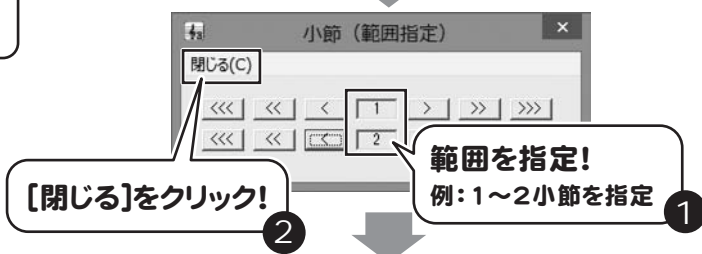
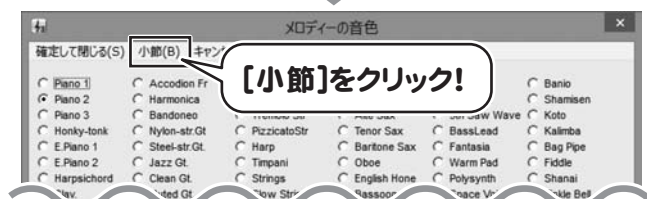
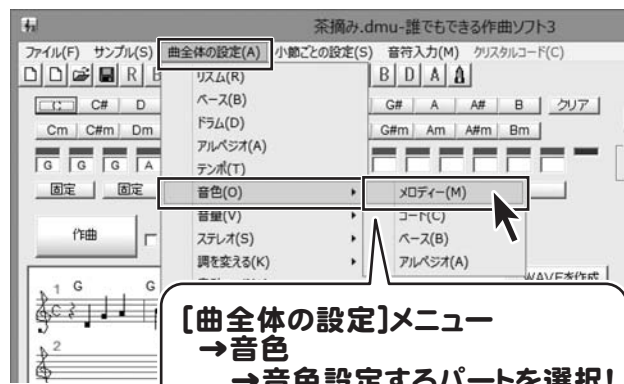
「小節(範囲指定)」画面が表示されますので、  
音色を設定する小節範囲を指定します。

< > で1小節ずつ、<< >> で10小節ずつ  
<<< >>> で100小節ずつ小節の数値が変わり  
ます。

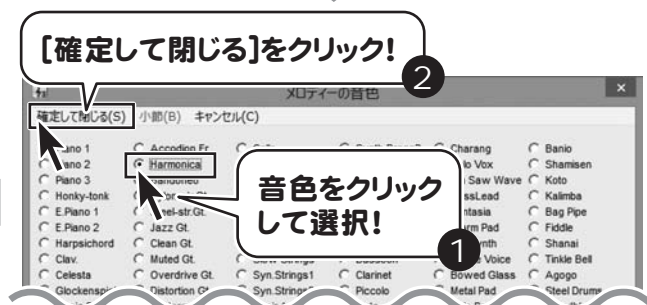
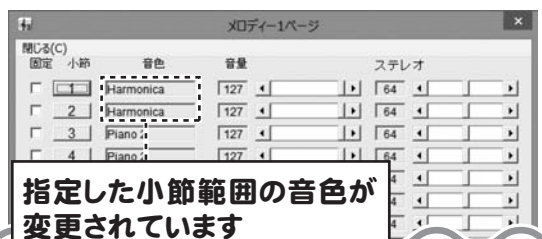
ここでは、1～2小節目の音色を設定しますので、  
上段に[1]、下段に[2]と指定して、[閉じる]を  
クリックします。

「メロディーの音色」画面で、変更する音色の○を  
クリックして選択、[確定して閉じる]をクリックして  
画面を閉じます。

[小節ごとの設定]→[メロディー]から、小節ページ  
を表示すると、指定した範囲の音色が変更されて  
いるのが確認できます。



[小節ごとの設定]→[メロディー]から小節ページを  
表示すると...



## その他の機能・操作説明

### 各小節ごとに音量を設定する

1小節ごと、または2小節ごとに音色を設定します。曲全体の音色を設定する方法は39ページをご覧ください。

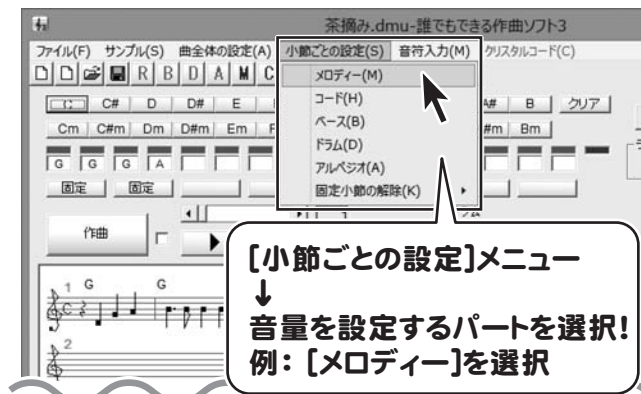
#### [小節ごとの設定]メニューから設定する

ここでは10～29ページで作成した「茶摘み」4小節を例に説明します。

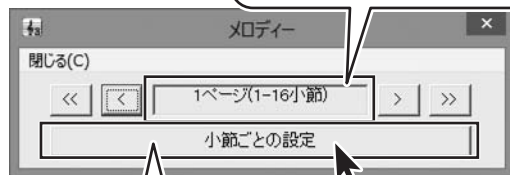
まずは、[小節ごとの設定]メニューから音量を設定するパートを選択します。  
[メロディ] [コード] [ベース] [ドラム] [アルペジオ]  
の中から、例として[メロディー]を選択します。

メロディー画面が表示されましたら、音量を設定する小節のページを指定します。  
◀ ▶ で1ページずつ、◀◀ ▶▶ で10ページずつページが送られます。

ここでは、1小節目の音量を設定しますので、[1ページ]にして、[小節ごとの設定]ボタンをクリックします。



音量を設定する小節を含むページを指定!



[小節ごとの設定]ボタンをクリック!

[閉じる]をクリック!

「メロディー1ページ」画面が表示されましたら、音量を設定する小節の調節バーのつまみを移動して、音量を設定します。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、  
作曲 ボタンをクリックして、



ボタンをクリックします。





# その他の機能・操作説明

## [曲全体の設定]メニューから設定する

[曲全体の設定]メニューから、小節範囲を指定して音量を設定することができます。

[小節ごとの設定]メニューから[音量]を選択します。  
[メロディ] [コード] [ベース] [ドラム] [アルペジオ]  
の中から、音量を設定するパートを選択します。  
例として、[メロディー]を選択します。

「メロディーの音量」画面が表示されましたら、  
[小節]メニューをクリックします。

「小節(範囲指定)」画面が表示されますので、  
音量を設定する小節範囲を指定します。

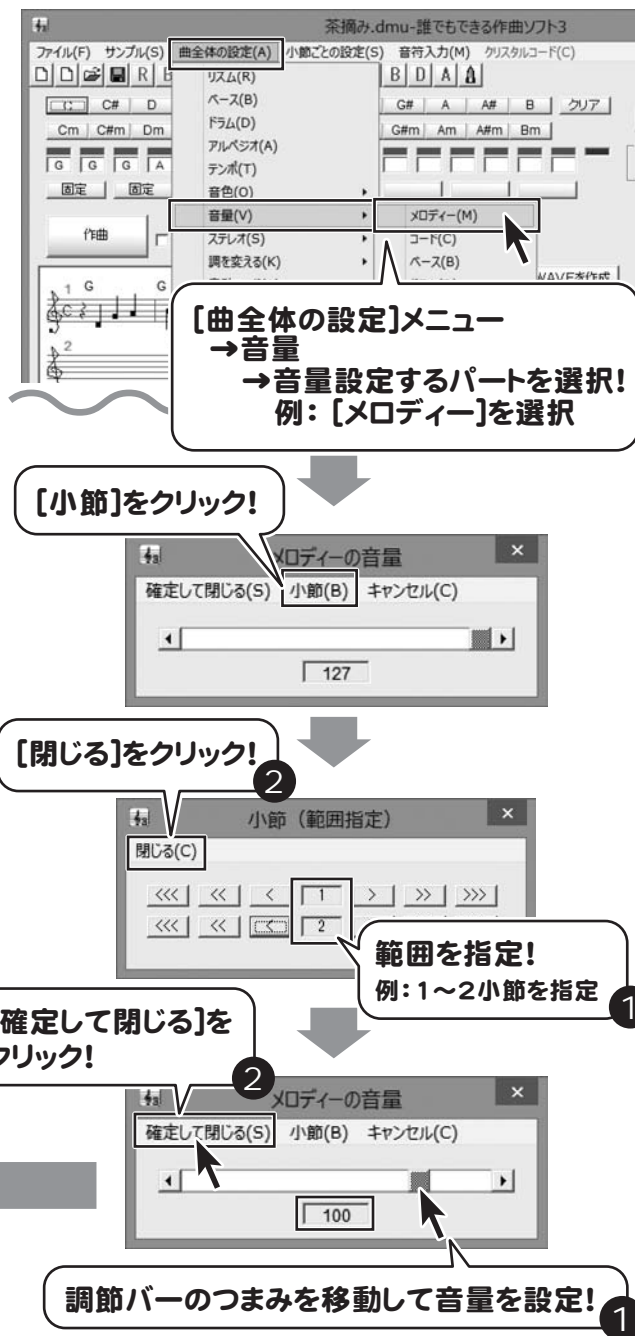
< > で1小節ずつ、<< >> で10小節ずつ  
<<< >>> で100小節ずつ小節の数値が変わり  
ます。

ここでは、1～2小節目の音色を設定しますので、  
上段に[1]、下段に[2]と指定して、[閉じる]を  
クリックします。

「メロディーの音量」画面で、調節バーのつまみ  
を移動して音量を設定し、[確定して閉じる]を  
クリックして画面を閉じます。

[小節ごとの設定]→[メロディー]から小節ページを  
表示すると、指定した範囲の音量が変更されて  
いるのが確認できます。

[小節ごとの設定]→[メロディー]から小節ページを  
表示すると…



## その他の機能・操作説明

### 各小節ごとにリズムパターンを設定する

2小節ごとにリズムパターンを設定します。曲全体のリズムパターンを設定する方法は36ページをご覧ください。

#### [小節ごとの設定]メニューから設定する

ここでは10～29ページで作成した「茶摘み」4小節を例に説明します。

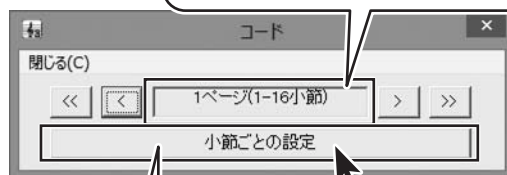
まずは、[小節ごとの設定]メニューからコードを選択して、コード画面を表示します。

コード画面が表示されました、音色を設定する小節のページを指定します。  
< > で1ページずつ、<< >> で10ページずつページが送られます。

ここでは、1～2小節のリズムパターンを設定しますので、[1ページ]にして、[小節ごとの設定]ボタンをクリックします。

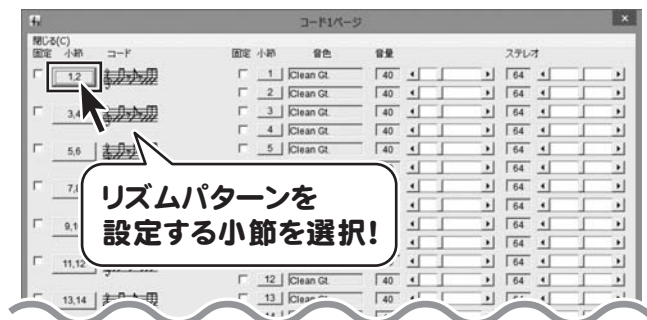


リズムパターンを設定する小節を含むページを指定!



[小節ごとの設定]ボタンをクリック!

「コード1ページ」画面が表示されました、リズムパターンを設定する小節をクリックします。ここでは、1～2小節目のリズムパターンを設定しますので、[1,2]をクリックして選択します。





## その他の機能・操作説明

リズムパターン画面が表示されます。

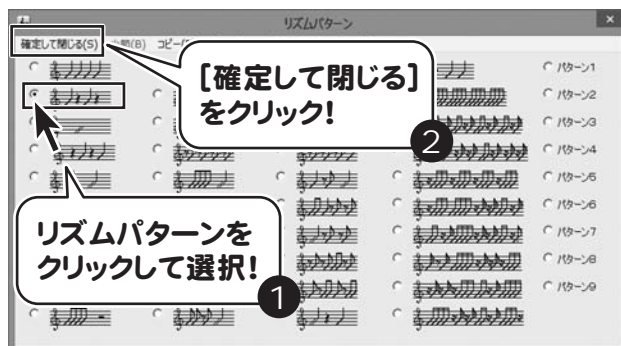
ここでは、[左から1列目の上から2番目のリズムパターン]を選択します。

変更するリズムパターンの○をクリックして選択、[確定して閉じる]をクリックして画面を閉じて、コード1ページ画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、**作曲** ボタンをクリックして、



ボタンをクリックします。



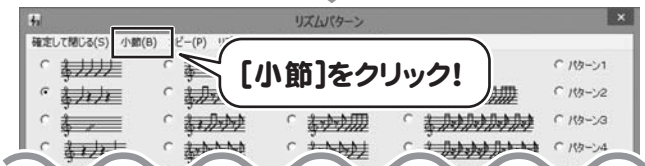
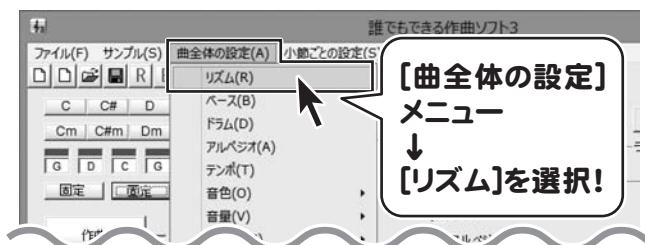
リズムパターンが設定されました

### [曲全体の設定]メニューから設定する

[曲全体の設定]メニューから、小節範囲を指定してリズムパターンを設定することができます。

操作の流れは、49ページと同様です。

リズムパターン画面の[小節]をクリックすると「小節(範囲指定)」画面が表示されますので範囲を指定後、リズムパターン画面に戻ります。変更するリズムパターンを選択して[確定して閉じる]をクリックすると、範囲指定した小節のリズムパターンが変更されます。



小節(範囲指定)画面を表示  
(49ページと同様の流れになります)

## その他の機能・操作説明

### 各小節ごとにベースパターンを設定する

2小節ごとにベースパターンを設定します。曲全体のベースパターンを設定する方法は37ページをご覧ください。

#### [小節ごとの設定]メニューから設定する

ここでは10～29ページで作成した「茶摘み」4小節を例に説明します。

まずは、[小節ごとの設定]メニューからコードを選択して、コード画面を表示します。

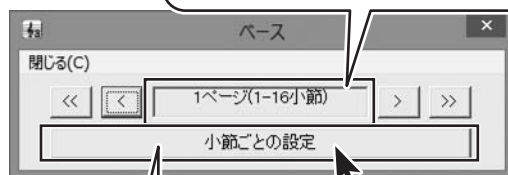
コード画面が表示されました、ベースパターンを設定する小節のページを指定します。

< > で1ページずつ、<< >> で10ページずつページが送られます。

ここでは、1～2小節目のベースパターンを設定しますので、[1ページ]にして、[小節ごとの設定]ボタンをクリックします。

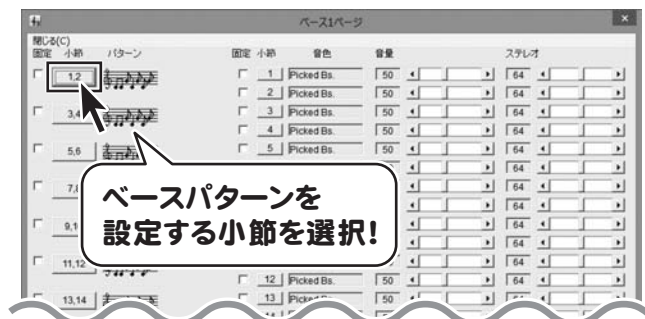


ベースパターンを設定する小節を含むページを指定!



[小節ごとの設定]ボタンをクリック!

「ベース1ページ」画面が表示されました、ベースパターンを設定する小節をクリックします。ここでは、1～2小節目のベースパターンを設定しますので、[1,2]をクリックして選択します。



## その他の機能・操作説明

ベースパターン画面が表示されます。

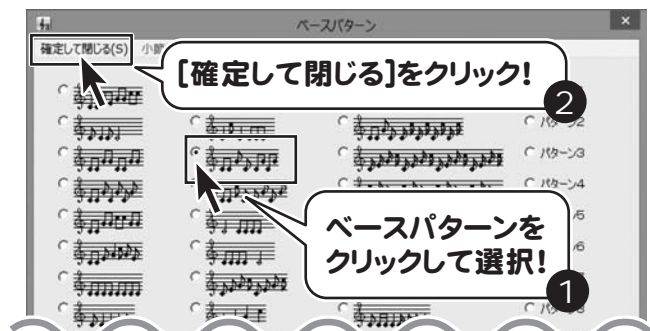
ここでは、[左から2列目の上から3番目のベースパターン]を選択します。

変更するベースパターンの○をクリックして選択、[確定して閉じる]をクリックして画面を閉じて、ベース1ページ画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、**作曲** ボタンをクリックして、



ボタンをクリックします。



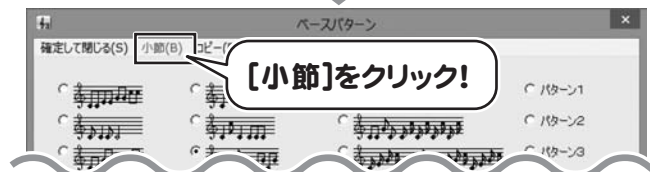
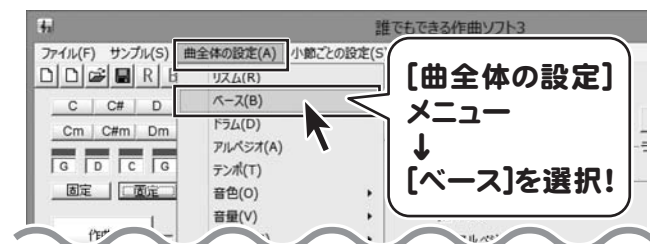
ベースパターンが設定されました

### [曲全体の設定]メニューから設定する

[曲全体の設定]メニューから、小節範囲を指定してベースパターンを設定することができます。

操作の流れは、49ページと同様です。

ベースパターン画面の[小節]をクリックすると「小節(範囲指定)」画面が表示されますので範囲を指定後、ベースパターン画面に戻ります。変更するベースパターンを選択して[確定して閉じる]をクリックすると、範囲指定した小節のベースパターンが変更されます。



小節(範囲指定)画面を表示  
(49ページと同様の流れになります)

## その他の機能・操作説明

### 各小節ごとにドラムパターンを設定する

1小節ごとにドラムパターンを設定します。曲全体のドラムパターンを設定する方法は38ページをご覧ください。

#### [小節ごとの設定]メニューから設定する

ここでは10～29ページで作成した「茶摘み」4小節を例に説明します。

まずは、[小節ごとの設定]メニューから[ドラム]を選択して、ドラム画面を表示します。

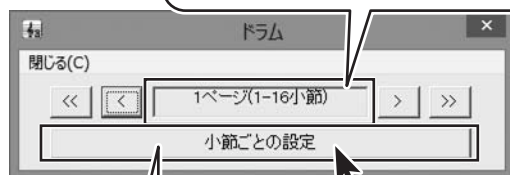
ドラム画面が表示されました、ドラムパターンを設定する小節のページを指定します。

< > で1ページずつ、<< >> で10ページずつページが送られます。

ここでは、1小節目のドラムパターンを設定しますので、[1ページ]にして、[小節ごとの設定]ボタンをクリックします。

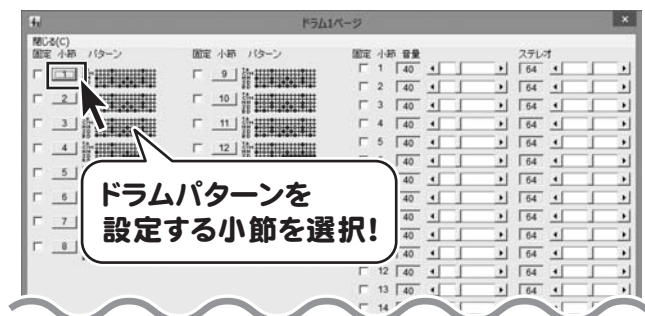


ドラムパターンを設定する小節を含むページを指定!



[小節ごとの設定]ボタンをクリック!

「ドラム1ページ」画面が表示されました、ドラムパターンを設定する小節をクリックします。ここでは、1小節目のドラムパターンを設定しますので、[1]をクリックして選択します。



## その他の機能・操作説明

ドラムパターン画面が表示されます。

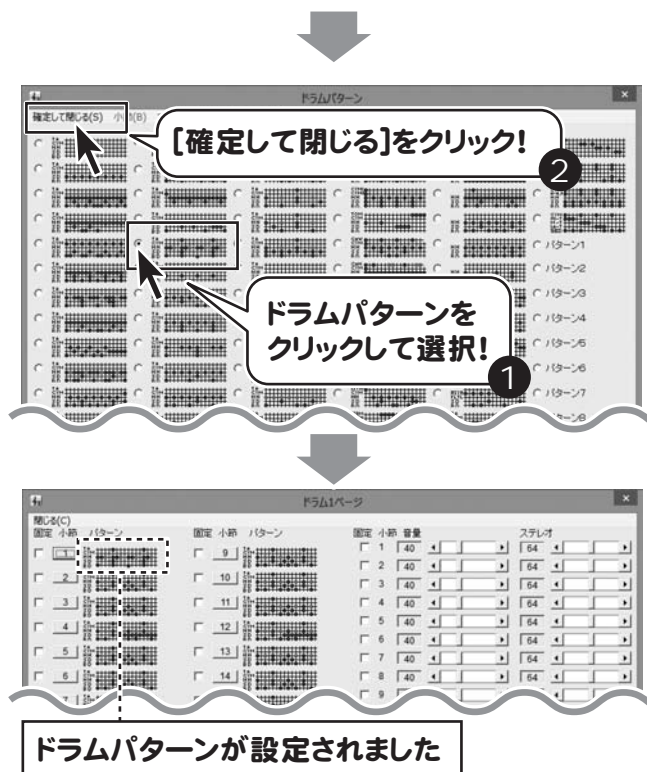
ここでは、[左から2列目の上から5番目のドラムパターン]を選択します。

変更するドラムパターンの○をクリックして選択、[確定して閉じる]をクリックして画面を閉じて、ドラム1ページ画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、**作曲** ボタンをクリックして、



ボタンをクリックします。

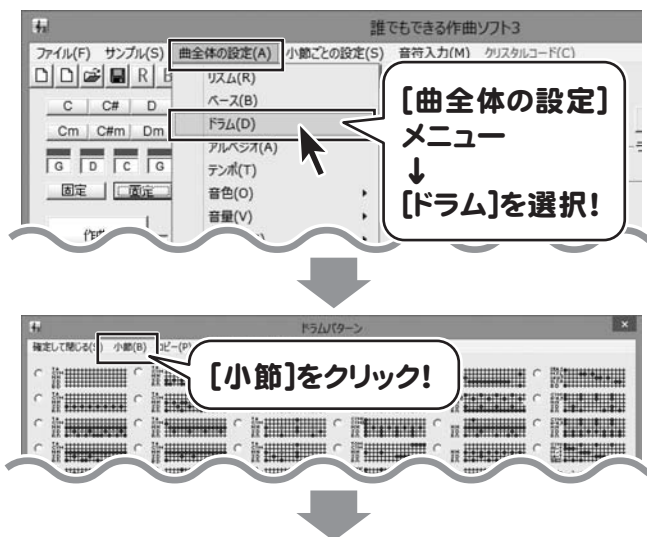


### [曲全体の設定]メニューから設定する

[曲全体の設定]メニューから、小節範囲を指定してドラムパターンを設定することができます。

操作の流れは、49ページと同様です。

ドラムパターン画面の[小節]をクリックすると「小節(範囲指定)」画面が表示されますので範囲を指定後、ドラムパターン画面に戻ります。変更するドラムパターンを選択して[確定して閉じる]をクリックすると、範囲指定した小節のドラムパターンが変更されます。



小節(範囲指定)画面を表示  
(49ページと同様の流れになります)

## その他の機能・操作説明

### 曲全体のアルペジオパターンを設定する

曲全体にアルペジオパターンを設定します。

2小節ごとのアルペジオパターンを設定する方法は59～60ページをご覧ください。

ここでは10～29ページで作成した「茶摘み」4小節を例に説明します。

[曲全体の設定]メニュー → [アルペジオ]をクリックします。

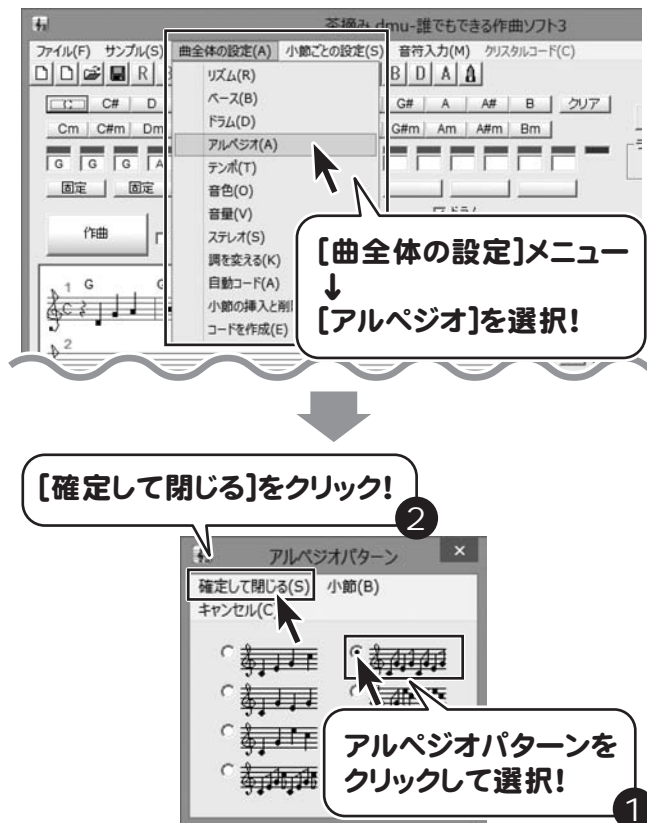
アルペジオパターン画面が表示されます。

ここでは、[左から2列目の上から1番目のアルペジオパターン]を選択します。

変更するアルペジオパターンの○をクリックして選択、[確定して閉じる]をクリックして画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、**作曲** ボタンをクリックして、

 ボタンをクリックします。





## その他の機能・操作説明

### 各小節ごとにアルペジオパターンを設定する

2小節ごとにアルペジオパターンを設定します。曲全体のアルペジオパターンを設定する方法は58ページをご覧ください。

#### [小節ごとの設定]メニューから設定する

ここでは10～29ページで作成した「茶摘み」4小節を例に説明します。

まずは、[小節ごとの設定]メニューから[アルペジオ]を選択して、アルペジオ画面を表示します。

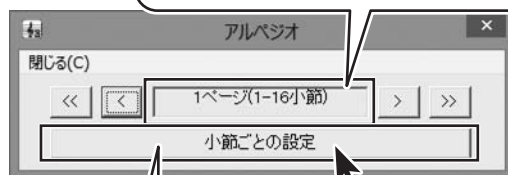
アルペジオ画面が表示されましたら、アルペジオパターンを設定する小節のページを指定します。

< > で1ページずつ、<< >> で10ページずつページが送られます。

例では、1小節目のアルペジオパターンを設定しますので、[1ページ]にします。  
ページ指定ができましたら、[小節ごとの設定]ボタンをクリックします。



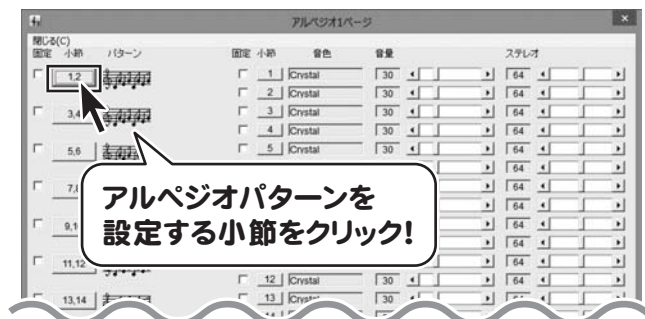
アルペジオパターンを設定する小節を含むページを指定!



[小節ごとの設定]ボタンをクリック!

「アルペジオ1ページ」画面が表示されましたら、アルペジオパターンを設定する小節をクリックします。

ここでは、1、2小節目のアルペジオパターンを設定しますので、[1,2]をクリックして選択します。





## その他の機能・操作説明

アルペジオパターン画面が表示されます。

ここでは、[左から1列目の上から2番目のアルペジオパターン]を選択します。

変更するアルペジオパターンの○をクリックして選択、[確定して閉じる]をクリックして画面を閉じて、アルペジオ1ページ画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、**作曲** ボタンをクリックして、



ボタンをクリックします。

[確定して閉じる]をクリック!



アルペジオパターンをクリックして選択!



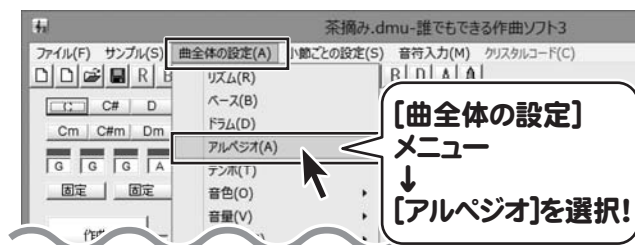
アルペジオパターンが設定されました

### [曲全体の設定]メニューから小節範囲を指定する

[曲全体の設定]メニューから、小節範囲を指定してアルペジオパターンを設定することができます。

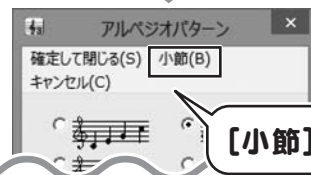
操作の流れは、49ページと同様です。

アルペジオパターン画面の[小節]をクリックすると「小節(範囲指定)」画面が表示されますので範囲を指定後、アルペジオパターン画面に戻ります。変更するアルペジオパターンを選択して[確定して閉じる]をクリックすると、範囲指定した小節のアルペジオパターンが変更されます。



[曲全体の設定]  
メニュー

↓  
[アルペジオ]を選択!



[小節]をクリック!

小節(範囲指定)画面を表示  
(49ページと同様の流れになります)

## その他の機能・操作説明

### 曲全体のステレオ設定をする

曲全体の音の出る方向を設定します。

1小節ごと、または2小節ごとにステレオの調整を行う方法は62ページをご覧ください。

ここでは10～29ページで作成した「茶摘み」4小節を例に説明します。

[曲全体の設定]メニュー → [ステレオ]をクリックします。

[メロディ] [コード] [ベース] [アルペジオ]から設定するパートを選択します。

例として、[メロディー]を選択します。

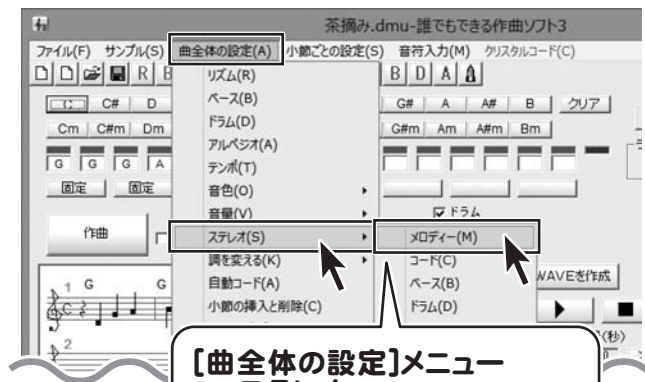
メロディーのステレオ画面が表示されましたら、調節バーのつまみを移動して設定します。

[確定して閉じる]をクリックして、メロディーのステレオ画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、**作曲** ボタンをクリックして、

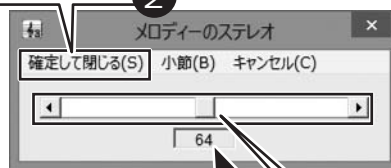


ボタンをクリックします。



**[曲全体の設定]メニュー  
→ステレオ  
→設定するパートを選択!  
例: [メロディー]を選択**

**[確定して閉じる]  
をクリック!**



**つまみを移動して  
設定!**

## その他の機能・操作説明

### 各小節ごとにステレオ設定をする

1小節ごと、または2小節ごとに音の出る方向を設定します。  
曲全体のステレオの調整を行う方法は61ページをご覧ください。

#### [小節ごとの設定]メニューから設定する

ここでは10～29ページで作成した  
「茶摘み」4小節を例に説明します。

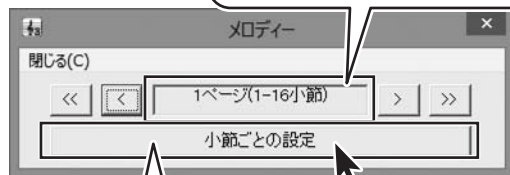
まずは、[小節ごとの設定]メニューからステレオの  
調節を行うパートを選択します。  
[メロディ] [コード] [ベース] [ドラム] [アルペジオ]  
の中から、例として[メロディー]を選択します。

メロディー画面が表示されましたら、  
ステレオの調節を行う小節のページを指定します。  
< > で1ページずつ、<< >> で10ページずつ  
ページが送られます。

ここでは、1小節目のステレオを調節しますので、  
[1ページ]にして、[小節ごとの設定]ボタンを  
クリックします。



ステレオを調節する小節  
を含むページを選択!



[小節ごとの設定]ボタン  
をクリック!

[閉じる]をクリック!

「メロディー1ページ」画面が表示されましたら、  
ステレオを調節する小節の調節バーを調整して、  
ステレオの調節を行います。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、  
作曲 ボタンをクリックして、



ボタンをクリックします。



# その他の機能・操作説明

## 【曲全体の設定】メニューから設定する

【曲全体の設定】メニューから、小節範囲を指定してステレオの調節を行うことができます。

【曲全体の設定】メニューから【ステレオ】を選択します。

【メロディ】【コード】【ベース】【ドラム】【アルペジオ】の中から、ステレオの調節をするパートを選択します。例として、【メロディー】を選択します。

「メロディーのステレオ」画面が表示されましたら、【小節】メニューをクリックします。

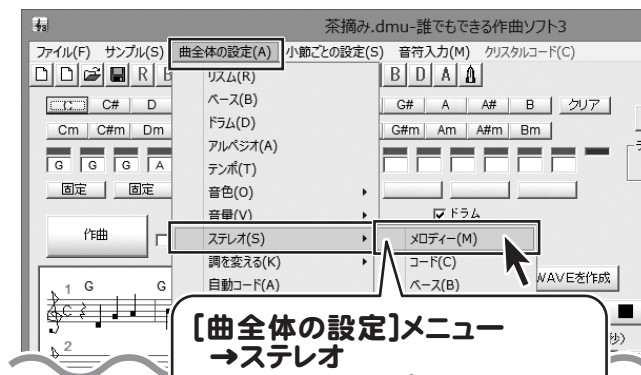
「小節（範囲指定）」画面が表示されますので、音量を設定する小節範囲を指定します。

< > で1小節ずつ、<< >> で10小節ずつ <<< >>> で100小節ずつ小節の数値が変わります。

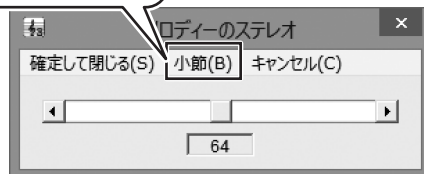
例として、1～2小節目のステレオの調節をします。上段に[1]、下段に[2]と指定して、[閉じる]をクリックします。

「メロディーのステレオ」画面で、調節バーのつまみを移動して数値を設定し、[確定して閉じる]をクリックして画面を閉じます。

【小節ごとの設定】→【メロディー】から小節ページを表示すると…



【小節】をクリック!

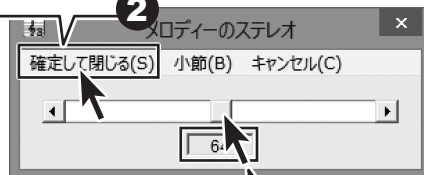


【閉じる】をクリック!



範囲を指定!  
例: 1～2小節を指定

【確定して閉じる】をクリック!



つまみを移動してステレオを調節!



## その他の機能・操作説明

### ドラムパターンを編集する

47種類の打楽器を組み合わせてドラムパターンを作ることができます。

[曲全体の設定]メニュー→[ドラム]をクリックします。

ドラムパターン画面が表示されます。

ドラムパターン画面が表示されましたら、  
[ドラムパターンを編集]をクリックします。  
ドラムパターンを編集画面が表示されます。

ドラムパターンは、パターン1～パターン3まで、  
初期設定でサンプルのドラムパターンが設定  
されています。

ここでは、

- ①パターン1をコピーして、パターン4に貼り付け、
- ②パターン4で、貼り付けられたパターンを  
アレンジしてオリジナルのドラムパターンを  
作成、保存します。

まずは、パターン1をコピーします。

- 1 ボタンをクリックして選択すると、  
パターン表示エリアに、パターン1に設定されて  
いるサンプルのドラムパターンが表示されます。

パターン1のドラムパターンを選択したら、

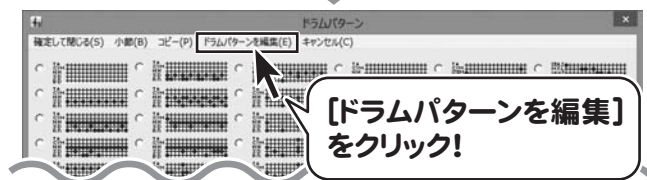
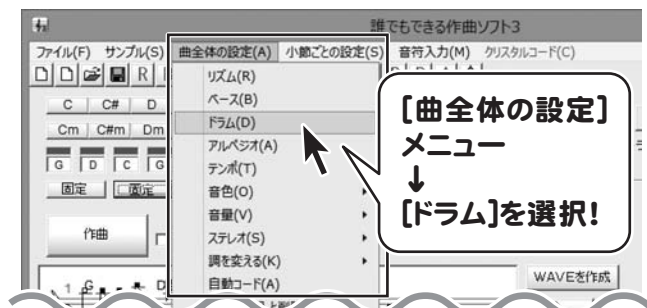
- C ボタンをクリックして、選択したパターン1の  
ドラムパターンをコピーします。

- 1 ボタンの左の枠内が赤い表示に変わり、  
パターン1のドラムパターンがコピーされます。

次に、

コピーしたドラムパターンをパターン4に  
貼り付けます。

- 4 ボタンをクリックすると、左の枠内の表示  
が青くなり、パターン表示エリアに、パターン1の  
ドラムパターンが貼り付けられました。

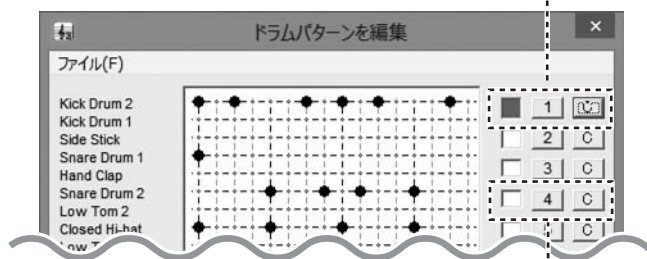


- ① 1 ボタンをクリックして、パターン1を選択!

- ② C ボタンをクリックして、パターン1をコピー!



コピーされると、赤い表示になります。




- ③ 4 ボタンをクリックして、コピーした 1 の  
ドラムパターンを貼り付け!

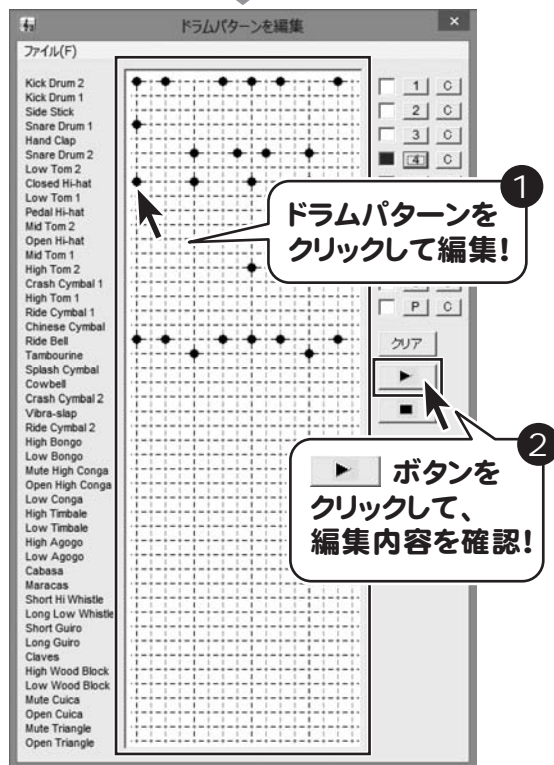


貼り付けられると、青い表示になります。

## その他の機能・操作説明

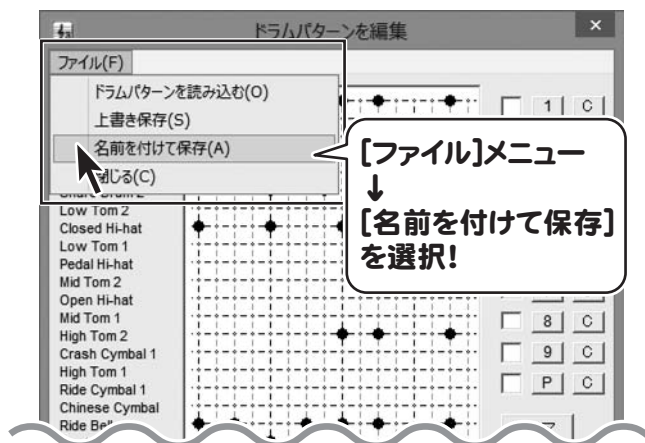
ドラムパターン編集エリアは、縦軸が「楽器」で、横軸が「時間」を表しています。交点をクリックすると、黒点が表示されます。もう一度クリックすると、黒点が消えます。黒点で音を設定します。

編集したドラムパターンを試聴したい時は、 ボタンをクリックして、編集内容を確認します。



ドラムパターンを作成しましたら、ドラムパターンを保存します。

[ファイル]メニュー → [名前を付けて保存]を選択します。



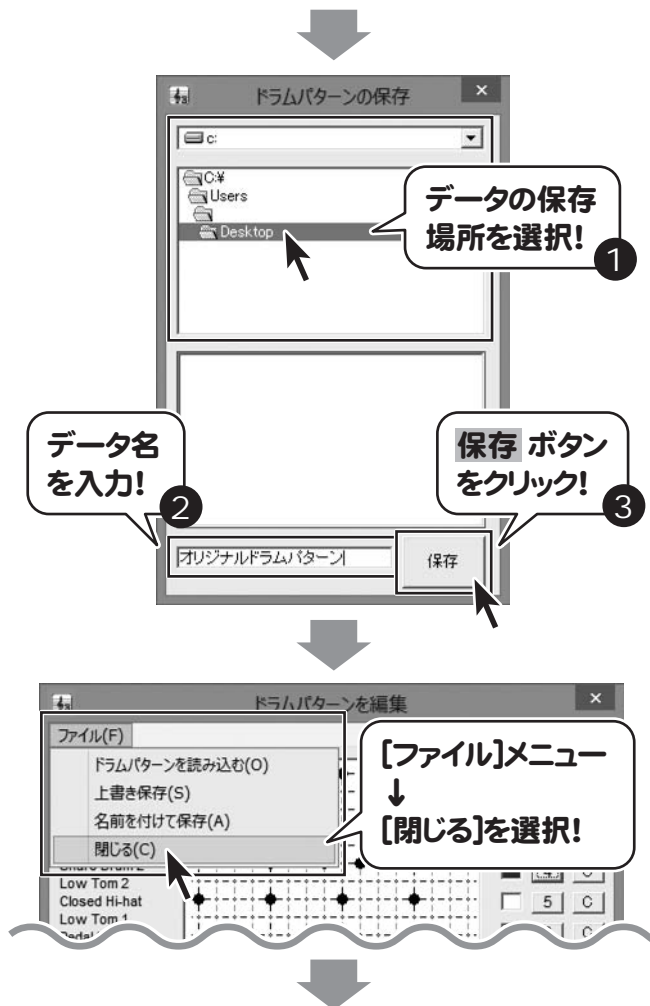


## その他の機能・操作説明

ドラムパターンの保存画面が表示されますので、データを保存する場所を選択して、データ名を入力します。  
保存の各設定が終わりましたら、**保存** ボタンをクリックしてください。

データの保存形式は「.de4」になります。

ドラムパターンの保存が終わりましたら、**[ファイル]メニュー→[閉じる]**を選択して、ドラムパターンの編集画面を閉じます。

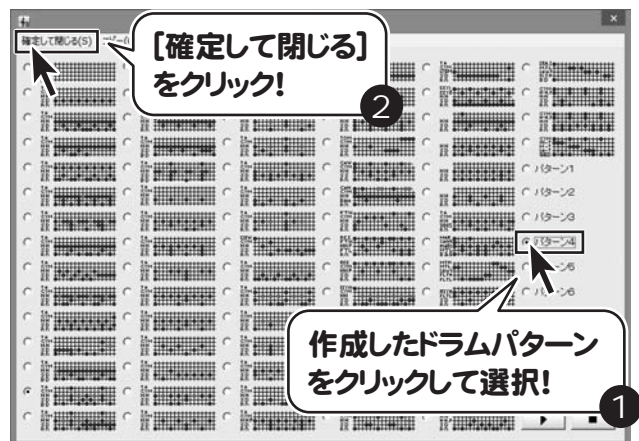


作成したドラムパターンを曲全体に設定する場合は、作成したドラムパターンの○をクリックして選択、**[確定して閉じる]**をクリックして、画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、**作曲** ボタンをクリックして、



ボタンをクリックします。



## その他の機能・操作説明

### パワードラムを設定する

パワードラムとは、複雑なドラムパターンを自動的に作成する機能です。非常に強力なリズムを作ることができます。

[曲全体の設定]メニュー → [ドラム]をクリックします。

ドラムパターン画面が表示されます。

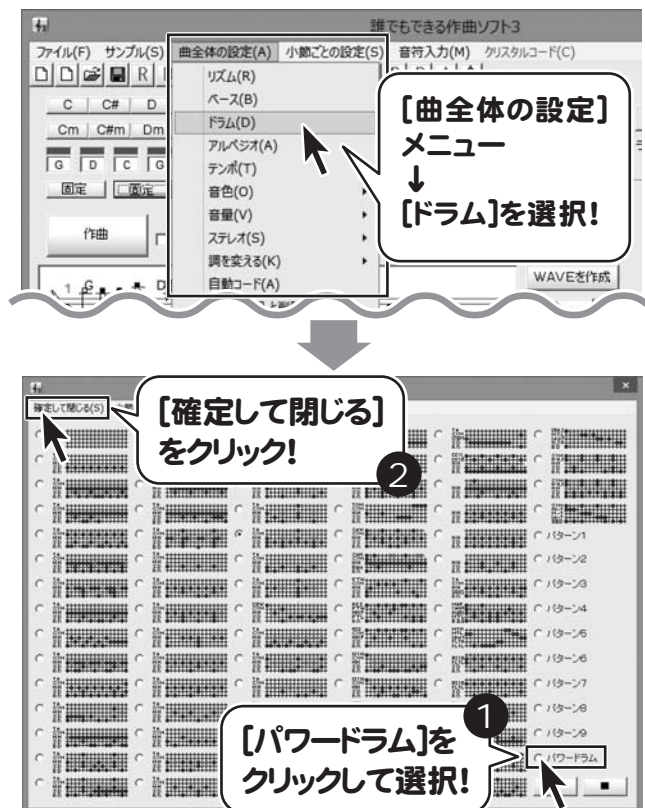
[パワードラム]の○をクリックして選択、  
[確定して閉じる]をクリックして、  
画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、  
**作曲** ボタンをクリックして、



ボタンをクリックします。

※パワードラムに設定していると、**作曲** ボタンをクリックするごとに、パワードラムのパターンが変わります。  
気に入るパターンが出てくるまで **作曲** ボタンをクリックしてパワードラムのパターンを試聴してください。



## その他の機能・操作説明

### パワードラムをデータとして保存する

67ページの操作手順でパワードラムを設定して、自動作成されたパワードラムをデータとして保存することができます。新しい曲を作る場合などに、ここで保存したパワードラムのパターンデータを使用できます。

[曲全体の設定]メニュー → [ドラム]をクリックします。

ドラムパターン画面が表示されます。

ドラムパターン画面が表示されましたら、  
[ドラムパターンを編集]をクリックします。  
ドラムパターンを編集画面が表示されます。

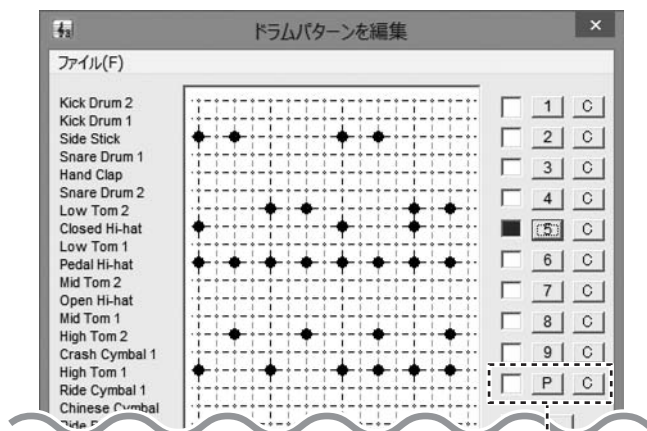
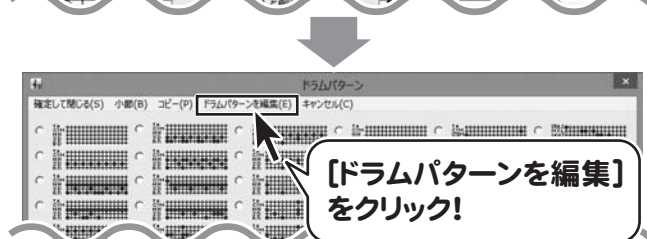
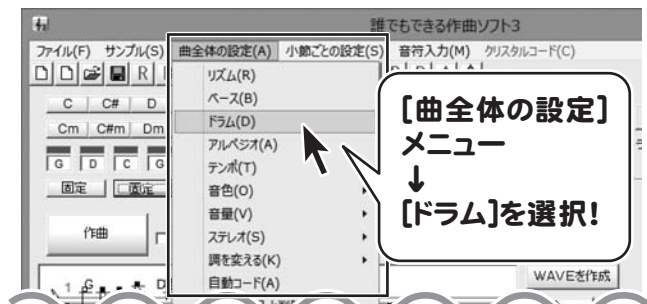
まずは、データとして保存するパワードラムパターンをコピーします。

**P** ボタンをクリックして選択すると、  
パターン表示エリアにパワードラムパターン  
に設定されているパワードラムパターンが表示  
されます。

パワードラムパターンを選択しましたら、

**C** ボタンをクリックして選択した  
パワードラムパターンをコピーします。

**P** ボタンの左の枠内が赤い表示に変わり、  
パワードラムパターンがコピーされます。



① **P** ボタンをクリックして、パワードラムを選択!

② **C** ボタンをクリックして、パワードラムをコピー!



コピーされると、赤い表示になります。

## その他の機能・操作説明

次に、  
コピーしたパワードラムパターンをパターン5に  
貼り付けます。

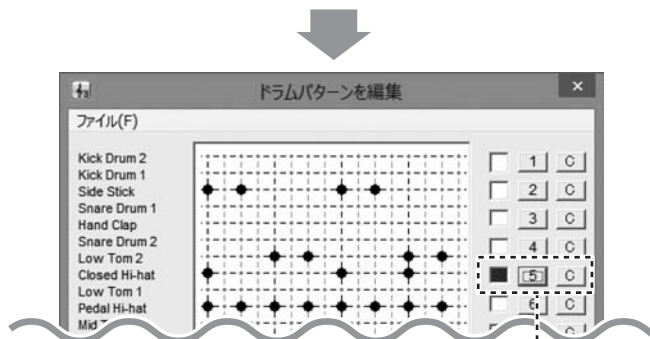
**5** ボタンをクリックすると、左の枠内の表示が  
青くなり、エディット表示エリアに  
パワードラムパターンがコピーされました。

コピーしたパワードラムパターンを保存します。

[ファイル]メニュー →  
[名前を付けて保存]を選択します。

ドラムパターンの保存画面が表示されますので、  
データを保存する場所を選択して、  
データ名を入力します。  
保存の各設定が終わりましたら、  
**保存** ボタンをクリックしてください。

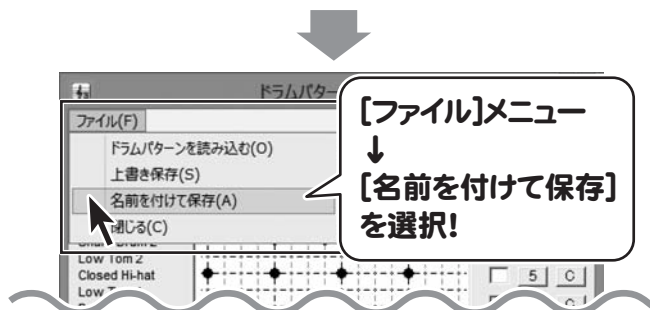
データの保存形式は「.de4」になります。



③ **5** ボタンをクリックして、コピーした  
ドラムパターンを貼り付け!



貼り付けされると、青い表示になります。



## その他の機能・操作説明

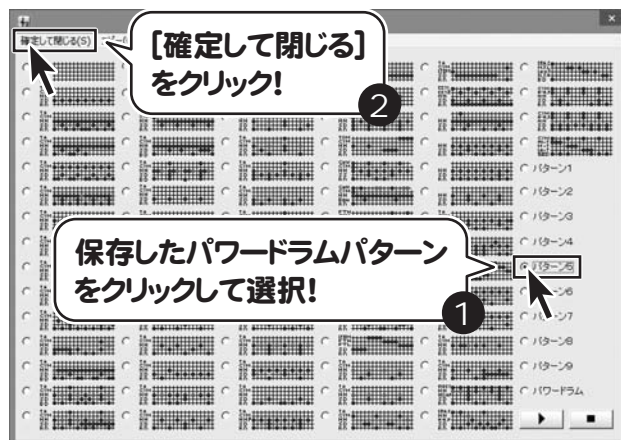
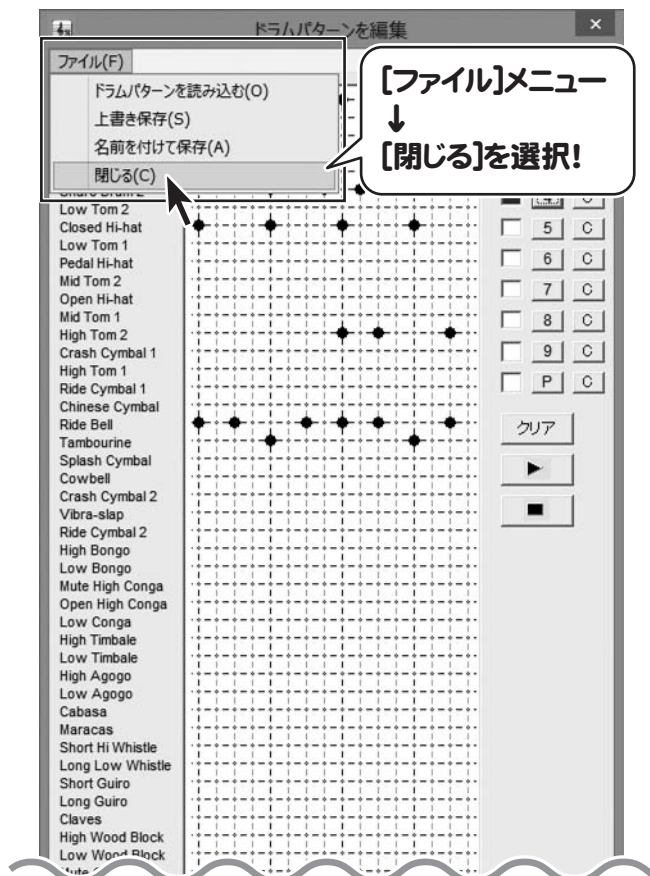
ドラムパターンの保存が終わりましたら、  
[ファイル]メニュー→[閉じる]を選択して、  
ドラムパターンを編集画面を閉じます。

保存したパワードラムパターンを曲全体に設定  
する場合は、  
作成したドラムパターンの○をクリックして  
選択、[確定して閉じる]をクリックして、  
画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、  
**作曲** ボタンをクリックして、



ボタンをクリックします。





## その他の機能・操作説明

### パワーベースを設定する

パワーベースとは、複雑なベースパターンを自動的に作成する機能で非常に強力なベースラインを作ります。

[曲全体の設定]メニュー → [ベース]をクリックします。

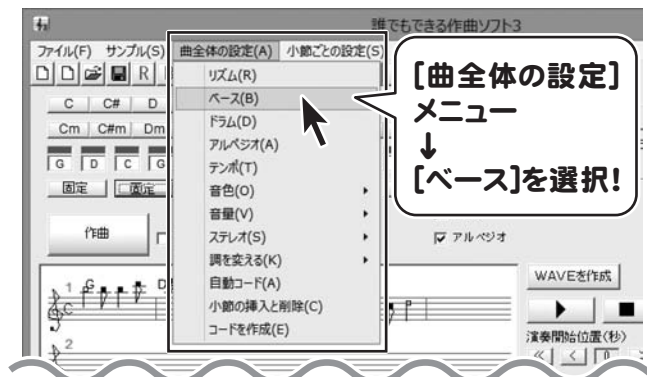
ベースパターン画面が表示されます。

[パワーベース]の○をクリックして選択、  
[確定して閉じる]をクリックして、  
画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、  
**作曲** ボタンをクリックして、



ボタンをクリックします。





## その他の機能・操作説明

### パワーベースをデータとして保存する

71ページの操作手順でパワーベースを設定して、自動作成されたパワーベースをデータとして保存することができます。新しい曲を作る場合などに、ここで保存したパワーベースのパターンデータを使用できます。

[曲全体の設定]メニュー → [ベース]をクリックします。

ベースパターン画面が表示されます。

ベースパターン画面が表示されましたら、  
[ベースパターンを編集]をクリックします。  
ベースパターンを編集画面が表示されます。

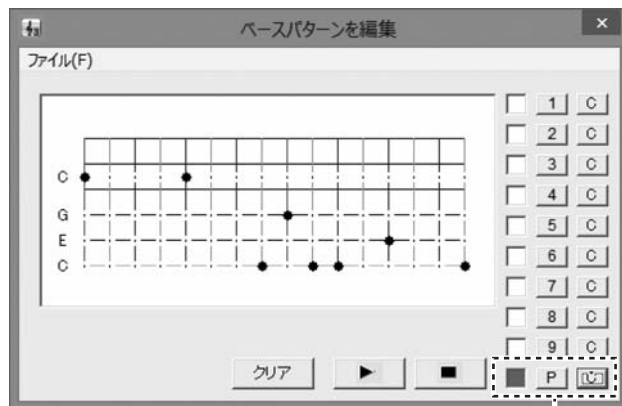
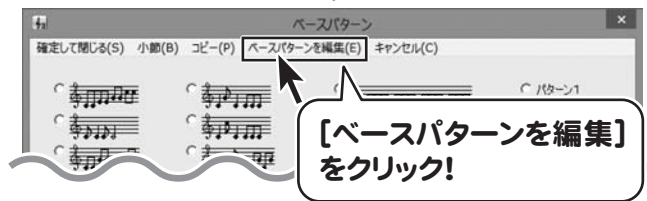
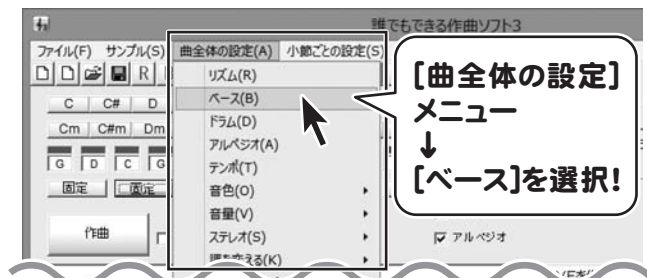
まずは、データとして保存するパワーベースパターンをコピーします。

**P** ボタンをクリックして選択すると、  
エディット表示エリアにパワーベースパターン  
に設定されているパワーベースパターンが表示  
されます。

パワーベースパターンを選択しましたら、

**C** ボタンをクリックして選択した  
パワーベースパターンをコピーします。

**P** ボタンの左の枠内が赤い表示に変わり、  
パワーベースパターンがコピーされます。



- ① **P** ボタンをクリックして、パワーベースを選択!
- ② **C** ボタンをクリックして、パワーベースをコピー!



コピーされると、赤い表示になります。

## その他の機能・操作説明

次に、  
コピーしたパワーベースパターンをパターン5に  
貼り付けます。

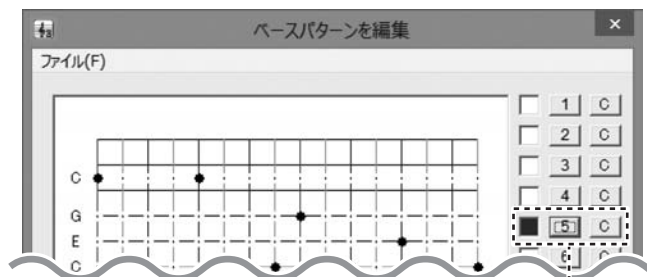
**5** ボタンをクリックすると、左の枠内の表示  
が青くなり、エディット表示エリアに  
パワーベースパターンがコピーされました。

コピーしたパワーベースパターンを保存します。

[ファイル]メニュー →  
[名前を付けて保存]を選択します。

ベースパターンの保存画面が表示されますので、  
データを保存する場所を選択して、  
データ名を入力します。  
保存の各設定が終わりましたら、  
**保存** ボタンをクリックしてください。

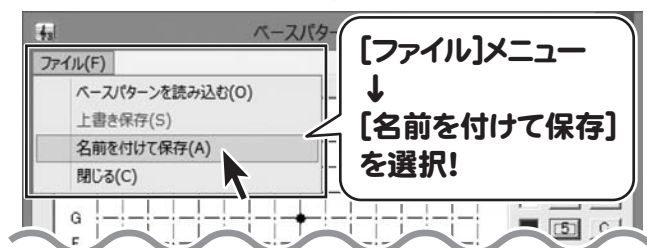
データの保存形式は「.be4」になります。



③ **5** ボタンをクリックして、コピーした  
ベースパターンを貼り付け!



貼り付けされると、青い表示になります。



## その他の機能・操作説明

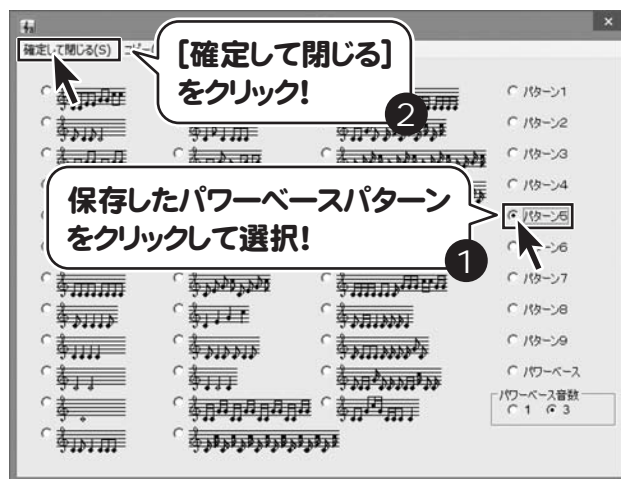
ベースパターンの保存が終わりましたら、  
[ファイル]メニュー→[閉じる]を選択して、  
ベースパターンを編集画面を閉じます。

保存したパワーベースパターンを曲全体に設定  
する場合は、  
作成したベースパターンの○をクリックして  
選択、[確定して閉じる]をクリックして、  
画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、  
作曲 ボタンをクリックして、



ボタンをクリックします。



## その他の機能・操作説明

### クリスタルコードを作成する

クリスタルコードは、曲に透明感のあるダイナミックなコード(和音)をつけることができる機能です。

ここでは10～29ページで作成した「茶摘み」4小節を例に説明します。

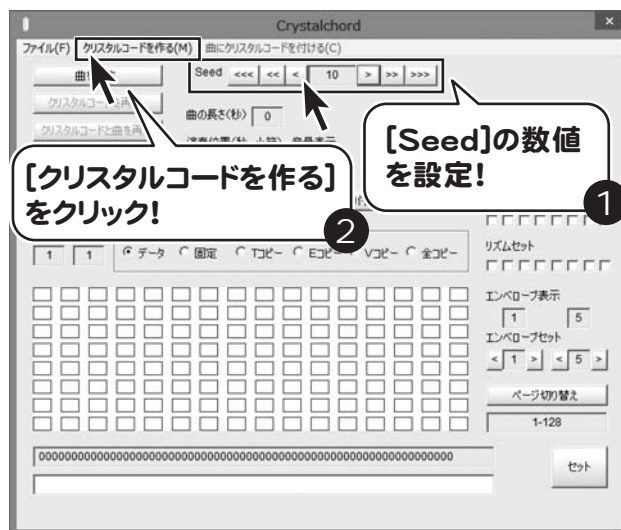
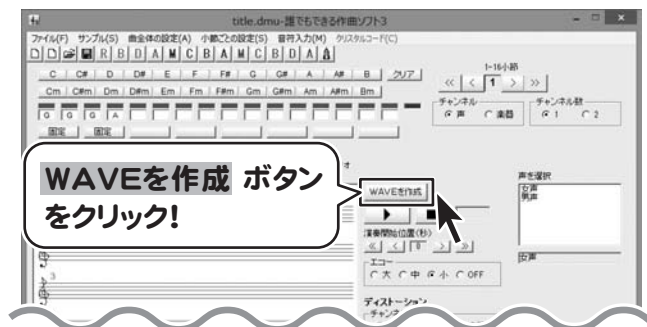
作曲が終わりましたら、**WAVEを作成** ボタンをクリックしますと、WAVEファイルが作成され、クリスタルコードが使用できるようになります。

メイン画面の[クリスタルコード]メニューをクリックして、Crystalchord画面を表示します。

クリスタルコードの音色は無数あり、[Seed]の数値を変更していくことで、クリスタルコードの音色を変更することができます。音色は小節ごとにセットされ、4小節の場合は4つの音色が作成されます。

まずは、曲につけるクリスタルコードを選択します。

[Seed]の数値を設定して、(ここでは、[5]を使用します)  
[クリスタルコードを作る]をクリックします。クリスタルコードの作成が終わると、自動で作成したクリスタルコードが再生されます。



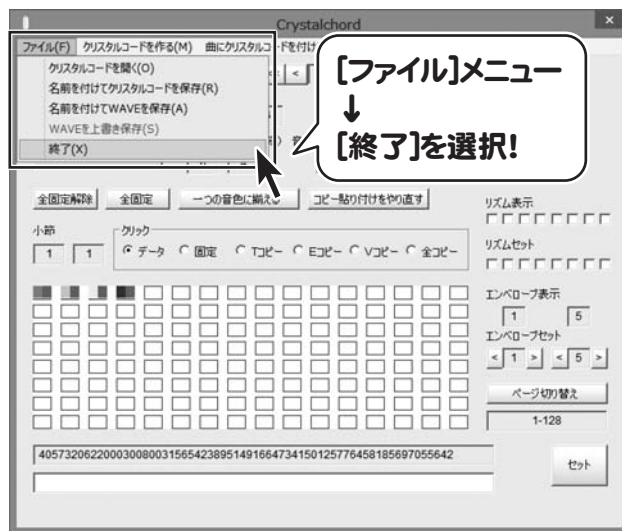
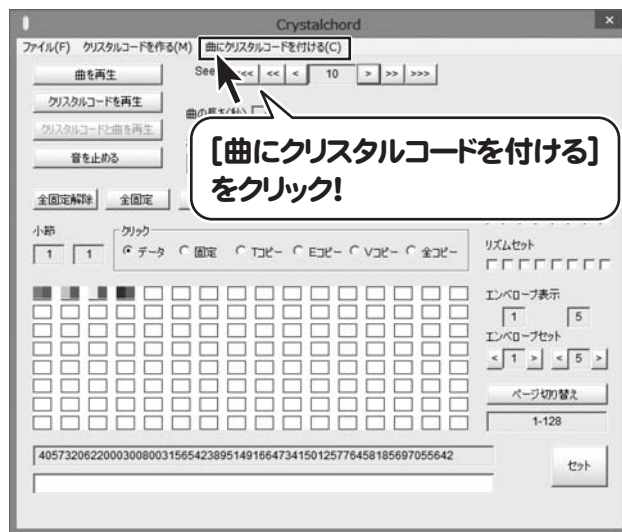
## その他の機能・操作説明

クリスタルコードを作成したら、  
曲にクリスタルコードを設定します。

[曲にクリスタルコードを付ける]をクリックしてください。

クリスタルコードが曲に設定されると、自動で  
作成した曲とクリスタルコードが再生されます。

クリスタルコードのすべての設定が  
終わりましたら、[ファイル]メニュー→[終了]を  
クリックして、Crystalchord画面を閉じて、  
メイン画面に戻ります。



## その他の機能・操作説明

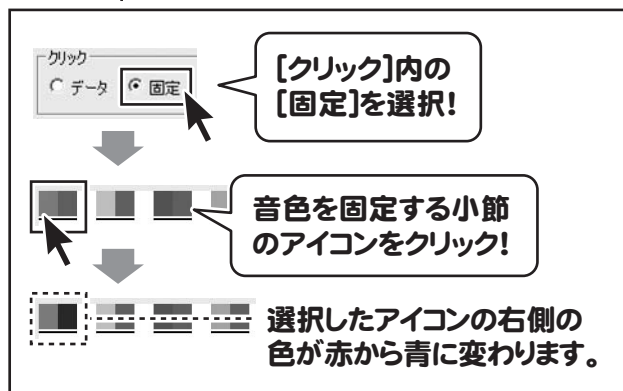
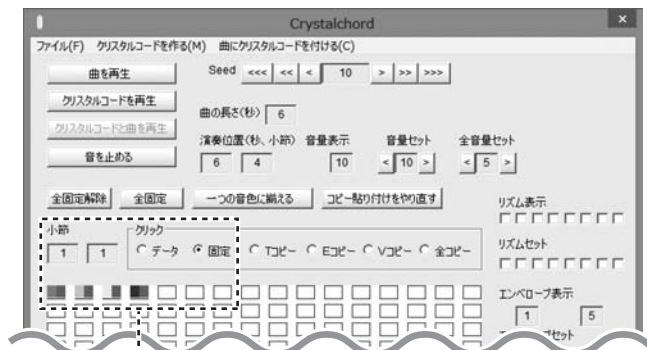
### 現在表示されている クリスタルコードの音色を固定する

例として、1小節目の音色を固定します。

[クリック]内の[固定]にチェックを入れて、  
1小節目のアイコンをクリックします。

1小節目のアイコンの右側の色が赤から青に  
変わります。  
(赤色は固定されてない状態、青色は固定された  
状態を表します)

1小節目を固定して、[Seed]の数値を変更、  
[クリスタルコードを作る]をクリックすると、  
1小節目の音色は固定されているので、変更され  
ません。  
2小節目以降は音色が変更されます。





## その他の機能・操作説明

### クリスタルコードのリズムを設定する

例として、1小節目のリズムを設定します。

[クリック]内の[データ]にチェックを入れて、1小節目のアイコンをクリックします。

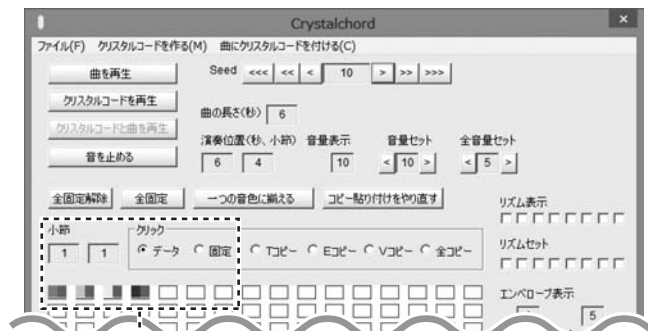
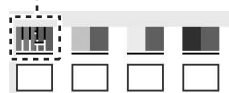
リズムを設定するアイコンを選択しましたら、リズムを設定します。

[リズムセット]内のチェックボックスをクリックして、チェックの有無でリズムを設定します。

リズムの設定が終わりましたら、**セット** ボタンをクリックします。

最後に[クリスタルコードを作る]をクリックしてクリスタルコードに設定を適用します。

選択した小節にリズムが  
設定されました



クリック欄の[データ]を選択!

リズムを設定する小節  
のアイコンをクリック!

選択した小節の番号が  
表示されます

リズムセット  
[リズムセット]内の  
チェックボックスをクリック!

セット ボタン  
をクリック!

[クリスタルコードを作る]  
をクリック!

## その他の機能・操作説明

### クリスタルコードのエンベロープを設定する

例として、1小節目のエンベロープを設定します。

[クリック]内の[データ]にチェックを入れて、1小節目のアイコンをクリックします。

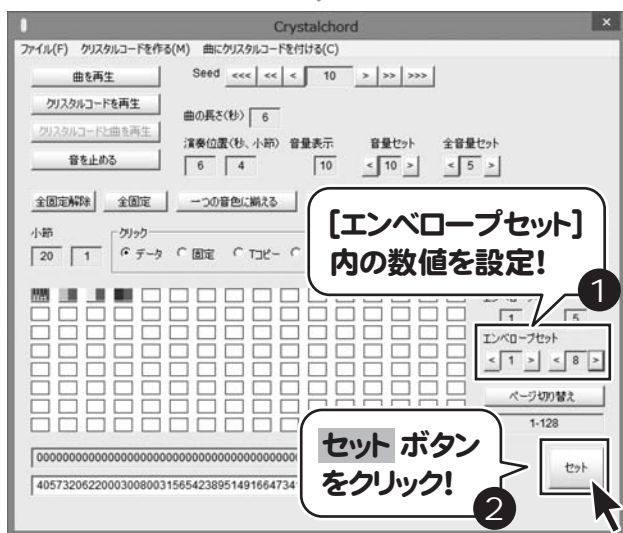
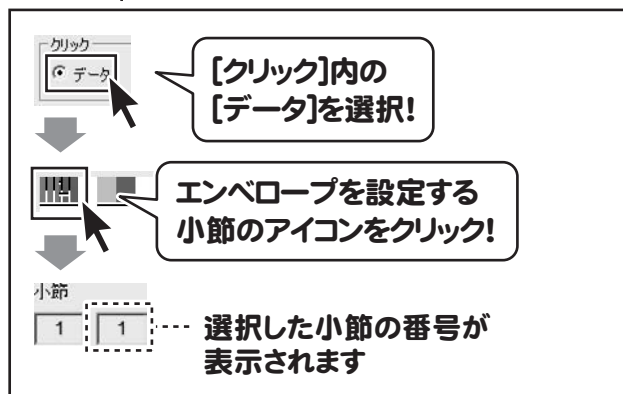
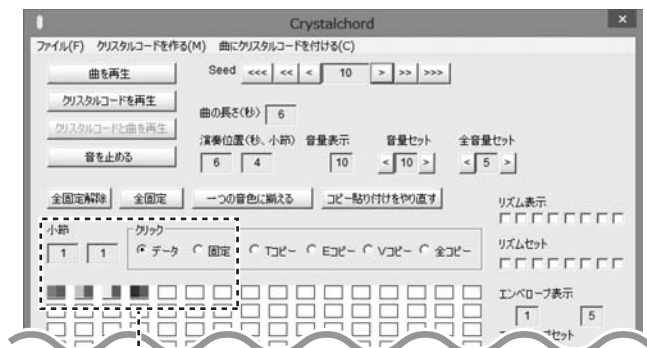
エンベロープを設定するアイコンを選択しましたら、エンベロープを設定します。

[エンベロープセット]内の数値を変更して、エンベロープを設定します。

エンベロープの設定が終わりましたら、**セット** ボタンをクリックします。

最後に[クリスタルコードを作る]をクリックしてクリスタルコードに設定を適用します。

※エンベロープは、リズムが設定されている場合に有効になります。



## その他の機能・操作説明

### 楽器チャンネルを設定する

メロディーとして[声]とあわせて、[楽器]を設定することができます。  
10～29ページで作成した「茶摘み」の[声]のメロディーの楽譜です。



これから、下図の楽譜を[楽器]のメロディーとして設定します。



ここでは10～29ページで作成した  
「茶摘み」4小節に[楽器]チャンネルを設定する  
方法を説明します。

まず、**作曲** ボタンをクリックして、  
MIDIファイルを作成します。

次に、[楽器]チャンネルを設定する画面に  
切り替えます。

メイン画面で[チャンネル数]内の[2]をクリック  
して選択し、[チャンネル]内の[楽器]をクリック  
します。



## その他の機能・操作説明

[楽器]チャンネルを設定する画面に切り替わりましたら、音符画面を表示します。

[音符入力]メニューをクリックします。

音符画面が表示されましたら、  
[楽器]チャンネルの音符を入力します。

15～20ページの操作手順で右図のように音符を入力します。

すべての音符入力が終わりましたら、  
[閉じる]をクリックして、音符入力画面を閉じます。  
入力した音符がメイン画面の楽譜に  
反映されます。



音符入力が終わりましたら、  
[楽器]チャンネルの音色を設定します。

[曲全体の設定]メニュー → [音色] → [メロディー]  
をクリックします。  
メロディーの音色画面が表示されます。




## その他の機能・操作説明

例として音色は[Jazz Gt.]を選択します。

変更する音色の○をクリックして選択、  
[確定して閉じる]をクリックして、  
画面を閉じて、メイン画面に戻ります。



メイン画面に戻ったら、  
**作曲** ボタンをクリックします。

 ボタンをクリックして声と楽器の  
チャンネルのメロディーが合わさって再生され  
ます。

※声だけを試聴したい場合は、チャンネルを  
「●声」、チャンネル数を[●1]にして  
作曲ボタンをクリックすると、楽器のメロディーは  
聴こえなくなります。



# その他の機能・操作説明

## コードを作成する

最初から登録されているコード以外に、コードを自由に作成して使用することができます。  
※「コードを作成」機能で作るコードは、リズムパターンにだけに使われます。

### 1 コード作成画面でコードの構成音を登録します

#### 例:「C6」(メジャーシックスス)を作成する場合

[曲全体の設定]メニュー → [コードを作成]をクリックします。

コードを作成画面が表示されます。

コードは、初期設定でコード番号0～1にサンプルのコードが設定されています。

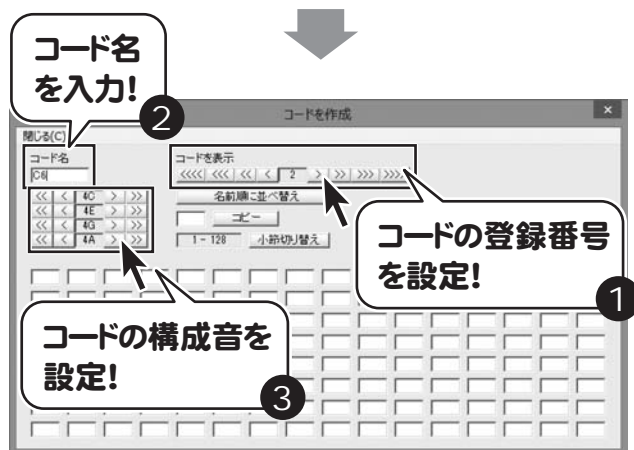
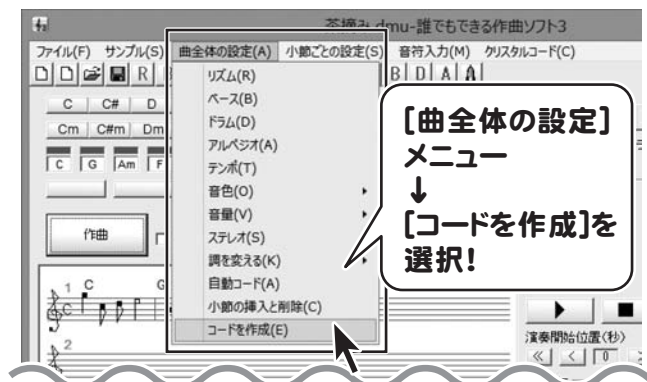
ここでは、例として、コード番号[2]に「C6」コードを作ります。

①コードの登録番号を設定します。  
作成したコードは999個まで登録することができます。  
[コードを表示]内の<< >> ボタンをクリックして、登録するコード番号を設定します。  
例:[2]に登録します。

②[コード名]にコードの名前を入力します。  
例:「C6」と入力します。

③コードの構成音を設定します。  
例:[4C] [4E] [4G] [4A]と設定します。

①～③が終わりましたら、[閉じる]をクリックしてメイン画面に戻ります。





## その他の機能・操作説明

### 2 作成したコードを曲に設定します

作成したコード「C6」を1小節目に設定する方法を説明します。

図のように、  
1小節の入力欄に「C6」を入力します。

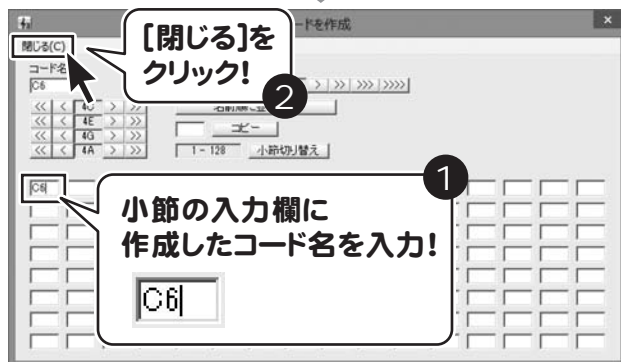
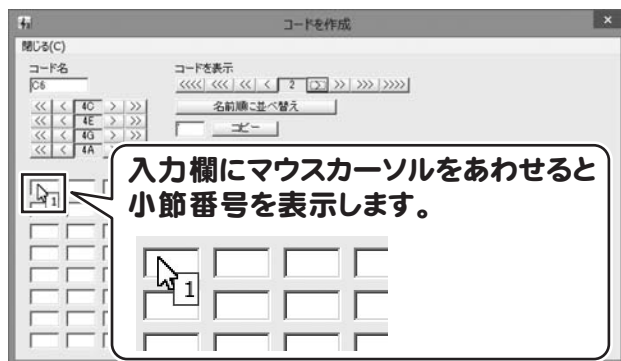
入力欄にマウスカーソルをあわせると、入力欄の小節番号が表示されます。  
設定する小節の欄に、作成したコード名を入力して、[閉じる]をクリックします。

メイン画面に戻りましたら、[作曲]ボタンをクリックしてデータを更新します。

メイン画面のコード入力ボックスの内容が更新されて、「C6」コードが1小節目に設定されます。

▶ ボタンをクリックして設定したコードを試聴できます。

「コードを作成」画面で、入力欄内のコード名を削除すると、メイン画面で設定したコードで演奏されます。



#### メイン画面



作成したコードが設定されます。「C6」コード(リズムパターン)で演奏されます。

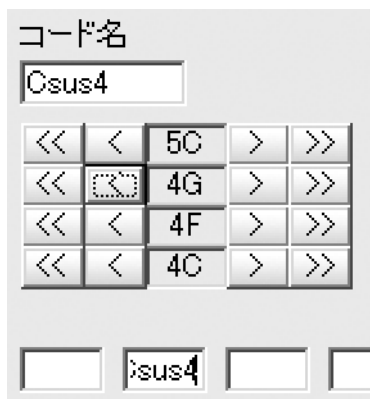
自動作曲(メロディー)、ベース、アルペジオは楽譜上のコード(右図例では「C」コード)を元にしています。

## その他の機能・操作説明

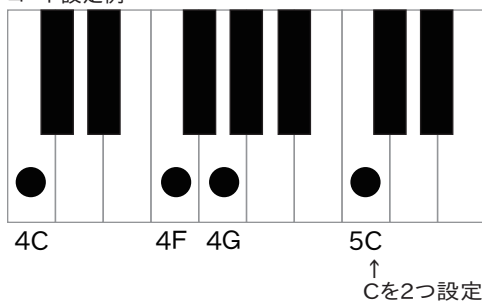


### Csus4など3つの構成音のコードを作成するには

本ソフトは、4つの構成音でコードを作成する設定になっています。  
Csus4(C・F・G)など3つの構成音のコードを作成したい場合は、  
以下のように3つの音のうちの1つを4つ目に設定してください。



コード設定例



### 作成したコードをコピーする

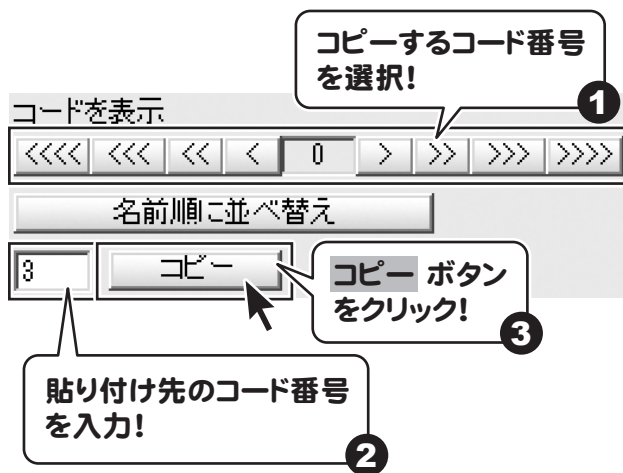
作成したコードをコピーして、別のコード番号  
に貼り付けすることができます。

右図例では、コード番号「0」のコードを  
コード番号「3」にコピーします。

①[コードを表示]欄で ボタンを  
クリックして、コピーするコード番号を選択  
します。  
例:「0」を選択

②貼り付け先の番号を入力欄に入力します。  
例:「3」を入力

③ ボタンをクリックします。  
表示されているコード番号「0」のコードが  
コピーされ、入力したコード番号「3」に貼り付けられます。



## その他の機能・操作説明

### 楽譜を画像として保存する

ここでは10～29ページで作成した「茶摘み」4小節を例に説明します。

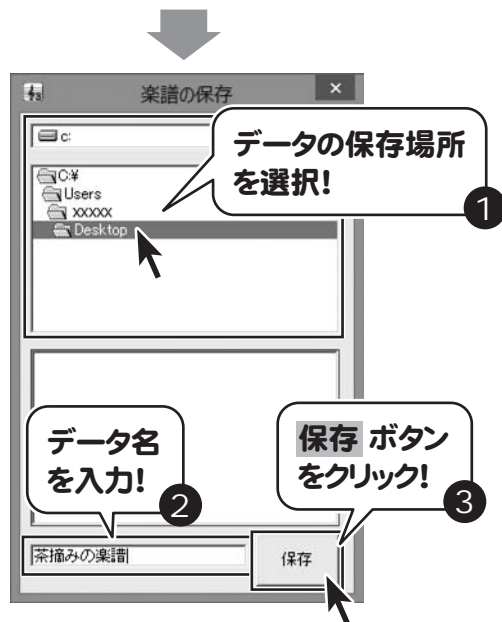
[ファイル]メニュー →

[楽譜を画像として保存]を選択します。

楽譜の保存画面が表示されますので、データを保存する場所を選択して、データ名を入力します。

保存の各設定が終わりましたら、**保存** ボタンをクリックしてください。

データの保存形式は「.bmp」になります。



## その他の機能・操作説明

### 三連符を作成する

音符の長さを調整画面の機能を使って、音符の長さを少しだけ短く、または長くすることで、三連符を作ることができます。

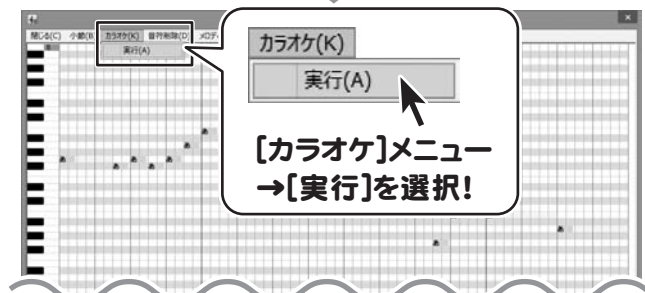
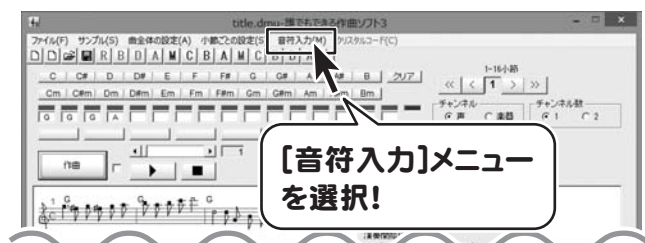
下記のように1小節分の音符を入力して、三連符を作成します。



[音符入力]メニューをクリックして、  
音符入力画面を表示します。

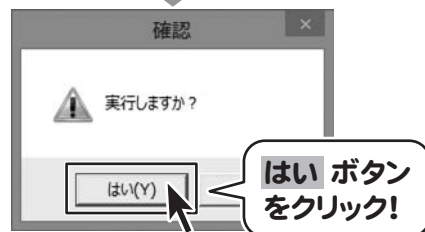
音符入力画面が表示されましたら、  
自動作曲されたサンプルメロディーの音符を  
すべて削除します。

[カラオケ]メニューから[実行]を選択します。

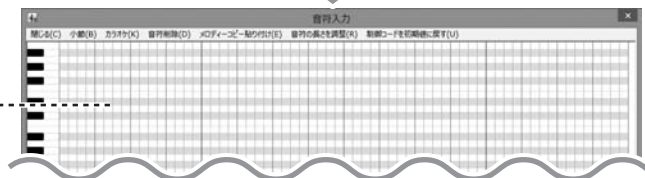


確認画面が表示されますので、内容を確認して  
**はい** ボタンをクリックします。

入力されていた音符がすべて削除されます。



入力されていた音符が  
すべて削除されました



## その他の機能・操作説明

音符画面に入力されていた音符がすべて削除されましたら、三連符を作成する音符を入力します。

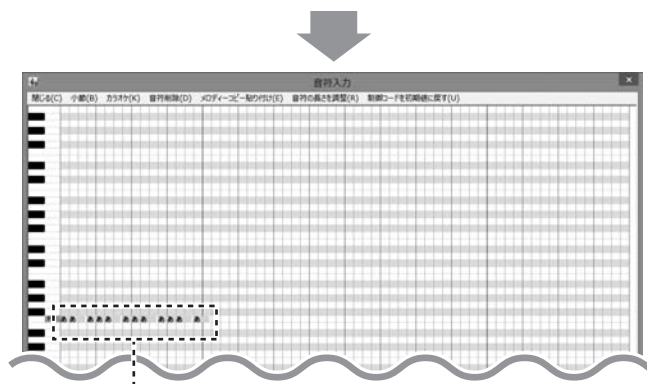
15～20ページの操作手順で右図のように音符を入力します。

すべての音符入力が終わりましたら、音符入力画面の[音符の長さを調整]をクリックして、音符の長さを調整画面を表示します。

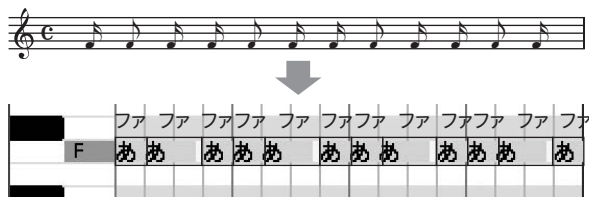
音符の長さを調整画面で音符1つ1つの長さ（音符の音の再生位置）を微妙に調整することで、三連符を作成することができます。

ここでは右図のように、最初の8分音符を右に長くして、（音符の再生が少し遅くなります）次の16分音符を左に長く設定することで、（音符の再生が少し速くなります）並んだ3つの音符で三連符を作成します。その操作を繰り返して、三連符を連続して作成していきます。

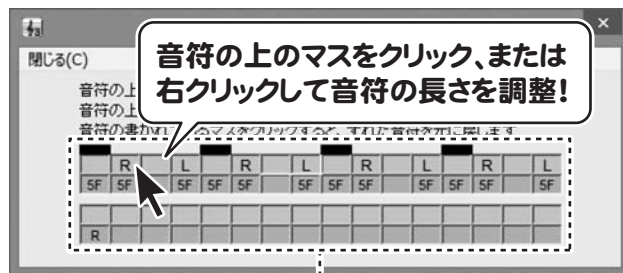
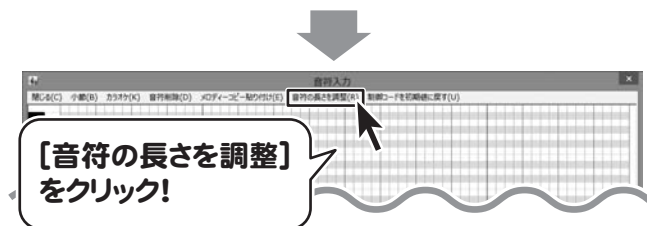
※音符の長さを調整画面の詳細は、PDFマニュアル 39ページをご参照ください。



### 1小節



上記のように音符を入力します。

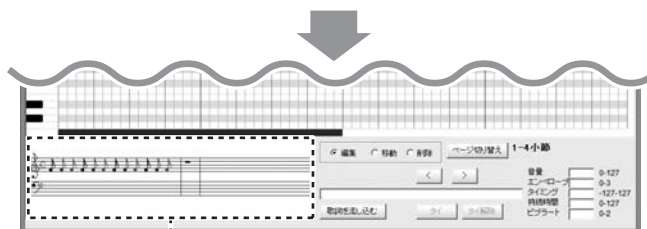
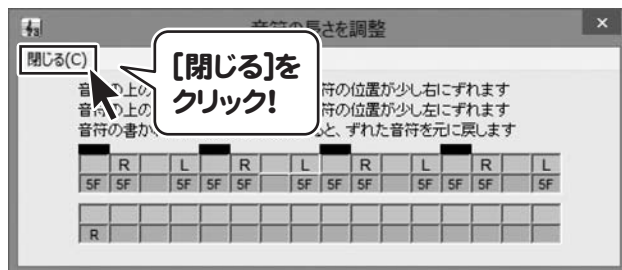


上記のように、隣り合った8分音符と16分音符を近付ける感じで、音符の長さを調整します！

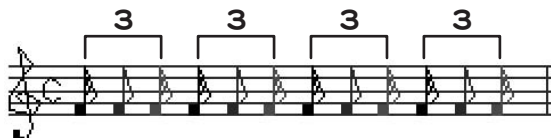
## その他の機能・操作説明

すべての音符の長さの調整が終わりましたら、  
[閉じる]をクリックして、音符の長さを調整画面  
を閉じます。  
設定した音符の長さが音符入力画面の五線譜  
に反映されます。

すべての設定が終わりましたら、  
[閉じる]をクリックして、音符入力画面を  
閉じます。  
入力した音符がメイン画面の楽譜に  
反映されます。



**設定した音符の長さが適用されました!**



左に調整した音符は紫、  
右に調整した音符は緑で表示されます。





# 付録 ピアノコード一覧

コードボタン

文字色	C	C#	D	D#	E	F	F#	G	G#	A	A#	B
黒	C	C#	D	D#	E	F	F#	G	G#	A	A#	B
青	C7	C#7	D7	D#7	E7	F7	F#7	G7	G#7	A7	A#7	B7
赤	CM7	C#M7	DM7	D#M7	EM7	FM7	F#M7	GM7	G#M7	AM7	A#M7	BM7

	Cm	C#m	Dm	D#m	Em	Fm	F#m	Gm	G#m	Am	A#m	Bm
黒	Cm	C#m	Dm	D#m	Em	Fm	F#m	Gm	G#m	Am	A#m	Bm
青	Cm7	C#m7	Dm7	D#m7	Em7	Fm7	F#m7	Gm7	G#m7	Am7	A#m7	Bm7
赤	Cm M7	C#m M7	Dm M7	D#m M7	Em M7	Fm M7	F#m M7	Gm M7	G#m M7	Am M7	A#m M7	Bm M7

コードボタン ..... **C** ドミソ ..... コード構成音



..... 音符配置例

**C**

ド・ミ・ソ



**C#**

ド#・ファ・ソ#



**D**

レ・ファ#・ラ



**D#**

レ#・ソ・ラ#



**E**

ミ・ソ#・シ



**C7**

ド・ミ・ソ・ラ#



**C#7**

ド#・ファ・ソ#・シ



**D7**

レ・ファ#・ラ・ド



**D#7**

レ#・ソ・ラ#・ド#



**E7**

ミ・ソ#・シ・レ



**CM7**

ド・ミ・ソ・シ



**C#M7**

ド#・ファ・ソ#・ド



**DM7**

レ・ファ#・ラ・ド#



**D#M7**

レ#・ソ・ラ#・レ



**EM7**

ミ・ソ#・シ・レ#



# 付録 ピアノコード一覧

**F**

ファ・ラ・ド



**F#**

ファ#・ラ#・ド#



**G**

ソ・シ・レ



**G#**

ソ#・ド・レ#



**A**

ラ・ド#・ミ



**F7**

ファ・ラ・ド・レ#



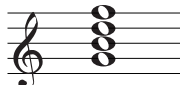
**F#7**

ファ#・ラ#・ド#・ミ



**G7**

ソ・シ・レ・ファ



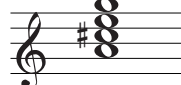
**G#7**

ソ#・ド・レ#・ファ#



**A7**

ラ・ド#・ミ・ソ



**FM7**

ファ・ラ・ド・ミ



**F#M7**

ファ#・ラ#・ド#・ファ



**GM7**

ソ・シ・レ・ファ#



**G#M7**

ソ#・ド・レ#・ソ



**AM7**

ラ・ド#・ミ・ソ#



**A#**

ラ#・レ・ファ



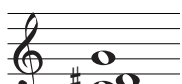
**B**

シ・レ#・ファ#



**Cm**

ド・レ#・ソ



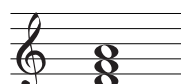
**C#m**

ド#・ミ・ソ#



**Dm**

レ・ファ・ラ



**A#7**

ラ#・レ・ファ・ソ#



**B7**

シ・レ#・ファ#・ラ



**Cm7**

ド・レ#・ソ・ラ#



**C#m7**

ド#・ミ・ソ#・シ



**Dm7**

レ・ファ・ラ・ド



**A#M7**

ラ#・レ・ファ・ラ



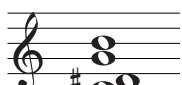
**BM7**

シ・レ#・ファ#・ラ#



**Cm M7**

ド・レ#・ソ・シ



**C#m M7**

ド#・ミ・ソ#・ド



**Dm M7**

レ・ファ・ラ・ド#



# 付録 ピアノコード一覧

**D#m**

レ#・ファ#・ラ#



**Em**

ミ・ソ・シ



**Fm**

ファ・ソ#・ド



**F#m**

ファ#・ラ・ド#



**Gm**

ソ・ラ#・レ



**D#m7**

レ#・ファ#・ラ#・ド#



**Em7**

ミ・ソ・シ・レ



**Fm7**

ファ・ソ#・ド・レ#



**F#m7**

ファ#・ラ・ド#・ミ



**Gm7**

ソ・ラ#・レ・ファ



**D#m M7**

レ#・ファ#・ラ#・レ



**Em M7**

ミ・ソ・シ・レ#



**Fm M7**

ファ・ソ#・ド・ミ



**F#m M7**

ファ#・ラ・ド#・ファ



**Gm M7**

ソ・ラ#・レ・ファ#



**G#m**

ソ#・シ・レ#



**Am**

ラ・ド・ミ



**A#m**

ラ#・ド#・ファ



**Bm**

シ・レ・ファ#



**G#m7**

ソ#・シ・レ#・ファ#



**Am7**

ラ・ド・ミ・ソ



**A#m7**

ラ#・ド#・ファ・ソ#



**Bm7**

シ・レ・ファ#・ラ



**G#m M7**

ソ#・シ・レ#・ソ



**Am M7**

ラ・ド・ミ・ソ#



**A#m M7**

ラ#・ド#・ファ・ラ



**Bm M7**

シ・レ・ファ#・ラ#



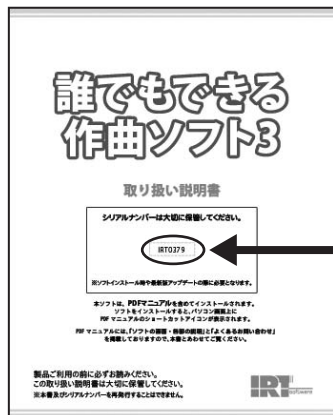
MEMO

## お問い合わせ窓口

本ソフトに関する、ご質問・ご不明な点などございましたら、パソコンの状況など具体例を参考に出来るだけ詳しく書いていただき、メール・電話・FAX等でユーザーサポートまでご連絡ください。

○ソフトのタイトル・バージョン  
例:「誰でもできる作曲ソフト3」

○ソフトのシリアルナンバー  
**本書の表紙**に貼付されています。



シリアルナンバーシール  
貼付場所

○ソフトをお使いになられているパソコンの環境

・OS及びバージョン

例: Windows 8.1

Windows Updateでの最終更新日〇〇年〇月〇日

・ブラウザのバージョン

例: Internet Explorer 11

・パソコンの仕様

例: SONY XXXX-XXX-XX

Pentium III 1GHz HDD 500GB Memory 2GB

・プリンターなど接続機器の詳細

例: プリンター EPSONのXXXX(型番)を直接ケーブルで接続している  
インクジェットプリンター、ドライバーソフトは更新済み

○お問合せ内容

例: ~の操作を行ったら、~というメッセージがでてソフトが動かなくなった  
□□□部分の操作について教えてほしい…etc

○お名前

○ご連絡先など

※メールの場合、お客様のメールサーバーのドメイン拒否設定により、弊社からのメールが受信されない場合がありますので、その際は設定をご確認ください。

## お問い合わせ窓口



ご質問・ご不明な点がございましたら、サポート専用番号へご連絡ください。コンピューターのスペックや周辺機器などの状況を詳しくお調べの上、お伝えください。

### メールでのお問い合わせ

**E-mail** [info@irtnet.jp](mailto:info@irtnet.jp)

サポート時間：10:00～17:30（土・日、祭日を除く）

※通信料はお客様負担となります。

### お電話・FAXでのお問い合わせ

**TEL** 050-3538-6703

**FAX** 050-3538-6704

サポート時間：10:00～17:30（土・日、祭日を除く）

※通信料はお客様負担となります。

### IRTホームページ

**URL** <http://irtnet.jp/>

ホームページでは、**ソフトウェアの最新情報、アップデート情報**をお知らせしております。最新版のソフトウェアをダウンロードしてお使いいただけます。

### ■ご注意

お客様よりいただいたお問合せに返信できない現象が多発しております。

FAX及びe-mailでのお問合せの際には、ご連絡先を正確に明記の上、サポートまでお送りくださいますようお願い申し上げます。

また、お問い合わせいただく前に、プリンター等の設定などを今一度ご確認ください。

時間帯等によっては、混雑等により一時的に電話が繋がりにくい場合があります。

その際はお手数ですが、時間をずらしておかけ直してください。



株式会社アイアールティー



# 誰でもできる 作曲ソフト3

画面・各部の説明

よくあるお問い合わせ

※シリアルナンバーは、同梱されている冊子の  
取り扱い説明書の表紙に貼付されています。

**IRT** software

---

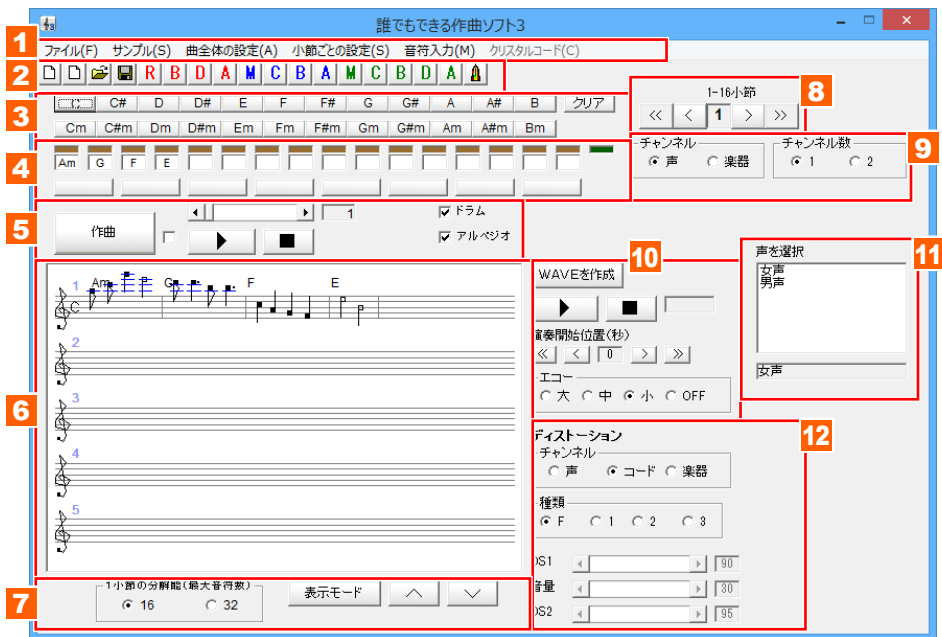
## 画面・各部の説明

メイン画面	03~14	
リズムパターン画面・リズムパターンを編集画面	15~16	
ベースパターン画面・ベースパターンを編集画面	17~18	
ドラムパターン画面・ドラムパターンを編集画面	19~20	
アルペジオパターン画面	21	
テンポ画面	22	
音色画面	23	
音量画面	24	
ステレオ画面	25	
自動コード画面	26	
小節の挿入と削除画面	27	
コードを作成画面	28	
小節ごとの設定	メロディー画面・メロディーページ画面	29
	コード画面・コードページ画面	30
	ベース画面・ベースページ画面	31
	ドラム画面・ドラムページ画面	32
	アルペジオ画面・アルペジオページ画面	33
音符入力画面	34~37	
小節の選択画面	38	
メロディーのコピー貼り付け画面	39	
音符の長さを調整画面	40	
Crystalchord画面	41~44	
よくあるお問い合わせ	45~49	
お問い合わせ窓口	50~51	

## 画面・各部の説明

### メイン画面

「誰でもできる作曲ソフト3」を起動すると、下のような画面が表示されます。



**1** メニューバー (4～7ページ)

**2** ツールバー (7～8ページ)

**3** コードボタン (9ページ)

**4** コード表示エリア (10ページ)

**5** MIDIファイル編集設定 (11ページ)

**6** 楽譜表示エリア (12ページ)

**7** 楽譜表示設定 (12ページ)

**8** ページ選択ボタン (12ページ)

**9** チャンネル設定 (13ページ)

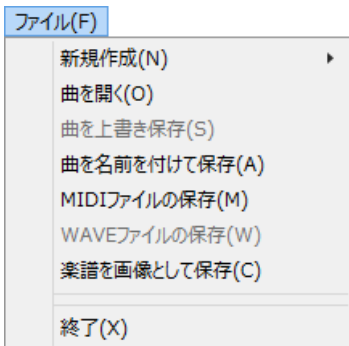
**10** WAVEファイル編集設定 (13ページ)

**11** 声を選択 (14ページ)

**12** ディストーション設定 (14ページ)

# 画面・各部の説明

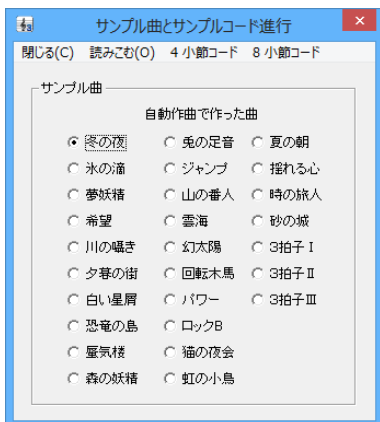
## 1 メニューバー



ファイルメニュー

## サンプル(S)

サンプルメニュー



「サンプル曲とサンプルコード進行」画面

### 新規作成 ▶

3 拍子の曲を作る(3)

4 拍子の曲を作る(4)

「3拍子の曲を作る／4拍子の曲を作る」どちらかを選択して新規で曲を作成します。

### 曲を開く

保存した曲のデータを開きます。

### 曲を上書き保存

保存している曲のデータに上書き保存します。

### 曲を名前を付けて保存

作曲した曲を名前を付けて保存します。(拡張子: dmu)

### MIDIファイルの保存

MIDIファイルを保存します。(拡張子: mid)

### WAVEファイルの保存

WAVEファイルを保存します。(拡張子: wav)

### 楽譜を画像として保存

作曲した曲の楽譜をBMP形式の画像ファイルで保存します。(拡張子: bmp)

### 終了

ソフトを終了します。

[サンプル]メニューをクリックすると、「サンプル曲とサンプルコード進行」画面が表示されます。

### 閉じる

「サンプル曲とサンプルコード進行」画面を閉じます。

### 読み込む

選択したサンプル曲をメイン画面に読み込みます。

### 4小節コード

4小節コードのサンプルコードをメイン画面に読み込みます。

### 8小節コード

8小節コードのサンプルコードをメイン画面に読み込みます。

### サンプル曲

収録されている27種類のサンプル曲をリスト表示しています。

1つ選択してメニューの[読み込む]をクリックすると、選択したサンプル曲がメイン画面に読み込まれます。

## 画面・各部の説明

### 曲全体の設定(A)

リズム(R)	
ベース(B)	
ドラム(D)	
アルペジオ(A)	
テンポ(T)	
音色(O)	▶
音量(V)	▶
ステレオ(S)	▶
調を変える(K)	▶
自動コード(A)	
小節の挿入と削除(C)	
コードを作成(E)	

曲全体の設定メニュー

#### 用語集



### アルペジオ

分散和音及びその奏法。  
和音の各音を同時にではなく、  
下または上から順番に演奏します。

例



和音



アルペジオ

### リズム

「リズムパターン」画面を表示します。(画面詳細15ページ)

### ベース

「ベースパターン」画面を表示します。(画面詳細17ページ)

### ドラム

「ドラムパターン」画面を表示します。(画面詳細19ページ)

### アルペジオ

「アルペジオパターン」画面を表示します。(画面詳細21ページ)

### テンポ

「テンポ」画面を表示します。(画面詳細21ページ)

### 音色

#### メロディー

「メロディーの音色」画面を表示します。(画面詳細22ページ)

#### コード

「コードの音色」画面を表示します。(画面詳細22ページ)

#### ベース

「ベースの音色」画面を表示します。(画面詳細22ページ)

#### アルペジオ

「アルペジオの音色」画面を表示します。(画面詳細22ページ)

### 音量

#### メロディー

「メロディーの音量」画面を表示します。(画面詳細23ページ)

#### コード

「コードの音量」画面を表示します。(画面詳細23ページ)

#### ベース

「ベースの音量」画面を表示します。(画面詳細23ページ)

#### ドラム

「ドラムの音量」画面を表示します。(画面詳細23ページ)

#### アルペジオ

「アルペジオの音量」画面を表示します。(画面詳細23ページ)

### ステレオ

#### メロディー

「メロディーのステレオ」画面を表示します。(画面詳細23ページ)

#### コード

「コードのステレオ」画面を表示します。(画面詳細23ページ)

#### ベース

「ベースのステレオ」画面を表示します。(画面詳細23ページ)

#### ドラム

「ドラムのステレオ」画面を表示します。(画面詳細23ページ)

#### アルペジオ

「アルペジオのステレオ」画面を表示します。

(画面詳細23ページ)

## 画面・各部の説明

### 曲全体の設定(A)

リズム(R)	
ベース(B)	
ドラム(D)	
アルペジオ(A)	
テンポ(T)	
音色(O)	▶
音量(V)	▶
ステレオ(S)	▶
調を変える(K)	▶
自動コード(A)	
小節の挿入と削除(C)	
コードを作成(E)	

曲全体の設定メニュー

### 小節ごとの設定(S)

メロディー(M)	
コード(H)	
ベース(B)	
ドラム(D)	
アルペジオ(A)	
固定小節の解除(K)	▶

小節ごとの設定メニュー

#### 固定小節の解除 ▶

メロディーの音色、音量(M)
リズム/パターン(R)
コードの音色、音量(C)
ベースパターン(B)
ベースの音色、音量(A)
ドラム/パターン(D)
ドラムの音量(E)
アルペジオパターン(F)
アルペジオの音色、音量(G)

#### 調を変える

##### 半音上げる

表示された楽譜の音階を半音上げます。

##### 半音下げる

表示された楽譜の音階を半音下げます。

##### 1オクターブ下げる

表示された楽譜の音階を1オクターブ下げます。

#### 自動コード

「自動コード」画面を表示します。(画面詳細24ページ)

#### 小節の挿入と削除

「小節の挿入と削除」画面を表示します。(画面詳細25ページ)

#### コードを作成

「コードを作成」画面を表示します。(画面詳細26ページ)

#### メロディー

小節ごとのメロディーの音色、音量、ステレオを設定します。

#### コード

小節ごとのリズムのパターン、音色、音量、ステレオを設定します。

#### ベース

小節ごとのベースのパターン、音色、音量、ステレオを設定します。

#### ドラム

小節ごとのドラムのパターン、音量、ステレオを設定します。

#### アルペジオ

小節ごとのアルペジオのパターン、音色、音量、ステレオを設定します。

#### 固定小節の解除

固定小節を解除します。

※固定小節とは、曲全体の音量などを変えても変化しない小節です。

左記のメニューから解除する項目を選択します。



## 画面・各部の説明

### 音符入力(M)

音符入力メニュー

「音符入力」画面を表示します。(画面詳細32ページ)

### クリスタルコード(C)

クリスタルコードメニュー

「Crystalchord」画面を表示します。(画面詳細40ページ)

※クリスタルコード

このソフトでは、曲に透明感のあるダイナミックなコード(和音)を付けることが機能のこといいます。

## 2 ツールバー



#### 3拍子の曲を作る

3拍子の曲を新規作成します。

[ファイル]→[新規作成]→[3拍子の曲を作る]と同じ動作をします。



#### 4拍子の曲を作る

4拍子の曲を新規作成します。

[ファイル]→[新規作成]→[4拍子の曲を作る]と同じ動作をします。



#### 開く

保存した曲(拡張子:dmu)のデータを開きます。

[ファイル]→[曲を開く]と同じ動作をします。



#### 上書き保存

現在開いているファイルを上書き保存します。

[ファイル]→[曲を上書き保存]と同じ動作をします。



#### リズムパターン

「リズムパターン」画面を表示します。(画面詳細15ページ)

[曲全体の設定]→[リズム]と同じ動作をします。



#### ベースパターン

「ベースパターン」画面を表示します。(画面詳細17ページ)

[曲全体の設定]→[ベース]と同じ動作をします。



#### ドラムパターン

「ドラムパターン」画面を表示します。(画面詳細19ページ)

[曲全体の設定]→[ドラム]と同じ動作をします。



#### アルペジオパターン

「アルペジオパターン」画面を表示します。(画面詳細21ページ)

[曲全体の設定]→[アルペジオ]と同じ動作をします。

## 画面・各部の説明



### メロディーの音色

メロディーの音色画面を表示します。(詳細は22ページをご覧ください)  
[曲全体の設定]→[音色]→[メロディー]と同じ動作をします。



### コードの音色

コードの音色画面を表示します。(詳細は22ページをご覧ください)  
[曲全体の設定]→[音色]→[コード]と同じ動作をします。



### ベースの音色

ベースの音色画面を表示します。(詳細は22ページをご覧ください)  
[曲全体の設定]→[音色]→[ベース]と同じ動作をします。



### アルペジオの音色

アルペジオの音色画面を表示します。(詳細は22ページをご覧ください)  
[曲全体の設定]→[音色]→[アルペジオ]と同じ動作をします。



### メロディーの音量

メロディーの音量画面を表示します。(詳細は23ページをご覧ください)  
[曲全体の設定]→[音量]→[メロディー]と同じ動作をします。



### コードの音量

コードの音量画面を表示します。(詳細は23ページをご覧ください)  
[曲全体の設定]→[音量]→[コード]と同じ動作をします。



### ベースの音量

ベースの音量画面を表示します。(詳細は23ページをご覧ください)  
[曲全体の設定]→[音量]→[ベース]と同じ動作をします。



### ドラムの音量

ドラムの音量画面を表示します。(詳細は23ページをご覧ください)  
[曲全体の設定]→[音量]→[ドラム]と同じ動作をします。



### アルペジオの音量

アルペジオの音量画面を表示します。(詳細は23ページをご覧ください)  
[曲全体の設定]→[音量]→[アルペジオ]と同じ動作をします。



### テンポ

テンポ画面を表示します。(詳細は21ページをご覧ください)  
[曲全体の設定]→[テンポ]と同じ動作をします。

## 画面・各部の説明

### 3 コードボタン



[ C ] [ C# ] [ D ] [ D# ] [ E ] [ F ] [ F# ] [ G ] [ G# ] [ A ] [ A# ] [ B ]  
[ Cm ] [ C#m ] [ Dm ] [ D#m ] [ Em ] [ Fm ] [ F#m ] [ Gm ] [ G#m ] [ Am ] [ A#m ] [ Bm ]

上記24種類のコードがボタン表示されています。

コードボタンをクリックしていくと、  
「コード表示エリア」のコード入力ボックスに

1小節から順にコード入力されます。

小節ごとにコードを設定します。



1小節に2つのコードを付ける曲の場合は、

1小節の分解能(最大音符数)※を「32」を選択します。

※詳細は12ページ

#### 【 クリア 】

設定されている後ろのコードから順にクリアしていきます。

## 画面・各部の説明

### 4 コード表示エリア

#### ①コード入力位置表示ボックス(インジケータ)



#### ②コード入力ボックス

#### ③ 固定設定ボタン

#### ①コード入力位置表示ボックス(インジケータ)

茶色に表示されているところをクリックすると緑色に変わります。

クリック！



緑色表示の状態、コードボタンをクリックすると、この小節にコードが入力されます。選択した小節のコード変更ができます。  
緑色の位置が一番右端にあるときは、コードボタンをクリックすると、曲の終了位置にコードが追加され、曲が長くなっていきます。

#### ②コード入力ボックス

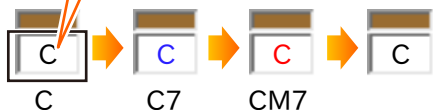
コードボタンをクリックすると、ここにコードが入力されます。

1番先に1小節目のコードが表示され、順に右方向に小節が増えていきます。

ここを**左クリック**すると・・・

表示されているコードの色が青・赤・黒と変化します。  
色が変わるとコードが変化します。

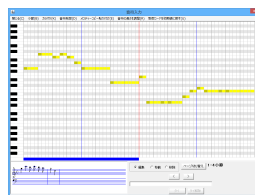
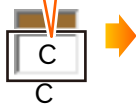
左クリック！



ここを**右クリック**すると・・・

「音符入力」画面が表示されます。  
クリックした小節部分を表示します。

右クリック！



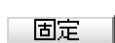
#### ③ 固定設定ボタン

メロディーが変更されないように固定するボタンです。固定にすると、自動作曲機能が適用されません。

16分解能の場合は1ボタンで2小節分、32分解能の場合は1ボタンで1小節分になります。



クリックするごとに切り替わります



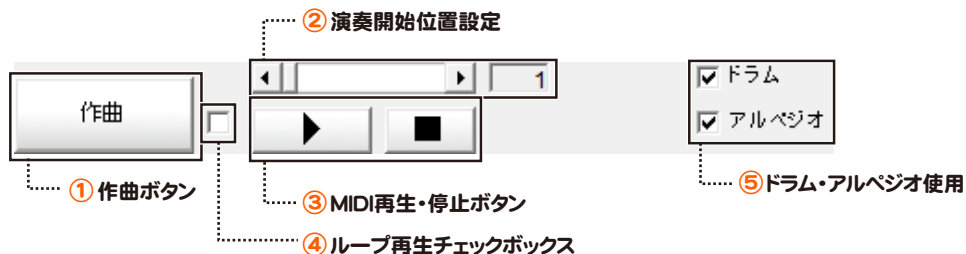
作曲 ボタンをクリックしてもその小節のメロディーは変わりません。



作曲 ボタンをクリックすると、その小節のメロディーは自動作曲されます。

## 画面・各部の説明

### 5 MIDIファイル編集設定



#### ① 作曲ボタン



クリックすると、曲が更新されます。  
各種設定を変更したら、曲を聴く前にボタンをクリックします。

#### ② 演奏開始位置設定

つまみをドラッグして、演奏(MIDIファイル)開始位置の小節番号を設定します。

#### ③ MIDI再生・停止ボタン



再生中、左側には小節数、右側には演奏時間(秒)が表示されます。

小節表示は、分子は現在演奏されている小節、  
分母は全小節数です。



MIDIファイルの曲を再生します。



再生中のMIDIファイルの曲を停止します。

#### ④ ループ再生チェックボックス

チェックを入れると、MIDIファイルの曲を繰り返し再生します。

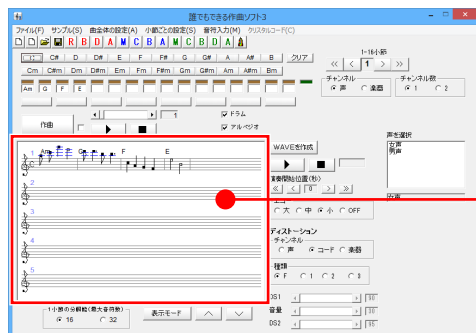
#### ⑤ ドラム・アルペジオ使用

ドラムとアルペジオを使用する場合は、クリックしてチェックマークを入れます。

作曲 ボタンをクリックするとMIDIファイルが更新されます。

## 画面・各部の説明

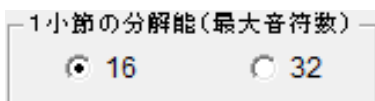
### 6 楽譜表示エリア



#### 楽譜表示エリア

設定したコードや音符が楽譜に表示されます。  
曲の変更が更新されると、  
楽譜の表示が変わります。

### 7 楽譜表示設定



#### 1小節の分解能(最大音符数)

○をクリックして、1小節に使用できる最大音符数を選択します。  
1小節に2つのコードを付ける曲の場合は、「32」を選択します。

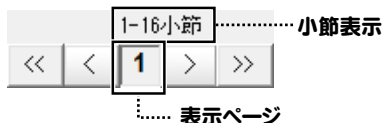
#### 表示モード

楽譜の高音部だけを表示するか、低音部も一緒に表示するかを選択します。

#### ^^ 楽譜表示切替ボタン

長い楽譜を作成した場合に画面外の楽譜を表示します。

### 8 ページ選択ボタン



#### 小節表示

現在表示されているページの小節番号の範囲を表示します。

<<

現在表示されているページから10ページ単位で前ページを表示します。

<

現在表示されているページのひとつ前のページを表示します。

表示ページ

現在表示されているページ数を表示します。

>

現在表示されているページのひとつ後のページを表示します。

>>

現在表示されているページから10ページ単位で後ろのページを表示します。



## 画面・各部の説明

### 9 チャンネル設定

チャンネル <input checked="" type="radio"/> 声 <input type="radio"/> 楽器	チャンネル数 <input checked="" type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2
--	--

声のメロディー



楽器のメロディー



#### チャンネル

○をクリックして、編集するチャンネル「声／楽器」を選択します。




#### チャンネル数

メロディーに「声」だけを使う場合はチャンネル数を「1」にします。

メロディーに「声」と「楽器」を使う場合はチャンネル数を「2」にします。

メロディーに「声」と「楽器」を使う曲でも、一時的に「声」だけを試聴したい場合などはチャンネル数を「1」にします。

### 10 WAVEファイル編集設定

WAVEを作成	WAVEファイル作成状況表示ボックス
  	
演奏開始位置(秒) 0	
エコー <input type="radio"/> 大 <input type="radio"/> 中 <input checked="" type="radio"/> 小 <input type="radio"/> OFF	

#### WAVEを作成ボタン

MIDIファイルと歌詞データ、設定した音色などを元にWAVEファイルを作成します。



WAVEファイル再生ボタン

WAVEファイルで作られた曲を再生します。



WAVEファイル停止ボタン

再生中(WAVEファイルの曲)を停止します。

作成中	完了
-----	----

#### WAVEファイル作成状況表示ボックス

「WAVEを作成」ボタンをクリック後、ファイルの作成状況を表示します。

#### 演奏開始位置(秒)

WAVEファイルの演奏開始位置を秒単位で設定します。

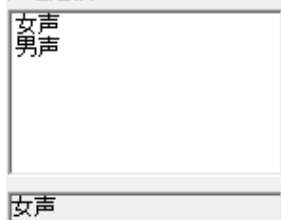
#### エコー

歌声にエコーをかけます。エコーのレベルは、大中小の3段階とOFFで設定します。

## 画面・各部の説明

### 11 声を選択

声を選択



3種類の声の中から、使用する声を選択します。  
選択しているファイル名は、下に表示されます。

### 12 ディストーション設定

ディストーション

チャンネル

☐ 声 ☒ コード ☐ 楽器

種類

☒ F ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3

DS1

音量

DS2

ディストーション

歪みを発生させて、音色を加工する効果のことをいいます。

チャンネル

ディストーションを設定する項目を選択します。

「○歌声 ○コード ○楽器」の○をクリックして選択します。

種類

○をクリックして、使用するディストーションを選択します。

F…ディストーションを使わない場合

1…ディストーション1(DS1)を使う場合

2…ディストーション2(DS2)を使う場合

※音量の設定はありません。

3…ディストーション1(DS1)と2(DS2)を同時に使う場合

※音量設定は、DS1のみに有効

DS1

つまみをドラッグ、もしくは◀▶をクリックして、ディストーション1(DS1)の振幅を調節します。

波形の上下をカットすることで、「ギューン」というサウンドを作ります。

(ギターに使うディストーションと同じ原理です)

波形の上下をカットするため振幅が小さくなりますが、カット後に元の波形と同じ大きさに増幅します。

そのため、音が大きくなりすぎる場合は「音量」で調整してください。

音量

つまみをドラッグ、もしくは◀▶をクリックして、ディストーション1(DS1)の音量を調節します。

※ディストーション2(DS2)には、音量の設定はありません。

DS2

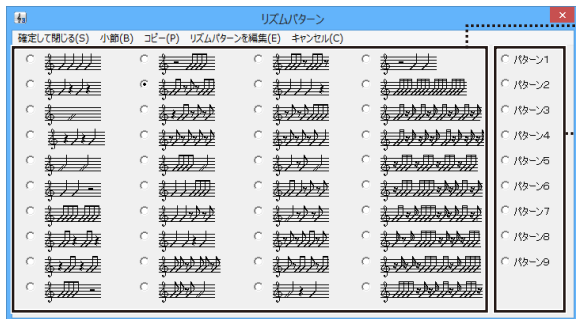
つまみをドラッグ、もしくは◀▶をクリックして、ディストーション2(DS2)の振幅を調節します。

解像度を粗くすることで、「ガサガサッ」というサウンドを作ります。

## 画面・各部の説明

### リズムパターン画面

[曲全体の設定]メニュー→[リズム]を選択します。



収録リズムパターン一覧

パターン1～9

#### 確定して閉じる

選択したリズムパターンを確定して画面を閉じます。

#### 小節

「小節(範囲指定)」画面を表示します。(画面の詳細は下記をご覧ください)

リズムパターンを設定する小節範囲を設定します。

#### コピー

収録している40種類のリズムパターンを、パターン1～9にコピーして編集できます。

#### リズムパターン編集

「リズムパターンを編集」画面を表示します。(画面詳細は16ページをご覧ください)

パターン1～9のリズムパターンを編集します。

#### キャンセル

リズムパターンの変更をキャンセルして画面を閉じます。

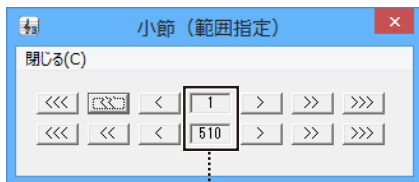
#### 収録リズムパターン一覧

40種類のリズムパターンが表示されています。使用するリズムパターンを選択します。

#### パターン1～9

「リズムパターン編集」で作成したパターンを使用する時に選択します。

### 「小節(範囲指定)」画面



小節番号

#### 閉じる

範囲指定した小節に、選択しているパターンを確定して画面を閉じます。

<<< >>>

小節番号の表示を、100単位で切り替えます。

<< >>

小節番号の表示を、10単位で切り替えます。

< >

小節番号の表示を、1つ前、1つ後ろにします。

#### 小節番号

上段に範囲指定の始まり、下段に範囲指定の終わりを設定します。

上段は、下段より大きい数値は設定できません。

## 画面・各部の説明

### リズムパターンを編集画面

[曲全体の設定]メニュー→[リズム]→[リズムパターンを編集]を選択します。



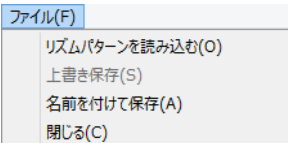
点灯表示 (編集『青』)・コピー『赤』

パターン番号ボタン

コピーボタン

1小節分の編集画面が表示されます。

#### ファイルメニュー



#### リズムパターンを読み込む

他のファイルで作成・保存したリズムパターンなどを読み込みます。(拡張子 .rh4)

※現在表示しているパターンに読み込みます。

9種類まとめて読み込むことはできません。

#### 上書き保存

現在表示しているリズムパターンデータに上書き保存します。

#### 名前を付けて保存

現在表示しているリズムパターンデータを名前を付けて保存します。

※現在表示しているパターンのみ保存します。

9種類まとめて保存することはできません。

#### 閉じる

「リズムパターンを編集」画面を閉じます。

**黒点** 音がです。演奏位置をクリックするごとに、表示/非表示になります。

**クリア** 表示しているパターンの黒点をすべて消去します。

▶ 表示しているリズムパターンを再生します。

■ 再生を停止します。

#### 点灯表示 (編集『青』)・コピー『赤』

現在編集しているパターンは、青色 ■ になります。

コピーボタン(C)をクリックすると赤色 ■ になります。

#### パターン番号ボタン

編集するパターン番号ボタンをクリックして表示します。

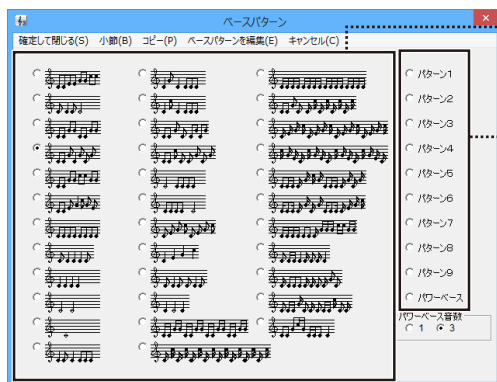
#### コピー(C)ボタン

パターン番号のとなりにあるコピー(C)ボタンをクリックすると、その番号のリズムパターンをコピーします。コピー先の番号をクリックするとリズムパターンがコピーされます。

## 画面・各部の説明

### ベースパターン画面

[曲全体の設定]メニュー→[ベース]を選択します。



### 収録ベースパターン一覧

パターン1～9／パワーベース

#### 確定して閉じる

選択したベースパターンを確定して画面を閉じます。

#### 小節

「小節(範囲設定)」画面を表示します。(画面の詳細は15ページをご覧ください)

ベースパターンを設定する小節範囲を設定します。

#### コピー

収録している35種類のベースパターンを、パターン1～9にコピーして編集できます。

#### ベースパターン編集

「ベースパターンを編集」画面を表示します。(画面詳細は18ページをご覧ください)

パターン1～9／パワーベースのベースパターンを編集します。

#### キャンセル

ベースパターンの変更をキャンセルして画面を閉じます。

#### 収録ベースパターン一覧

35種類のベースパターンが表示されています。使用するベースパターンを選択します。

#### パターン1～9

「ベースパターン編集」で作成したベースパターンを使用する時に選択します。

#### パワーベース

複雑でパワフルなベースパターンを自動的に作成します。

パワーベースを選択している間は、「作曲」ボタンをクリックすると、前回とは違うベースパターンが演奏されます。

気に入ったベースパターンが出てくるまで、何回か「作曲」ボタンと再生ボタンをクリックしてください。

気に入ったベースパターンは、パターン1～9に保存できます。

#### パワーベース音数

○をクリックして、パワーベース使用時のベースの構成音の数を設定します。

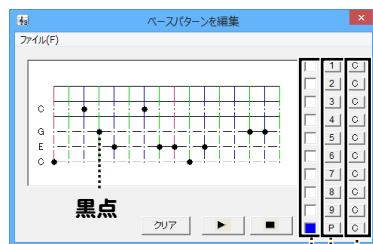
○1 例:Cコードの演奏の時は、3オクターブと4オクターブの「ド」を使います。

○3 例:Cコードの演奏の時は、3オクターブと4オクターブの「ド」「ミ」「ソ」を使います。

## 画面・各部の説明

### ベースパターンを編集画面

[曲全体の設定]メニュー→[ベース]→[ベースパターンを編集]を選択します。



点灯表示 (編集『青』)・コピー『赤』

パターン番号ボタン...

コピーボタン

1小節分の編集画面が表示されます。

#### ファイル(F)

ベースパターンを読み込む(O)

上書き保存(S)

名前を付けて保存(A)

閉じる(C)

#### ベースパターンを読み込む

他のファイルで作成・保存したベースパターンなどを読み込みます。(拡張子 .be4)

※現在表示しているパターンに読み込みます。

9種類まとめて読み込むことはできません。

#### 上書き保存

現在表示しているベースパターンデータに上書き保存します。

#### 名前を付けて保存

現在表示しているベースパターンデータを名前を付けて保存します。

※現在表示しているパターンのみ保存します。

9種類まとめて保存することはできません。

#### 閉じる

「ベースパターンを編集」画面を閉じます。

**黒点** 音がです。演奏位置をクリックするごとに、表示/非表示になります。

**クリア** 表示しているパターンの黒点をすべて消去します。

▶ 表示しているベースパターンを再生します。

■ 再生を停止します。

#### 点灯表示 (編集『青』)・コピー『赤』

現在編集しているパターンは、青色 ■ になります。

コピーボタン(C)をクリックすると赤色 ■ になります。

#### パターン番号ボタン

編集するパターン番号ボタンをクリックして表示します。

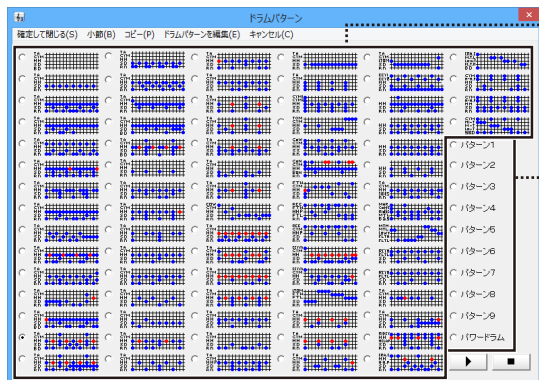
#### コピー(C)ボタン

パターン番号のとなりにあるコピー(C)ボタンをクリックすると、その番号のベースパターンをコピーします。コピー先の番号をクリックするとベースパターンがコピーされます。

## 画面・各部の説明

### ドラムパターン画面

[曲全体の設定]メニュー→[ドラム]を選択します。



収録ドラムパターン一覧

パターン1～9/パワードラム

#### 確定して閉じる

選択したドラムパターンを確定して画面を閉じます。

#### 小節

「小節(範囲設定)」画面を表示します。(画面の詳細は15ページをご覧ください)

ドラムパターンを設定する小節範囲を指定します。

#### コピー

収録している79種類のドラムパターンを、パターン1～9にコピーして編集できます。

#### ドラムパターン編集

「ドラムパターンを編集」画面を表示します。(画面詳細は20ページをご覧ください)

パターン1～9/パワードラムのドラムパターンを編集します。

#### キャンセル

ドラムパターンの変更をキャンセルして画面を閉じます。

#### 収録ドラムパターン一覧

79種類のドラムパターンが表示されています。使用するドラムパターンを選択します。

#### パターン1～9

「ドラムパターン編集」で作成したドラムパターンを使用する時に選択します。

#### パワードラム

複雑でパワフルなドラムパターンを自動的に作成します。

パワードラムを選択している間は、「作曲」ボタンをクリックすると、前回とは違うドラムパターンが演奏されます。

気に入ったドラムパターンが出てくるまで、何回か「作曲」ボタンと再生ボタンをクリックしてください。

気に入ったドラムパターンは、パターン1～9に保存できます。



選択しているドラムパターンを再生します。



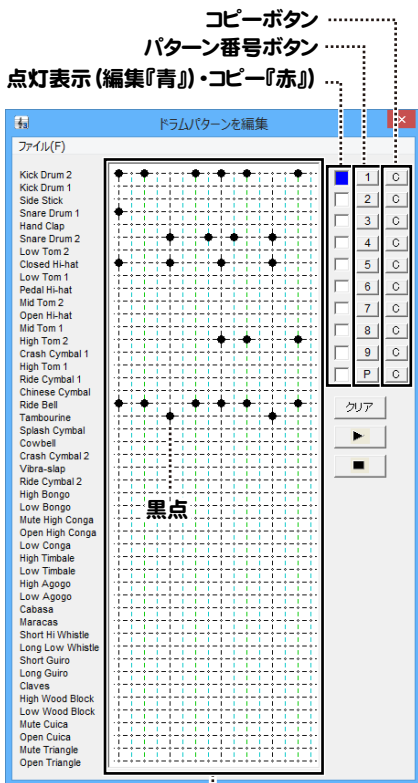
再生中のドラムパターンを停止します。



## 画面・各部の説明

### ドラムパターンを編集画面

[曲全体の設定]メニュー→[ドラム]→[ドラムパターンを編集]を選択します。



ドラムパターン表示・編集エリア

1小節分の編集画面が表示されます。

#### ファイル(F)

ドラムパターンを読み込む(O)

上書き保存(S)

名前を付けて保存(A)

閉じる(C)

#### ドラムパターンを読み込む

他のファイルで作成・保存したドラムパターンなどを読み込みます。(拡張子 .de4)

※現在表示しているパターンに読み込みます。

9種類まとめて読み込むことはできません。

#### 上書き保存

現在表示しているドラムパターンデータに上書き保存します。

#### 名前を付けて保存

現在表示しているドラムパターンデータを名前を付けて保存します。

※現在表示しているパターンのみ保存します。

9種類まとめて保存することはできません。

#### 閉じる

「ドラムパターンを編集」画面を閉じます。

#### ドラムパターン表示・編集エリア

縦軸が「楽器」で、横軸が「時間」を表しています。

演奏位置クリックして、ドラムパターンを編集します。

**黒点** 音がでます。演奏位置をクリックすることにより、表示/非表示になります。

**クリア** 表示している黒点をすべて消去します。

▶ 表示しているドラムパターンを再生します。

■ 再生を停止します。

#### 点灯表示 (編集『青』・コピー『赤』)

現在編集しているパターンは、青色 ■ になります。

コピーボタン(C)をクリックすると赤色 ■ になります。

その番号のドラムパターンをコピーします。

#### パターン番号ボタン

編集するパターン番号ボタンをクリックして

ドラムパターン表示・編集エリアに表示します。

#### コピー(C)ボタン

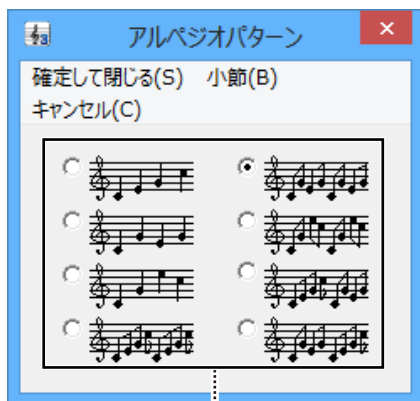
コピー(C)ボタンをクリックすると、そのパターン番号のドラムパターンをコピーします。

コピー先の番号をクリックするとコピーしたドラムパターンが貼り付けられています。

## 画面・各部の説明

### アルペジオパターン画面

[曲全体の設定]メニュー→[アルペジオ]を選択します。



アルペジオパターン一覧

1小節分のアルペジオパターンの種類を表示します。

#### 確定して閉じる

選択したアルペジオパターンに確定して画面を閉じます。

#### 小節

「小節(範囲指定)」画面を表示します。

(画面の詳細は15ページをご覧ください)

アルペジオパターンを設定する小節範囲を指定します。

#### キャンセル

アルペジオパターンを変更せずに画面を閉じます。

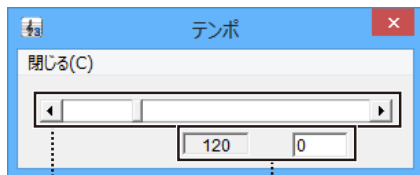
#### アルペジオパターン一覧

8種類のアルペジオパターンが表示されています。

使用するアルペジオパターンの○をクリックして選択します。

### テンポ画面

[曲全体の設定]メニュー→[テンポ]を選択します。



テンポ表示欄

テンポ調節バー

#### 閉じる

調節したテンポ数を確定して、画面を閉じます。

#### テンポ調節バー

つまみをドラッグで左右に移動して、テンポ速度を調節します。

#### テンポ表示欄

テンポ調節バーで調節したテンポ表示欄が表示されます。右の入力欄でテンポの小数点を設定できます。

## 画面・各部の説明

### 音色画面

[曲全体の設定]メニュー→[音色]→[メロディー]

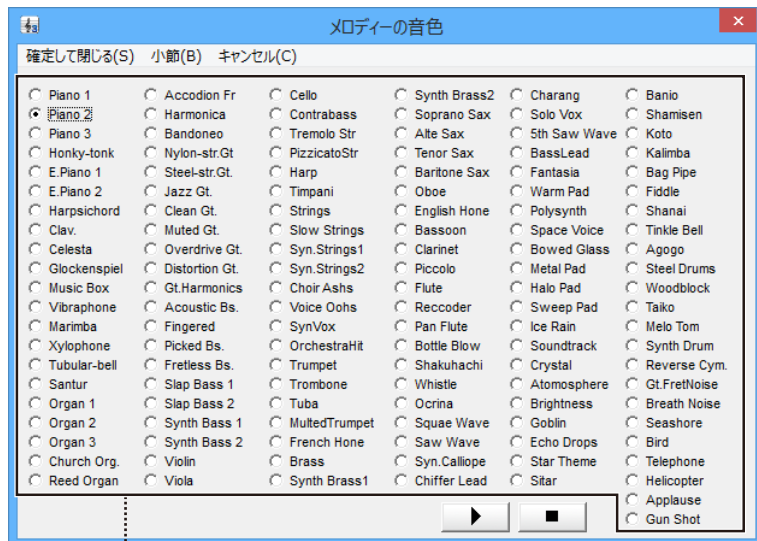
→[コード]

→[ベース]

→[アルペジオ] を選択します。

#### 例：メロディーの音色画面

※コード・ベース・アルペジオを選択した場合も同様の画面になります。



#### 音色一覧

#### 確定して閉じる

選択した音色を確定して画面を閉じます。

#### 小節

「小節(範囲指定)」画面を表示します。(画面の詳細は15ページをご覧ください)

音色を設定する小節範囲を指定します。

#### キャンセル

音色の変更をせずに画面を閉じます。



選択している音色を再生します。



再生を停止します。

#### 音色一覧

楽器の音色を128種類表示しています。

好きな楽器を選択して「確定して閉じる」をクリックします。

## 画面・各部の説明

### 音量画面

[曲全体の設定]メニュー→[音量]→[メロディー]

→[コード]

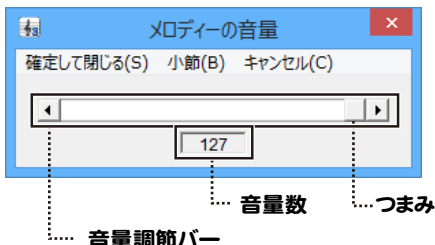
→[ベース]

→[ドラム]

→[アルペジオ] を選択します。

#### 例：メロディーの音量画面

※コード・ベース・ドラム・アルペジオを選択した場合も同様の画面になります。



#### 確定して閉じる

調節した音量を確定して画面を閉じます。

#### 小節

「小節(範囲指定)」画面を表示します。  
(画面の詳細は15ページをご覧ください)  
音量を設定する小節範囲を指定します。

#### キャンセル

音量の変更をせずに画面を閉じます。

#### 音量調節バー

つまみを左右にドラッグ(左クリックしたままマウスを移動)して、音量を調節します。

#### 音量数

音量調節バーで調節した音量数が表示されます。  
(0～127の間で設定)

### ステレオ画面

[曲全体の設定]メニュー→[ステレオ]→[メロディー]

→[コード]

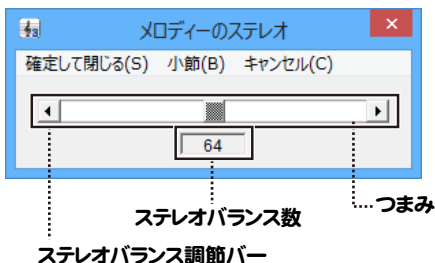
→[ベース]

→[ドラム]

→[アルペジオ] を選択します。

#### 例：メロディーのステレオ画面

※コード・ベース・ドラム・アルペジオを選択した場合も同様の画面になります。



#### 確定して閉じる

調節したステレオバランスを確定して画面を閉じます。

#### 小節

「小節(範囲指定)」画面を表示します。  
(画面の詳細は15ページをご覧ください)  
ステレオバランスを設定する小節範囲を指定します。

#### キャンセル

ステレオバランスの変更をせずに画面を閉じます。

#### ステレオバランス調節バー

つまみを左右にドラッグ(左クリックしたままマウスを移動)して、ステレオバランスを調節します。

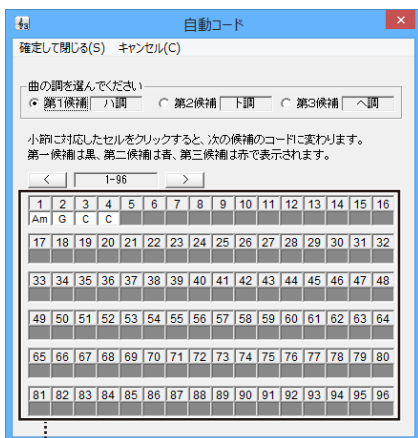
#### ステレオバランス数

ステレオバランス調節バーで調節したバランス数が表示されます。(0～127の間で設定)

## 画面・各部の説明

### 自動コード画面

[曲全体の設定]メニュー→[自動コード]を選択します。



... 小節のコード表示

この画面では、メロディーに合ったコード(和音)を自動でつけることができます。

#### 確定して閉じる

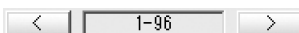
選択した自動コードを確定して画面を閉じます。

#### キャンセル

自動コードの変更を確定せずに画面を閉じます。

#### 曲の調を選んでください

○第一候補 ○第二候補 ○第三候補から○をクリックして、使用する曲の調を選びます。曲の調を変更すると、「小節のコード表示」全体のコードが変更されます。



< > ボタンをクリックして、小節番号のページ表示を切り替えます。

6ページ(1～510小節分)まで表示されます。

#### 小節のコード表示

##### 小節番号



##### コード

##### 小節番号

小節番号を表示します。

##### コード

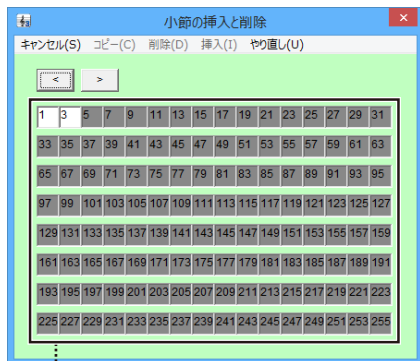
曲の調を変更すると、コード表示が変わります。

コードの枠内を1回クリックすると、第2候補のコード、2回クリックすると、第3候補のコードに変更されます。

## 画面・各部の説明

### 小節の挿入と削除画面

[曲全体の設定]メニュー→[小節の挿入と削除]を選択します。  
チャンネルが「声」の時に使用可能な機能です。



小節表示

曲に前奏をつけたい時や、曲を繰り返したい時などに使用すると便利です。

#### キャンセル

小節の挿入と削除をキャンセルして画面を閉じます。

#### コピー

選択した小節をコピーします。

#### 削除

選択した小節を削除します。

#### 挿入

コピーした小節を選択した小節に挿入します。

#### やり直し

小節の選択を解除します。



ボタンをクリックして、小節番号のページ表示を切り替えます。

9ページ(1～509小節分)まで表示されます。

#### 小節表示

小節番号が表示されます。

ピンク色:小節番号をクリックして、小節が選択された状態の時、ピンク色になります。

小節のコピーや削除ができます。

黄色:小節を選択した(ピンク色)の後、

挿入先の小節番号をクリックすると黄色になります。

※小節の分解能が16に設定してある場合は、2小節ごとの処理になります。

小節の分解能が32に設定してある場合は、1小節ごとの処理になります。

※タイを設定している時

前の小節から次の小節に音符がタイによって続いている場合、タイが解除され次の小節の頭は休符になりますが、「音符入力」で、次の小節の頭の休符を外すと、再びタイが付いた状態になります。

## 画面・各部の説明

### コードを作成画面

[曲全体の設定]メニュー→[コードを作成]を選択します。



コード表示セル

#### 閉じる

コードを作成画面を閉じます。

#### コード名

任意のコード名を入力して、新規コードの名前を設定します。

※コード名は、半角文字で8文字以内にしてください。

#### コード調節欄

新規コードのコード内容を調節します。

※コードの構成音は、必ず4音で作らなくてはなりません。

※4オクターブの「C」(ド)から6オクターブの

「B」(シ)までを使います。

#### コードを表示

新規コードには名前を付け、0～999までの番号が割り振られます。

例えば、1つ目の新規コードは「0」の番号に登録されますので、2つ目の新しいコードを作る場合は、数字を「1」にしてコード名を書き込み、構成音を選択します。

#### 名前順に並べ替え

コード名をアルファベット順に並べ替えます。

#### コピー

現在表示しているコードを、入力欄に入力した登録番号にコピーします。

#### 小節切り替え

小節番号のページを切り替えます。

1～510小節を表示します。

#### コード表示セル

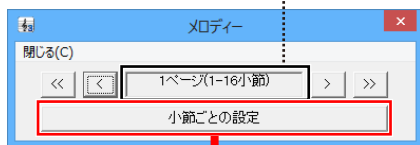
作成したコードを楽譜に読み込みます。入力欄に作成したコード名を入力して、楽譜に反映させます。



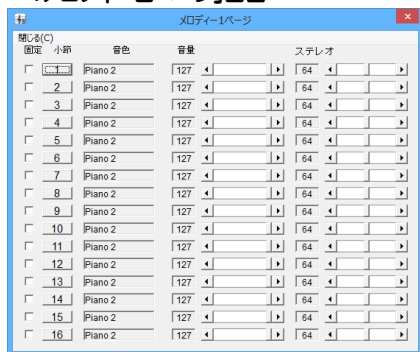
## 画面・各部の説明

### 小節ごとの設定 メロディー画面

#### 設定する小節範囲



[小節ごとの設定]ボタンをクリック  
→「メロディー〇ページ」画面



[小節ごとの設定]メニュー→[メロディー]を選択します。

#### 閉じる

メロディー画面を閉じます。



1回クリックするごとに、10ページ単位で表示を切り替えます。



1回クリックするごとに、1ページずつ表示を切り替えます。

#### 設定する小節範囲

設定する小節範囲を表示しています。

#### 小節ごとの設定

「設定する小節範囲」で表示しているページの小節を個々に設定する画面を表示します。(下記参照)

#### 閉じる

「メロディー〇ページ」画面を閉じます。

#### 固定

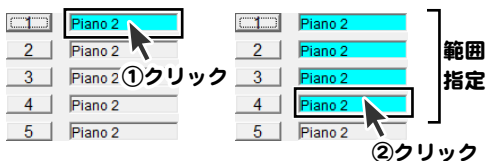
チェックを入れると、曲全体の設定などで設定が変更されないように、設定を固定します。

#### 小節

クリックすると、メロディーの音色画面を表示して、1小節ごとまたは指定した範囲の音色の変更ができます。(音色画面の詳細は22ページ)

#### 音色

現在設定されている音色の種類が表示されています。クリック操作で範囲指定して音色を変更することができます。



#### 音量

現在設定されている音量の数値が表示されています。調節バーのつまみをドラッグ(左クリックしたままマウスを移動)して音量を設定します。

#### ステレオ

現在設定されているステレオバランスの数値が表示されています。

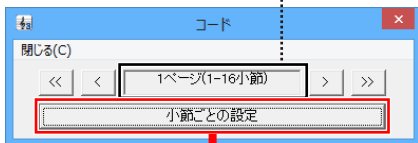
調節バーのつまみをドラッグ(左クリックしたままマウスを移動)してステレオバランスを設定します。

## 画面・各部の説明

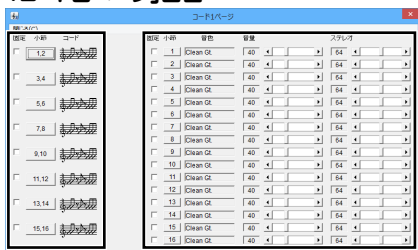
### 小節ごとの設定 コード画面

[小節ごとの設定]メニュー→[コード]を選択します。

#### 設定する小節範囲



[小節ごとの設定]ボタンをクリック  
「コードロページ」画面



リズムパターン 音色・音量・ステレオ設定

#### 閉じる

コード画面を閉じます。



1回クリックするごとに、10ページ単位で表示を切り替えます。



1回クリックするごとに、1ページずつ表示を切り替えます。

#### 設定する小節範囲

設定する小節範囲を表示しています。

#### 小節ごとの設定

「設定する小節範囲」で表示しているページの小節を個々に設定する画面を表示します。(下記参照)

#### 閉じる

「コードロページ」画面を閉じます。

#### リズムパターン

##### 固定

曲全体の設定などで設定が変更されないように、チェックを入れて設定を固定します。

##### 小節

クリックすると、リズムパターン画面を表示します。

コードのリズムを変更できます。

(リズムパターン画面の詳細は15ページ)

##### コード

現在設定されているリズムを表示しています。

#### 音色・音量・ステレオ設定

##### 固定

曲全体の設定などで設定が変更されないように、チェックを入れて設定を固定します。

##### 小節

クリックすると、コードの音色画面を表示します。

コードの音色を変更できます。

(音色画面の詳細は22ページ)

##### 音色

現在設定されている音色の種類が表示されています。

クリック操作で範囲指定して音色を変更することができます。(27ページ参照)

##### 音量

##### ステレオ

メロディーと同様です。

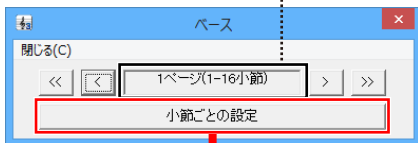
27ページをご参照ください。

## 画面・各部の説明

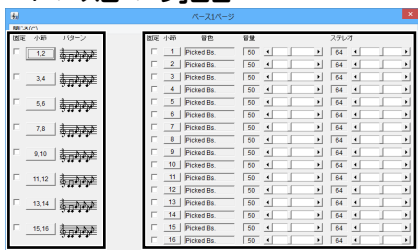
### 小節ごとの設定 ベース画面

[小節ごとの設定]メニュー→[ベース]を選択します。

#### 設定する小節範囲



[小節ごとの設定]ボタンをクリック  
→「ベース□ページ」画面



#### ベースパターン 音色・音量・ステレオ設定

#### 閉じる

ベース画面を閉じます。



1回クリックするごとに、10ページ単位で表示を切り替えます。



1回クリックするごとに、1ページずつ表示を切り替えます。

#### 設定する小節範囲

設定する小節範囲を表示しています。

#### 小節ごとの設定

「設定する小節範囲」で表示しているページの小節を  
個々に設定する画面を表示します。(下記参照)

#### 閉じる

「ベース□ページ」画面を閉じます。

#### ベースパターン

##### 固定

曲全体の設定などで設定が変更されないように、  
チェックを入れて設定を固定します。

##### 小節

クリックすると、ベースパターン画面を表示します。

ベースパターンを変更できます。

(ベースパターン画面の詳細は17ページ)

##### パターン

現在設定されているベースパターンを表示しています。

#### 音色・音量・ステレオ設定

##### 固定

曲全体の設定などで設定が変更されないように、  
チェックを入れて設定を固定します。

##### 小節

クリックすると、ベースの音色画面を表示します。

ベースの音色を変更できます。

(音色画面の詳細は22ページ)

##### 音色

現在設定されている音色の種類が表示されています。

クリック操作で範囲指定して音色を変更することが  
できます。(27ページ参照)

##### 音量

メロディーと同様です。

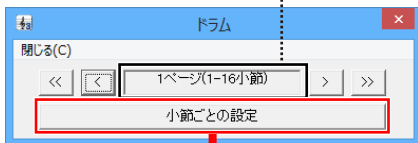
ステレオ } 27ページをご参照ください。

## 画面・各部の説明

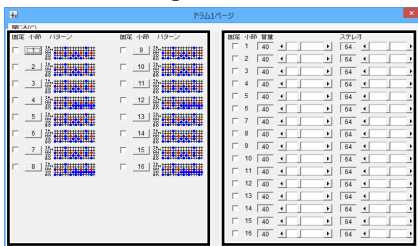
### 小節ごとの設定 ドラム画面

[小節ごとの設定]メニュー→[ドラム]を選択します。

#### 設定する小節範囲



[小節ごとの設定]ボタンをクリック  
→「ドラム□ページ」画面



ドラムパターン

音量・ステレオ設定

#### 閉じる

ドラム画面を閉じます。



1回クリックするごとに、10ページ単位で表示を切り替えます。



1回クリックするごとに、1ページずつ表示を切り替えます。

#### 設定する小節範囲

設定する小節範囲を表示しています。

#### 小節ごとの設定

「設定する小節範囲」で表示しているページ(小節範囲)を個々に設定する画面を表示します。(下記参照)

#### 閉じる

「ドラム□ページ」画面を閉じます。

#### ドラムパターン

##### 固定

曲全体の設定などで設定が変更されないように、チェックを入れて設定を固定します。

##### 小節

クリックすると、ドラムパターン画面を表示します。

ドラムパターンを変更できます。

(ドラムパターン画面の詳細は19ページ)

##### パターン

現在設定されているドラムパターンを表示しています。

#### 音量・ステレオ設定

##### 固定

曲全体の設定などで設定が変更されないように、チェックを入れて設定を固定します。

##### 小節

小節番号が表示されます。

##### 音量

##### ステレオ

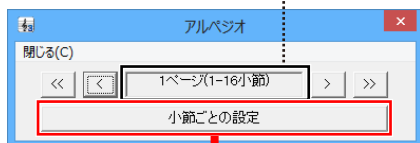
メロディーと同様です。

27ページをご参照ください。

## 画面・各部の説明

### 小節ごとの設定 アルペジオ画面

#### 設定する小節範囲



[小節ごとの設定]ボタンをクリック  
→「アルペジオ0ページ」画面



アルペジオパターン 音色・音量・ステレオ設定

[小節ごとの設定]メニュー→[アルペジオ]を選択します。

#### 閉じる

コード画面を閉じます。



1回クリックするごとに、10ページ単位で表示を切り替えます。



1回クリックするごとに、1ページずつ表示を切り替えます。

#### 設定する小節範囲

設定する小節範囲を表示しています。

#### 小節ごとの設定

「設定する小節範囲」で表示しているページの小節を個々に設定する画面を表示します。(下記参照)

#### 閉じる

「アルペジオ0ページ」画面を閉じます。

#### アルペジオパターン

##### 固定

曲全体の設定などで設定が変更されないように、チェックを入れて設定を固定します。

##### 小節

クリックすると、アルペジオパターン画面を表示します。

アルペジオパターンを変更できます。

(アルペジオパターン画面の詳細は21ページ)

##### パターン

現在設定されているアルペジオパターンを表示しています。

#### 音色・音量・ステレオ設定

##### 固定

曲全体の設定などで設定が変更されないように、チェックを入れて設定を固定します。

##### 小節

クリックすると、アルペジオの音色画面を表示します。

アルペジオの音色を変更できます。

(音色画面の詳細は22ページ)

##### 音色

現在設定されている音色の種類が表示されています。

クリック操作で範囲指定して音色を変更することができます。(27ページ参照)

##### 音量

##### ステレオ

メロディーと同様です。

27ページをご参照ください。

## 画面・各部の説明

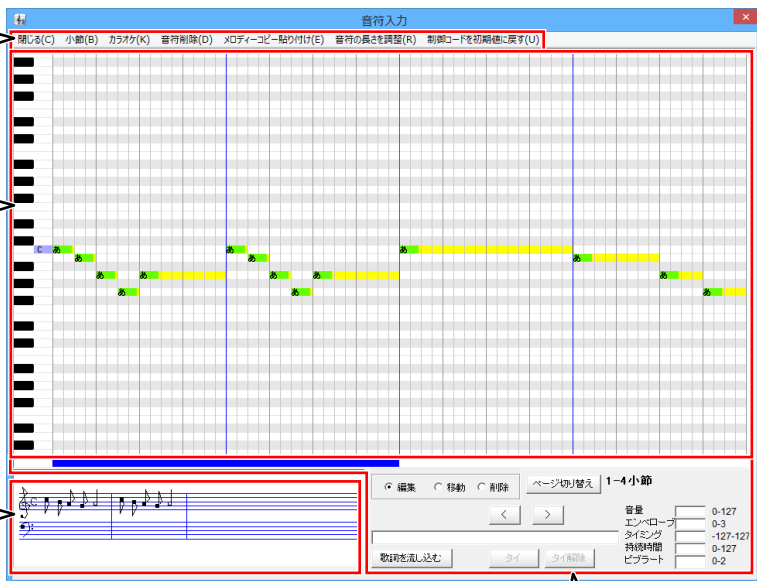
### 音符入力画面

メイン画面の[音符入力]メニューを選択すると表示されます。

#### 1 メニューバー

#### 2 音符表示・入力エリア

#### 4 五線譜



#### 3 音符入力・表示の設定欄

#### 1 メニューバー

閉じる(C) 小節(B) カラオケ(K) 音符削除(D) メロディーコピー貼り付け(E) 音符の長さを調整(R) 制御コードを初期値に戻す(U)

##### 閉じる

音符入力画面を閉じます。

##### 小節

小節の選択画面を開きます。編集する小節を選択します。(詳細は38ページをご覧ください)

##### カラオケ

「実行」を選択すると、曲全体の音符を削除します。※実行すると、元の状態に戻すことはできません。

##### 音符削除

「実行」を選択すると、音符入力エリアに表示されている音符を削除します。

※実行すると、元の状態に戻すことはできません。

##### メロディーコピー貼り付け

メロディーのコピー貼り付け画面を表示します。(詳細は38ページをご覧ください)

小節単位でメロディーのコピー・貼り付けができます。

##### 音符の長さを調整

音符の長さを調整画面を表示します。(詳細は39ページをご覧ください)

音符の長さを調整して3連符などを作ります。

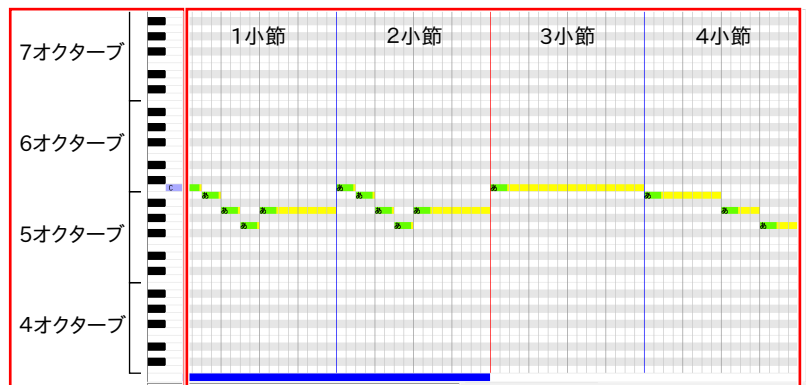
##### 制御コードを初期値に戻す

声の調整コードを初期値に戻します。

# 画面・各部の説明

## 2 音符表示・入力エリア

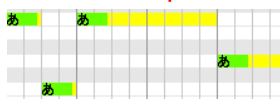
1小節の分解能が16の場合は4小節、32分解能の場合は2小節ずつ表示します。(下図は分解能16)



B	シ
A#	ラ#(シ)
A	ラ
G#	ソ#(ラ)
G	ソ
F#	ファ#(ソ)
F	ファ
E	ミ
D#	レ#(ミ)
D	レ
C#	ド#(レ)
C	ド

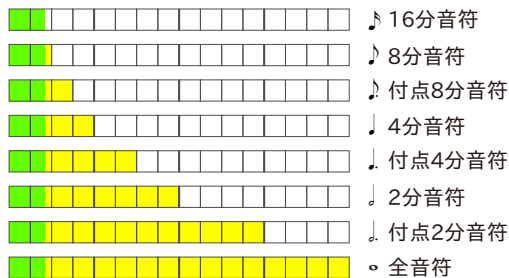
### コード 音階

※五線譜にはは記されず、  
#の音符で表記されます。

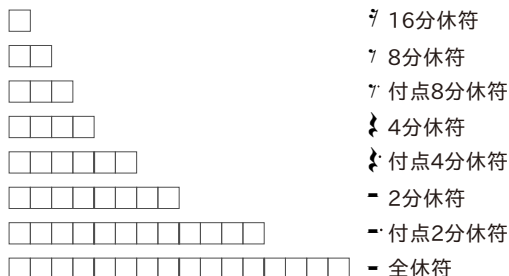


音符を入力、歌詞を表示をします。  
緑色と黄色の枠が音符の長さを  
表します。  
緑色の枠は歌詞が入ります。

1小節の分解能  
「16」の場合



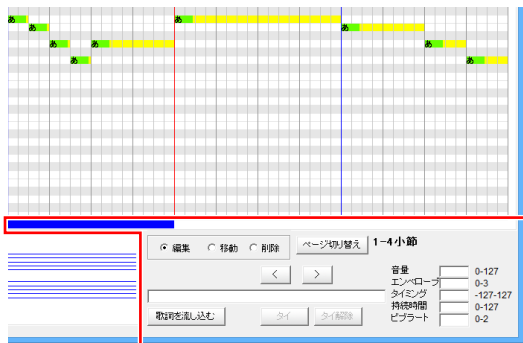
空白にすると、休符になります。





## 画面・各部の説明

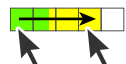
### 3 音符入力・表示の設定欄



#### 音符を入力・長さを変更する時



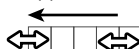
入力モードは「編集」を選択します。  
左から右へドラッグして音符を入力します。



音符の長さの末尾にマウスポインターを合わせて  
ドラッグすると、音符の長さを変更できます。



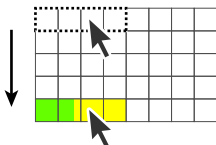
右にドラッグして音符を伸ばします。  
左にドラッグして音を短くします。  
一番左までドラッグすると音符を削除できます。



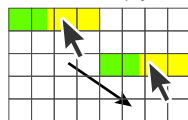
#### 音符を移動する時



入力モードは「移動」を選択します。  
音符の上にマウスポインターを合わせて  
ドラッグすると音符の位置を移動できます。



音符の上にマウスポインターを合わせて  
「Ctrl」キーを押しながらドラッグすると  
コピーされます。



#### 音符を削除する時



入力モードは「削除」を選択します。  
音符をクリックすると、セル単位で削除します。

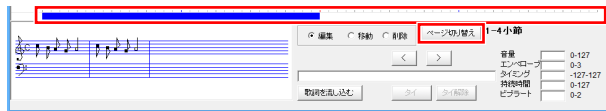
## 画面・各部の説明

### ページ切り替え

音符表示・入力エリアは、

青いバー  があるページを編集できます。

このボタンをクリックすると、青いバーが移動します。



ボタンを押すと前のページ、次のページを表示します。



### 歌詞を流し込む

音符入力・表示エリアの音符に歌詞をつけます。

入力欄に歌詞を入力して、**歌詞を流し込む** ボタンをクリックします。

入力欄には、全てひらがな、空白なしで書き込みます。

### タイ タイ解除

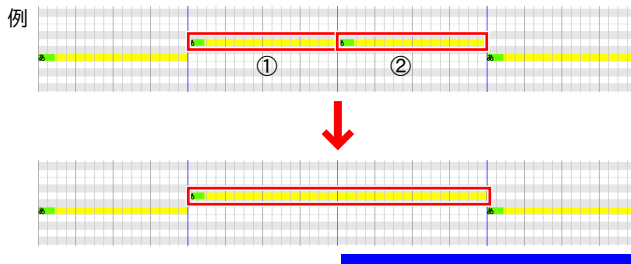
偶数小節の最後の音符と奇数小節の最初の音符をつなげます。

**タイ** ボタンは、画面中央の小節の最後の音符と最初の音符をつなげて1つの音符にします。

(中央の赤線の左右の音符)

**タイ解除** ボタンは、画面中央でつながった音符を2つの音符に分けます。

音符の編集は、[タイ解除]の状態で行ってください。



右側のページに切り替えて、**タイ** ボタンをクリックすると、

①と②の音がタイになります。

※タイとは、連続する2つの同じ高さの音符をつなげて演奏することをいいます。

## 画面・各部の説明

音量	<input type="text"/>	0-127
エンベロープ	<input type="text"/>	0-3
タイミング	<input type="text"/>	-127-127
持続時間	<input type="text"/>	0-127
ビブラート	<input type="text"/>	0-2

各音符には、声を調整するための制御コードがついています。  
音符表示・入力エリアの音符の上を右クリックすると、  
その音符の制御コードが画面の右下に表示されます。  
数値を更新する場合は、入力欄に数値を直接入力して書き換えます。

### 音量

音1つ1つに設定する音量です。  
セット可能な数値は、0～127です。(初期値は、127にセットされています)

### エンベロープ

音量の変化を決めます。  
セット可能な数値は、0～3です。(初期値は、3にセットされています)

- 0: 元の音を変えません。
- 1: 音の出だしが一番大きく、序所に減衰します。
- 2: 音の出だしは小さく、序所に大きくなり、再び減衰します。
- 3: 音の出だしは小さく、序所に大きくなります。

### タイミング

音の出だしのタイミングを設定します。  
セット可能な数値は、-127～127です。(初期値は、0にセットされています)

- 0より大きい値: 早いタイミングで音を出します。
- 0より小さい値: 遅いタイミングで音を出します。

### 持続時間

音の持続時間を設定します。  
セット可能な数値は、0～127です。(初期値は、100にセットされています)

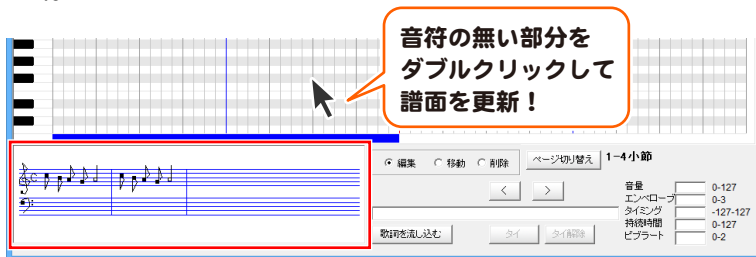
### ビブラート

母音にビブラートをかけます。  
セット可能な数値は、0～2です。(初期値は、0にセットされています)

- 0: はビブラートをかけません。
- 1: は浅いビブラートをかけます。
- 2: は深いビブラートをかけます。

## 画面・各部の説明

### 4 五線譜



音符入力・表示エリアの青いバーのあるページの音符を五線譜で表示します。  
更新するためには、音符の無い部分をダブルクリックします。

## 画面・各部の説明

### 小節の選択画面

音符入力画面の[小節]メニューを選択します。



選択小節表示

小節選択バー

#### 閉じる

小節の選択画面を閉じます。

#### 小節選択バー

両端の ◀ ▶ をクリックして表示する小節の範囲を設定します。

#### 選択小節表示

現在選択している小節を表示します。

### メロディーのコピー貼り付け画面

音符入力画面の[メロディーコピー貼り付け]メニューを選択します。



小節セル

#### 閉じる

メロディーのコピー貼り付け画面を閉じます。

#### 貼り付けのやり直し

1つ前の貼り付け作業をやり直します。

#### 小節セル

小節を一覧でセル表示します。

小節の分解能を16に設定してある場合は、2小節ごとにコピー貼り付けができます。

小節の分解能を32に設定してある場合は、1小節ごとにコピー貼り付けができます。

1	3	5	7	9	11	13	15	17
33	35	37	39	41	43	45	47	49
1	3	5	7	9	11	13	15	17
33	35	37	39	41	43	45	47	49

#### セルの色:白

コピー、貼り付けが可能な小節です。

#### セルの色:ピンク

セルを左クリックすると、ピンク色になります。コピー元になります。

#### セルの色:黄色

セルを右クリックすると、黄色になります。コピーしたメロディーが貼り付けられます。コピー元を何箇所にも貼り付けることができます。

## 画面・各部の説明

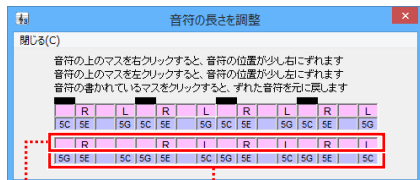
### 音符の長さを調整画面

音符入力画面の[音符の長さを調整]メニューを選択します。

音符の長さを少しだけ短く、または長くすることができます。(長さは3連符に対応)

この機能を使って3連符をつくることができます。

3連符だけでなく、メロディーの音符を早めたり遅らせたりすることで、曲に自然な揺らぎをつける効果があります。



音符の上のマス

音符のマス

#### 閉じる

「音符の長さを調整」画面を閉じます。

#### 音符の上のマス

音符の音の再生位置を右、もしくは左にずらすことができます。



..... R

ピンクのマスを右クリックすると、音符の音が少し遅れて再生されます。

楽譜では、音符が少し右に動き、紫色の音符になります。



..... L

ピンクのマスを左クリックすると、音符の音が少し早く再生されます。

楽譜では、音符が少し左に動き、緑色の音符になります。

#### 音符のマス

音符入力画面で入力された音符が表示されます。



..... このマスをクリックすると、ずらした音符を元に戻すことができます。

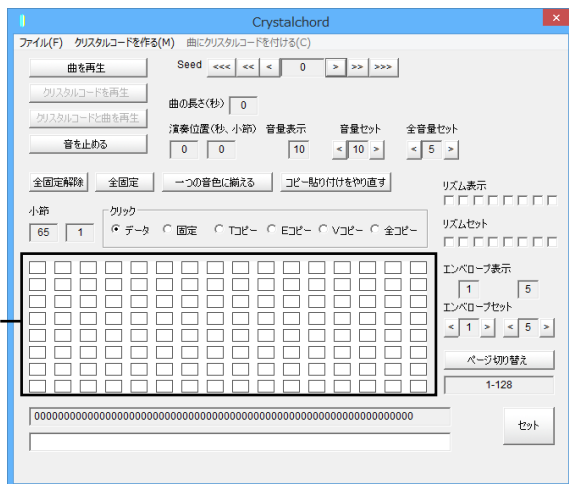
設定したL,Rの表示が消えます。



## 画面・各部の説明

### Crystalchord画面

WAVEファイルを作成してから、メイン画面の[クリスタルコード]メニューを選択します。



小節のアイコン表示

### ファイル(F) クリスタルコードを作る(M) 曲にクリスタルコードを付ける(C)

#### ファイル(F)

クリスタルコードを開く(O)  
名前を付けてクリスタルコードを保存(R)  
名前を付けてWAVEを保存(A)  
WAVEを上書き保存(S)  
終了(X)

#### クリスタルコードを開く

以前に作成、保存したクリスタルコードを開きます。

#### 名前を付けてクリスタルコードを保存

作成したクリスタルコードを名前を付けて保存します。

#### 名前を付けてWAVEを保存

クリスタルコードを付けた曲を、WAVE形式で名前を付けて保存します。

#### WAVEを上書き保存

クリスタルコードを付けたWAVE形式の曲に上書き保存します。

#### 終了

Crystalchord画面を閉じます。

#### クリスタルコードを作る(M)

#### クリスタルコードを作る

クリスタルコードを作成します。

**全固定解除** ボタン(41ページ)をクリックすると、全小節に新しい音色が作成されます。

**Seed** (41ページ)を変えると、違う音色を作成します。

#### 曲にクリスタルコードを付ける(C)

#### 曲にクリスタルコードを付ける

メイン画面で作った曲にクリスタルコードをつけて再生します。



## 画面・各部の説明

曲を再生

### 曲を再生

メイン画面で作った曲(WAVEファイル)を再生します。

クリスタルコードと曲を再生

### クリスタルコードと曲を再生

[曲にクリスタルコードを付ける]メニューで作成した曲を再生します。

Seed <<< << < 0 > >> >>>

### Seed

音色を作るための乱数の系列を選択します。  
数値を変更しながら、気に入った音色を見つめます。

演奏位置(秒、小節)

8 4

### 演奏位置(秒、小節)

再生中の「秒」と「小節」が表示されます。

音量セット

< 10 >

### 音量セット

各小節ごとに音量を設定します。  
[小節のアイコン表示](43ページ)内で選択した小節の音量を設定します。

クリスタルコードを再生

### クリスタルコードを再生

[クリスタルコードを作る]メニューで作成したクリスタルコード列を再生します。

音を止める

### 音を止める

再生中の曲を止めます。

曲の長さ(秒) 8

### 曲の長さ(秒)

曲の長さ(秒)を表示します。

音量表示

10

### 音量表示

[小節のアイコン表示](43ページ)内でマウスカーソルの位置にある小節の音量が表示されます。

全音量セット

< 5 >

### 全音量セット

メイン画面で作成した曲にクリスタルコードをつける時の音量のバランスの調節をします。  
[曲にクリスタルコードを付ける]メニューをクリックする前にセットすると、設定した音量が反映されます。

全固定

### 全固定

全小節の音色が固定されます。  
[クリスタルコードを作る]メニューをクリックしても音色は変わりません。

全固定解除

### 全固定解除

全小節に対して、確定している[音色]を無効にします。  
[全固定解除]ボタンをクリックして、  
[クリスタルコードを作る]メニューをクリックすると、  
全小節に新しい音色が作成されます。

## 画面・各部の説明

一つの音色に揃える

### 一つの音色に揃える

ある1つの小節の音色を全小節にコピーします。  
まず[クリック]内の[Tコピー]を選択し、  
[小節のアイコン表示]内でコピーする小節のアイコンを  
クリックし、一つの音色に揃える ボタンをクリックします。

小節

115 1

### 小節

左のボックス: [小節のアイコン表示]のアイコンにマウスポインターを合わせた時、そのアイコンの小節番号が表示されます。

右のボックス: [小節のアイコン表示]のアイコンをクリックすると、そのアイコンの小節番号が表示されます。  
(曲がある小節範囲のみ)

クリック

☒ データ ☐ 固定 ☐ Tコピー ☐ Eコピー ☐ Vコピー ☐ 全コピー

### クリック

[小節のアイコン表示]内で小節のアイコンをクリックした場合の操作を選択します。

### データ

[小節のアイコン表示]内で各小節のアイコンをクリックすると、  
その小節のコード、リズム、エンベロープ、音色が変更可能になります。

### 固定

[小節のアイコン表示]内で小節のアイコンをクリックする度に、  
音色の「固定」と「非固定」が切り替わります。  
小節の右側の色が、青の場合「固定」、赤の場合「非固定」です。



赤の場合「非固定」



青の場合「固定」

### Tコピー

小節間で音色のコピー貼り付けができます。

- ①[小節のアイコン表示]内でコピー元の小節アイコンをクリックしてコピー
  - ②[小節のアイコン表示]内でコピー先の小節アイコンを右クリックして貼り付け
- 音色は、[小節のアイコン表示]内の小節アイコンの左側の色で表されています。

音色を表す色……



### Eコピー

小節間でエンベロープのコピー貼り付けができます。

- ①[小節のアイコン表示]内でコピー元の小節アイコンをクリックしてコピー
  - ②[小節のアイコン表示]内でコピー先の小節アイコンを右クリックして貼り付け
- エンベロープは、[小節のアイコン表示]の小節アイコンの縦線と横線で表されています。  
縦線はリズムに対応し、横線はエンベロープに対応しています。



アイコン拡大図

## 画面・各部の説明

### Vコピー

小節間で音量のコピー貼り付けができます。

- ①[小節のアイコン表示]内でコピー元の小節アイコンをクリックしてコピー
- ②[小節のアイコン表示]内でコピー先の小節アイコンを右クリックして貼り付け  
音量は、[小節のアイコン表示]の小節アイコンの一番下の横線で表されています。

例: 音量10 

音量5 

### 全コピー

小節間で全パラメータのコピー貼り付けができます。

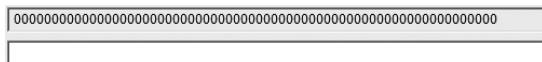
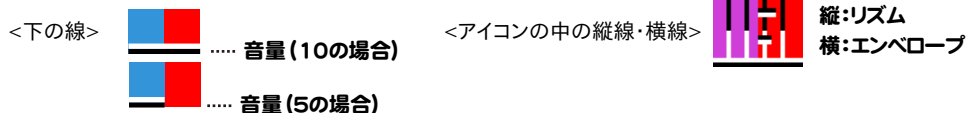
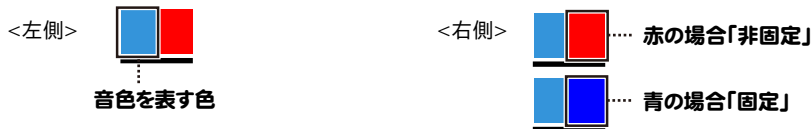
- ①[小節のアイコン表示]内でコピー元の小節アイコンをクリックしてコピー
- ②[小節のアイコン表示]内でコピー先の小節アイコンを右クリックして貼り付け



### 小節のアイコン表示

全小節の状態を色で表します。1つのアイコンが1小節に対応しています。

- ・1つのアイコンの左側は音色を表し、右側は音色が固定/非固定を表します。
- ・下の線は、音量を表します。
- ・1つのアイコンの縦線はリズムを表し、横線はエンベロープを表します。



### 音色表示、音色セット

音色は、64桁の数字で表示されます。

気に入った音色は、コピーして、テキストファイルとして保存し、別の曲に貼り付けることができます。

上のボックス:[小節のアイコン表示]のアイコンにマウскарソルをあわせた時、そのアイコンの音色の数字を表示します。

下のボックス:各小節に音色をセットする際に使用します。

- ①「クリック」設定欄で「データ」にチェックを入れます。
- ②目的の小節アイコンをクリックすると、その小節の音色(64桁の数字)が表示されます。  
コピーや貼り付け、数値入力ができます。
- ③画面右下の「セット」ボタンをクリックすると、設定した内容が確定されます。
- ④「クリスタルコードを作る」をクリックします。

## 画面・各部の説明

リズム表示



### リズム表示

[小節のアイコン表示]の小節アイコンにマウスカーソルを合わせた時、その小節のリズムを表示します。

リズムセット

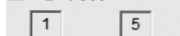


### リズムセット

[小節のアイコン表示]内で選択した小節にリズムを設定する場合に使用します。

リズムは、4拍子の場合は1小節を8等分に、3拍子の場合は1小節を6等分にわたることで作り出します。

エンベロープ表示



### エンベロープ表示

音の波形の前半と後半の形を決めます。

数字が小さいとエンベロープが短く、数字が大きくとエンベロープが長くなります。

※エンベロープを使うためには、リズムにチェックが入っていなければなりません。

[小節のアイコン表示]の小節アイコンにマウスカーソルを合わせた時、その小節のエンベロープを表示します。

エンベロープセット



### エンベロープセット

[小節のアイコン表示]で選択した小節に、エンベロープを設定する場合に使用します。

ページ切り替え

1-128

### ページ切り替え

メイン画面では最大で510小節の曲を作成できますが、クリスタルコードは254小節まで設定できます。

クリスタルコードの画面は128小節ずつのアイコンが表示されます。

ボタンをクリックすると、次ページを表示します。

セット

### セット

設定した内容を確認して、[クリスタルコードを作る]メニューでクリスタルコードを作成します。

# よくあるお問い合わせ

## インストール・起動について

### Q : インストールができない

A : 以下の項目をご確認ください。

- ウイルス対策などのソフトが起動していないか。
- HDD(ハードディスク)の空き容量は十分にあるか。
- 管理者権限でログインしているか。
- Windowsを最新の状態にアップデートしてあるか。

### Q : 管理者権限を持っていないユーザーアカウントでパソコンを起動し、インストールしようすると

「続行するには管理者アカウントのパスワードを入力して、[OK]をクリックしてください。」「(Vista/7/8/8.1)

「インストールプログラムにはディレクトリへにアクセスする権限がありません。インストールを継続できません。

管理者としてログインするか、またはシステム 管理者にお問い合わせください。」「(XP)と表示されてインストールができません

A : 本ソフトをご利用の際には管理者権限を持ったユーザーアカウント上でご利用ください。

### Q : 完全アンインストールの方法を教えてください

A : OSごとに次の手順で行ってください。

※完全アンインストールすると、本ソフトのすべてのデータが削除されます。

【Windows XPの場合】

1. 「アンインストール方法 (冊子取扱説明書5ページ)」より、アンインストール作業を行います。
2. マイコンピュータ→CDドライブ→Documents and Settings→All Users→Application Data(※1)→IRT→daremusic3フォルダーを削除します。

【Windows Vista、7の場合】

1. 「アンインストール方法 (冊子取扱説明書5ページ)」より、アンインストール作業を行います。
2. コンピューター(※2)→CDドライブ→Program Data(※1)→IRT→daremusic3フォルダーを削除します。

【Windows 8、8.1の場合】

1. 「アンインストール方法 (冊子取扱説明書5ページ)」より、アンインストール作業を行います。
2. スタート画面→デスクトップ→キーボードのWindowsキーを押した状態で「Eキー」を押す→CDドライブ→Program Data(※1)→IRT→daremusic3フォルダーを削除します。

※1 初期設定では隠しフォルダーになっている為、表示されていない場合があります。

※2 Windows Vistaの場合は「コンピュータ」

隠しフォルダーの表示方法

[Windows XP / Vista]

コントロールパネル→[フォルダオプション]→[表示]タブ→詳細設定: ファイルとフォルダの表示  
[すべてのファイルとフォルダを表示する]を選択→[適用]→[OK]をクリックします。

[Windows 7]

コントロールパネル→[フォルダオプション]→[表示]タブ→詳細設定: ファイルとフォルダーの表示  
[隠しファイル、隠しフォルダー、および隠しドライブを表示する]を選択→[適用]→  
[OK]をクリックします。

[Windows 8 / 8.1]

設定→コントロールパネル→[デスクトップのカスタマイズ]→[フォルダオプション]→  
[表示]タブ→詳細設定: ファイルとフォルダーの表示[隠しファイル、隠しフォルダー、および  
隠しドライブを表示する]を選択→[適用]→[OK]をクリックします。

# よくあるお問い合わせ

## Q: ソフトの起動ができません

A: 以下の項目をご確認ください。

- インストールは完了しているか。
- 管理者権限でログインしているか。
- 外付けの機器（ハードディスクやUSBメモリ等）にソフトをインストールしている場合、それらの機器がパソコンに接続され、パソコン上で認識されているか。）

## 操作について

## Q: 数字や文字が入力できません 入力しているのに登録されない

A: 次の内容をご確認ください。

- ・入力する欄でカーソルが点滅しているか(例: 名前を入力する場合は、名前欄の枠の中でカーソルが点滅)
- ・キーボードの設定(NumLockキーのオン／オフ等)
- ・入力した文字が確定された状態であるか(文字を入力したら、ENTERキーを押して確定してください)
- ・日付や数字を入力する際、半角で入力しているか
- ・漢字やひらがなを入力する際、全角で入力しているか

## Q: 小節はいくつまで作成できますか

A: 510小節まで作成できます。

## Q: 歌詞にアルファベットを入れたい

A: 歌詞はひらがなのみになります。

## Q: 保存できる形式は?

A: MIDI / WAVEです。楽譜はBMPで保存できます。

## Q: 小節ごとにコード数が異なるコード作成はできますか

A: 小節ごとにコード数が異なるコード作成を行うことはできません。

## Q: コードを作成したい

A: 「曲全体の設定」の「コードを作成」で作成できます。作成できるコードの数は1,000個です。  
詳細については冊子取扱説明書83～85ページをご覧ください。

## Q: 「作曲」ボタンを押しても自動作曲ができない

A: コードが固定になっている場合に、自動でメロディーが表示されません。  
固定を外して「作曲」ボタンを押してください。

## Q: 曲のデータを名前を付けて保存ができない

A: 「作曲」ボタンを押してから保存してください。

# よくあるお問い合わせ

## その他

### Q:CDやDVDに保存するにはどうすればいいの？

A:本ソフトはCD、DVD等へ直接保存する機能はありません。

CD、DVDに保存する際には対応OSで動作するライティングソフトが必要です。

### Q:複数のユーザーで使用できますか？

A:本ソフトは、『1ソフト・1PC』でご利用いただくソフトです。

1つのパソコン内に二重インストール等を行うことはできません。

### Q:他のパソコンとの共有はできますか？

A:本ソフトは、インストールを行ったパソコン上で操作していただく仕様です。

ネットワーク等でご利用いただくことはできません。

### Q:入力した文字が文字化けしてしまいます

A:ご利用パソコンの言語設定をご確認ください。また併せて日付の設定もご確認ください。

### Q:画面の一部が切れた状態で表示される

A:画面解像度を推奨サイズ以上に変更してください。

【Windows XPの場合】

1. デスクトップ画面の何も無い所を右クリックします。
2. 「プロパティ」をクリックし、設定タブをクリックします。
3. 画面の解像度のバーを動かし、1280×1024以上に設定します。
4. 「OK」をクリックすれば設定完了です。

【Windows Vistaの場合】

1. デスクトップ画面の何も無い所を右クリックします。
2. 「個人設定」をクリックし、画面の設定をクリックします。
3. 解像度を1280×1024以上に設定し「OK」をクリックで設定完了です。

【Windows7の場合】

1. スタートメニューより「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「デスクトップのカスタマイズ」をクリックし、「画面の解像度の調整」をクリックします。
3. 解像度を1280×1024以上に設定し「OK」をクリックで設定完了です。

【Windows 8、8.1の場合】

1. デスクトップの何も無い所で右クリック→画面の解像度をクリックします。
2. 解像度を1280×1024以上に設定し「OK」をクリックで設定完了です。

※機種によっては推奨解像度が表示できないものもあります。

## よくあるお問い合わせ

**Q: ボタンをクリックしても反応しない、また画面が正常に表示されていない**

A: お使いのパソコンのDPI設定が標準以外(96以外)に変更されている可能性があります。

以下の手順にてDPI設定を変更してください。

【Windows XPの場合】

1. デスクトップ画面の何も無い所を右クリックします。
2. 「プロパティ」を左クリックし、「設定」タブをクリックします。
3. 「詳細設定」をクリックし、「全般」タブの「DPI設定」を「96DPI」に設定します。
4. 「OK」をクリックし、パソコンを再起動すれば設定完了です。

【Windows Vistaの場合】

1. デスクトップ画面の何も無い所を右クリックします。
2. 「個人設定」を左クリックし、「フォントサイズ(DPI)の調整」をクリックします。
3. 「あなたの許可が必要です」と許可を求められますので「続行」をクリックします。
4. 「規定のスケール(96DPI)」にチェックを付け、「OK」をクリックします。
5. パソコンが自動的に再起動されますので、再起動したら設定完了です。

【Windows 7の場合】

1. スタートメニューより「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「デスクトップのカスタマイズ」をクリックし、「テキストやその他の項目の大きさを  
変更します」をクリックします。
3. 小-100%(規定)にチェックを入れ「適用」をクリックします。
4. 「これらの変更を適用するには、コンピューターからログオフする必要があります。」と  
確認を求められますので、「今すぐログオフ」をクリックします。
5. パソコンからログオフされますので、再度ログインすると設定完了です。

【Windows 8、8.1の場合】

1. マウスポインタを右下の角に移動し、「設定」をクリックします。
2. 右側に設定画面が表示されましたら「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「デスクトップのカスタマイズ」をクリックし、「テキストやその他の項目の大きさを  
変更します」をクリックします。
4. 小-100%(規定)にチェックを入れ「適用」をクリックします。
5. 「これらの変更を適用するには、コンピューターからサインアウトする必要があります。」と  
確認を求められますので、「今すぐサインアウト」をクリックします。
6. パソコンからサインアウトされますので、再度サインインすると設定完了です。



# よくあるお問い合わせ

## Q:「2015 \*\*\*」は日付ではありません…というエラーメッセージが表示される

A: Windowsの日付形式の設定が標準のもの以外になっているとアプリケーションソフトが正常に動作(表示等)がされない場合があります。以下の手順で設定をご確認の上、標準の設定にて本ソフトをご使用ください。

### 【Windows XPの場合】

1. 本ソフトを含め、起動している全てのソフトを終了させます。
2. スタートメニューより「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「日付・時刻・地域と言語のオプション」→「地域と言語のオプション」をクリックします。
4. 「地域オプション」タブを選択して、「日本語」に設定されていることを確認後、「カスタマイズ」をクリックします。
5. 「日付」タブをクリックして、表示されている設定項目を以下の通りに変更します。  
「カレンダーの種類」 西暦(日本語)  
「短い形式」 短い形式(S) yyyy/MM/dd  
区切り記号 /  
「長い形式」 長い形式(L) yyyy'年'M'月'd'日'
6. 「適用」→「OK」の順にクリックし、パソコンを再起動させます。

### 【Windows Vistaの場合】

1. 本ソフトを含め、起動している全てのソフトを終了させます。
2. スタートメニューより「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「時計・言語・および地域」→「地域と言語のオプション」をクリックします。
4. 「形式」を選択して、「日本語」に設定されていることを確認後、「この形式のカスタマイズ」をクリックします。
5. 「日付」をクリックして、表示されている設定項目を以下の通りに変更します。  
「データ形式」 短い形式(S) yyyy/MM/dd  
長い形式(L) yyyy'年'M'月'd'日'
- 「カレンダーの種類」 西暦(日本語)
6. 「適用」→「OK」の順にクリックし、パソコンを再起動させます。

### 【Windows 7の場合】

1. 本ソフトを含め、起動している全てのソフトを終了させます。
2. スタートメニューより「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「時計・言語・および地域」→「地域と言語」をクリックします。
4. 「形式」タブを選択して、「Japanese(Japan)」に設定されていることを確認後、「追加の設定」をクリックします。
5. 「日付」タブをクリックして、表示されている設定項目を以下の通りに変更します。  
「データ形式」 短い形式(S) yyyy/MM/dd  
長い形式(L) yyyy'年'M'月'd'日'
- 「カレンダーの種類」 西暦(日本語)
6. 「適用」→「OK」の順にクリックし、パソコンを再起動させます。

### 【Windows 8、8.1の場合】

1. 本ソフトを含め、起動している全てのソフトを終了させます。
2. マウスポインタを右下の角に移動し、設定ボタンをクリックします。
3. 右側に設定画面が表示されましたら「コントロールパネル」をクリックします。
4. 「時計、言語および地域」→「地域」をクリックします。
5. 言語が「日本語」に設定されていることを確認後、「形式」タブを選択して「追加の設定」をクリックします。
6. 「日付」タブをクリックして、表示されている設定項目を以下の通りに変更します。  
「データ形式」 短い形式(S) yyyy/MM/dd  
長い形式(L) yyyy'年'M'月'd'日'
- 「カレンダー」 西暦(日本語)
7. 「適用」→「OK」の順にクリックし、パソコンを再起動させます。

Windows OSやパソコン本体・プリンターなどの周辺機器に関する詳細は、各メーカー様へお問い合わせください。  
弊社では一切の責任を負いかねます。

# お問い合わせ窓口

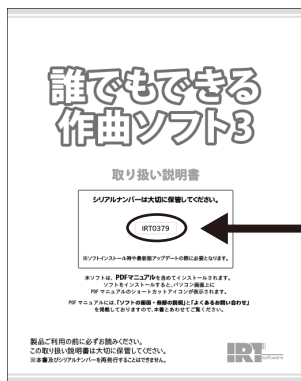
本ソフトに関する、ご質問・ご不明な点などございましたら、パソコンの状況など具体例を参考に出来るだけ詳しく書いていただき、メール・電話・FAX等でユーザーサポートまでご連絡ください。

## ○ソフトのタイトル・バージョン

例:「誰でもできる作曲ソフト3」

## ○ソフトのシリアルナンバー

冊子取扱説明書の表紙に貼付されています。



シリアルナンバーシール  
貼付場所

## ○ソフトをお使いになられているパソコンの環境

・OS及びバージョン

例:Windows 8.1

Windows Updateでの最終更新日〇〇年〇月〇日

・ブラウザのバージョン

例:Internet Explorer 11

・パソコンの仕様

例:SONY XXXX-XXX-XX

PentiumIII 1GHz HDD 500GB Memory 2GB

・プリンターなど接続機器の詳細

例:プリンター EPSONのXXXX(型番)を直接ケーブルで接続している  
インクジェットプリンター、ドライバーソフトは更新済み

## ○お問合せ内容

例:～の操作を行ったら、～というメッセージがでてソフトが動かなくなった  
□□□部分の操作について教えてほしい…etc

## ○お名前

## ○ご連絡先など

※メールの場合、お客様のメールサーバーのドメイン拒否設定により、弊社からのメールが受信されない場合がありますので、その際は設定をご確認ください。

## お問い合わせ窓口



ご質問・ご不明な点がございましたら、サポート専用番号へご連絡ください。コンピューターのスペックや周辺機器などの状況を詳しくお調べの上、お伝えください。

### メールでのお問い合わせ

**E-mail** [info@irtnet.jp](mailto:info@irtnet.jp)

サポート時間：10:00～17:30（土・日、祭日を除く）

※通信料はお客様負担となります。

### お電話・FAXでのお問い合わせ

**TEL** 050-3538-6703

**FAX** 050-3538-6704

サポート時間：10:00～17:30（土・日、祭日を除く）

※通信料はお客様負担となります。

### IRTホームページ

**URL** <http://irtnet.jp/>

ホームページでは、**ソフトウェアの最新情報、アップデート情報**をお知らせしております。最新版のソフトウェアをダウンロードしてお使いいただけます。

### ■ご注意

お客様よりいただいたお問合せに返信できない現象が多発しております。

FAX及びe-mailでのお問合せの際には、ご連絡先を正確に明記の上、サポートまでお送りくださいますようお願い申し上げます。

また、お問い合わせいただく前に、プリンター等の設定などを今一度ご確認ください。

時間帯等によっては、混雑等により一時的に電話が繋がりにくい場合があります。

その際はお手数ですが、時間をずらしておかけ直してください。



株式会社アイアールティー